

結果報告書

アジア最大級の
分析・科学機器専門展示会

JASIS
Japan Analytical & Scientific Instruments Show
2017



目次

	ページ
1. 開催要綱	1
2. 実施概要	3
3. 展示規模	5
4. 来場者数	6
5. 広報・PR活動	8
6. 開会式 / 祝賀パーティ	9
7. 国際交流活動	10
8. ライフサイエンスイノベーションゾーン	12
9. オープンソリューションフォーラム	17
10. その他の企画展示等	19
11. 分析機器・科学機器遺産コーナー	21
12. 科学実験ショー/やさしい科学機器入門/DVD上映	22
13. スマートデバイス向けアプリ	23
14. 「科学・分析機器総覧2017」、「分析機器の手引き」の配布	24
15. 展示会場内外のその他の催事	25
16. 新技術説明会	26
17. JASIS コンファレンス	38
18. サイエンスセミナー	42
19. 特別セミナー	43
20. 来場者プロフィール	44
21. 来場者アンケート	49
22. 出展社アンケート	53
23. 会場案内図	54
24. 出展社一覧	57
25. JASIS WebExpo	62
26. JASIS 2017 委員会組織	65
27. JASIS 2017 委員会名簿	65

1. 開催要綱

1. 名称 JASIS 2017
2. 主催 一般社団法人日本分析機器工業会 / 一般社団法人日本科学機器協会
3. テーマ 「未来発見。」(Discover the Future.)
4. 会期 2017年9月6日(水)～9月8日(金)
※JASIS コンファレンスのみ 2017年9月5日(火)～9月8日(金)
5. 開催時間 10:00～17:00
6. 出展社・機関数、出展小間数 (詳細は p. 5)
506 社・機関 1,478 小間 (内海外 44 社・機関 44 小間 / 13 ヶ国)
7. 総登録来場者数 (詳細は p. 7) 24,856 人 (うち海外より 702 名)

前日	194 人	(JASIS コンファレンスのみ開催)
第1日目	8,219 人	
第2日目	8,291 人	
第3日目	8,152 人	
8. 会場
 - ・幕張メッセ国際展示場 4～8 ホール
 - ・幕張メッセ国際会議場
 - ・アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>
 - ・ホテルニューオータニ幕張
9. 後援 経済産業省 / 文部科学省 / 農林水産省 / 環境省 / 国立研究開発法人科学技術振興機構 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 独立行政法人製品評価技術基盤機構 / 国立研究開発法人理化学研究所 / 独立行政法人 日本貿易振興機構(ジェトロ) / 米国大使館 商務部 / 英国大使館 貿易・対英投資部 / 公益社団法人計測自動制御学会 / 公益社団法人高分子学会 / 公益社団法人石油学会 / 公益財団法人日本科学技術振興財団 / 一般社団法人日本環境化学会 / 一般社団法人日本機械学会 / 日本機械輸出組合 / 公益社団法人日本気象学会 / 公益社団法人日本金属学会 / 公益社団法人日本生物工学会 / 公益社団法人日本セラミックス協会 / 公益社団法人日本農芸化学会 / 公益財団法人日本発明振興協会 / 公益社団法人日本薬学会 / 一般社団法人発明推進協会 / 一般社団法人日本医療機器学会 / 公益社団法人日本分光学会 / 公益社団法人日本分析化学会 / 東京商工会議所 / 特定非営利活動法人バイオチップコンソーシアム
10. 協賛 一般社団法人次世代センサ協議会 / 一般社団法人日本医療機器工業会 / 公益社団法人日本環境技術協会 / 一般社団法人日本計量機器工業連合会 / 一般社団法人日本検査機器工業会 / 日本顕微鏡工業会 / 日本光学工業協会 / 日本光学測定機工業会 / 日本試験機工業会 / 一般社団法人日本試薬協会 / 日本真空工業会 / 一般社団法人日本電気計測器工業会 / 一般社団法人日本非破壊検査工業会 / 一般社団法人日本非破壊検査協会 / 一般社団法人日本粉体工業技術協会 / 日本薬科機器協会 / 一般財団法人バイオインダストリー協会

1 1. 出展社展示内容

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ①分析機器・装置 | ⑥バイオ関連機器・装置 |
| ②分析機器部品・コンポーネント | ⑦試験機器・装置 |
| ③理化学機器 | ⑧生産プロセス機器・装置 |
| ④研究設備・器具・消耗品 | (電機・電子デバイス・エネルギー等関連装置) |
| ⑤環境計測機器・工業用計測機器 | ⑨情報関連ソフト・サービスその他 |

1 2. 展示場内企画 ※()は JASIS 2016 実績

- ・ ライフサイエンスイノベーションゾーン：一般・ポスター・特別展示 66 社 87 小間 (66 社 88 小間) / 企業プレゼンテーション 39 社 39 テーマ (41 社 45 テーマ) / 基調講演 30 テーマ (25 テーマ) 詳細は p. 12～
- ・ オープンソリューションフォーラム：基調講演 6 テーマ、出展社発表 19 テーマ 詳細は p. 17～
- ・ JST ブース：16 小間 (16 小間)
- ・ 産総研ブース：10 小間 (10 小間)
- ・ mini/ソリューションコーナー：31 社 40 小間 (28 社 34 小間)
- ・ 研究機関コーナー：8 機関 10 小間 (10 機関 15 小間)
- ・ 学協会コーナー：7 社 9 小間 (6 社 9 小間)
- ・ インターナショナルオーガナイゼーションコーナー：16 機関 16 小間+4 社 4 小間 (14 社・機関 14 小間)
- ・ メディア&プレスコーナー：12 社 13 小間 (12 社 13 小間)
- ・ 科学実験ショー/やさしい科学機器入門/分析化学教育 DVD 上映 詳細は p. 22

1 3. 新技術説明会(出展社による最新機器・技術の紹介) ※()は JASIS 2016(詳細は p. 26)

日時：9月6日(水)～9月8日(金) 10:00～17:00

場所：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>、ホテルニューオータニ幕張

参加会社数/テーマ数：101 社/347 テーマ (108 社/352 テーマ)

聴講者延べ人数：16,001 人 (15,708 人)

1 4. JASISコンファレンス ※()は JASIS 2016 実績 (詳細は p. 38)

日時/場所：9月5日(火)～9月8日(金) 9:30～18:30 / 幕張メッセ国際会議場

主催団体数/テーマ数：32 団体/50 テーマ (28 団体/50 テーマ)

参加者延べ人数：4,507 人 (4,381 人)

1 5. サイエンスセミナー「アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディー

- KAGRAの挑戦と重力波天文学が解き明かす宇宙の謎」(詳細はp. 42)

日時/場所：9月7日(木) 13:00～14:30 / 国際会議場 2階 コンベンションホールA

聴講者数：285人

1 6. 特別セミナー「分析・科学機器と日本薬局方」(詳細はp. 43)

日時/場所：9月8日(金) 14:00～16:00 / 国際会議場 2階 コンベンションホールA

聴講者数：483人

1 7. JASIS WebExpo 2017 (詳細はp. 62)

会期：7月3日(月) 10:00～11月30日(木) 17:00

コンテンツ：講演60タイトル(動画50本)、出展社127社の資料PDF

アクセス：ユニークID数-3,887、延べ閲覧数-15,128

2. 実施概要

1. 来場者数、出展社数、出展小間数いずれも過去最多

分析機器・科学機器分野でアジア最大級の国際競争力ある大型展示会を目指すため、分析展と科学機器展は2010年から合同開催してきた。2012年に新たに統一名称を『JASIS』（ジャシス-Japan Analytical & Scientific Instruments Show）と定め、名実ともに一つの展示会となっている。JASIS 2017では、展示規模506社1,478小間となり出展社数・出展小間数ともに過去最多を記録した。これに加えて、来場者数でも過去最多の24,856人と昨年比で約500人増となった。来場者数で過去最多を更新したのは、2010年以来となる。（詳細はp.5～7）

本展示会は、分析展と科学機器展からの歴史を含めれば50年以上続く展示会であり、年々成長を続けている。新技術説明会、JASIS コンファレンス等のセミナー、講演会などのオーラルセッションは、合計で約500プログラムが実施され、この分野ではアジア最大級であり、また世界最大級と言っても過言ではない。

2. 常に進化し続ける JASIS

JASIS の魅力はその規模だけでなく、常に新たな試みをし、新たな視点を各所に取り入れていることである。例年の特徴通りに開催された催物の詳細報告は各項をご参照いただくこととし、以下で今回の新たな取り組み5つを簡単にご紹介する。

① JASIS WebExpo 2017

講演資料や動画、出展社のPDF資料を期間限定で公開した。このサイトの閲覧者は、幕張で開催するJASIS来場者に比し、関東以外からの来場率が高く、普段JASISに来場しにくい地域の方にJASISの秀逸なコンテンツ一部を体感いただくことが出来た。

将来的にExpoの呼称にふさわしく出展社がブースを出展することで、出展社が、幕張では接触することができないような潜在顧客と接触できる場として活用いただくことを目指す。

（詳細はp.62）

② AIを活用したマッチングシステム（来場者・出展社間）

「デジタルコンシェルジュ」は、来場者が目的の情報に早く辿り着けるようサポートし、出展社と来場者とのマッチングを促進するための検索システムである。技術マッチングサイトTEC-PALの技術協力を得て、AIを活用し、来場者の検索に最適な回答を導き出す。初運用となる今回は試験的に会期中のライフサイエンスイノベーションゾーン内に限定して設置したが、今後は改善を加え、さらに広範囲での活用を視野に入れている。

③ 「コメントライブ」システム

スマートフォンを使って講演でリアルタイムにコメントを投稿する「コメントライブ」システムを講演のディスカッション時に利用した。これにより、聴講者の意見を取り込みながらのディスカッションができ、議論の活性化を促し大変好評を得た。

④ 出展社向け来場者QRコード読み取りアプリの導入

QRコード読取による来場者情報取得アプリを出展社に提供した。これにより出展社のスピーディーなリードフォローをサポートすることを目指した。

iPhone を利用するため、従来運用していた QR コードを使った同種のサービスに比較し、ポータブル性が向上し、手持ちの iPhone でもすぐに使用できることで好評を得た。これと並行して従来から運用していた NW7 コードを利用した同種のサービスも運用し、出展社の利便向上を図った。

⑤ JASIS 関西 2019 の開催決定および記者会見の実施

2019 年 2 月に「JASIS 関西」を開催するために、JASIS 2018 と同様に 2018 年 1 月から「JASIS 関西 2019」の出展募集を開始することを決定した。2014 年開催の「JASIS 関西新技術説明会」とは異なり、展示エリアも充実させるため、「JASIS 関西」と銘打っての開催となる。西日本をターゲットにした出展社の有効な PR の場を JASIS として新たに創造することを目指す。

以上、新しい試みや従来からの催しなどを組み合わせて、第 6 回目の JASIS を成功裏に開催することが出来たことを報告し、概要とする。



緊急告知



幕張にて9月に開催する恒例のJASISに加え…

大阪にて開催決定!

会期 2019年2月5日(火)～7日(木)
会場 グランキューブ大阪

詳細はJASIS WEBにて2018年公開予定
 プレスリリースはこちら▶▶▶ <https://www.jasis.jp/kansai/>



JAIMA 一般社団法人 日本分析機器工業会 JASIS 一般社団法人 日本科学機器協会

3. 展示規模

2017年の出展規模（506社・機関、1,478小間）は、出展社数、出展小間数ともに、過去最多となった。

1,478小間のうち、3m×3mサイズのブースに製品を展示する一般展示が1,304小間となり全体の88.2%を占め、174小間（11.80%）が、ライフサイエンスイノベーション、mini/ソリューション、研究機関、学協会などの出展コーナーであった。

全出展社506社・機関中、主催者（日本分析機器工業会もしくは日本科学機器協会）会員企業は251社（49.6%）、会員外の出展は255社（50.4%）であり会員以外の出展にも広く門戸を開いている。海外出展は、41社44小間（13か国）と、昨年より7社7小間（5か国）増加した。（2016年は、34社37小間／8か国）

・出展種別内訳

	小間数				会社数			
	JASIS 2017	昨年比	JASIS 2016	JASIS 2015	JASIS 2017	昨年比	JASIS 2016	JASIS 2015
JAIMA/JSIA会員	1,110	101.5%	1,094	1,099	251	99.2%	253	238
ゲスト(国内)	132	90.4%	146	151	84	93.3%	90	100
ゲスト(海外)	26	144.4%	18	25	23	153.3%	15	19
その他	36	102.9%	35	21	9	112.5%	8	2
mini/ソリューションコーナー	40	117.6%	34	47	31	110.7%	28	36
ライフサイエンスイノベーションゾーン	87	98.9%	88	69	66	100.0%	66	53
小計	1,431	101.1%	1,415	1,412	464	100.9%	460	448
研究機関、学協会、メディア&プレスコーナー他	47	88.7%	53	61	42	95.5%	44	50
合計	1,478	100.7%	1,468	1,473	506	100.4%	504	498

・海外出展社内訳

	海外出展社数小間数 / 国数		
	JASIS 2017	JASIS 2016	JASIS 2015
一般展示	23社 26小間 / 9カ国	15社 18小間 / 6カ国	19社 25小間 / 9カ国
mini/ソリューションコーナー	1社 1小間 / 1カ国	2社 2小間 / 2カ国	2社 2小間 / 2カ国
ライフサイエンスイノベーションゾーン	-	-	1社 1小間 / 1カ国
国際ナショナルオーガナイゼーションコーナー	15社・機関 15小間 / 7カ国	15社・機関 15小間 / 8カ国	11社・機関 11小間 / 4カ国
メディア&プレスコーナー	2社 2小間 / 2カ国	2社 2小間 / 2カ国	2社 2小間 / 2カ国
計	41社・機関 44小間 / 13カ国	34社・機関 37小間 / 8カ国	35社・機関 41小間 / 11カ国



4. 来場者数

1. 来場者数のカウント方法

2016年度から展示会場・国際会議場・新技術説明会場の全ての入口で来場者入場証のバーコードを読み取ることで来場者数をカウントしている。この方法では「①重複なし来場者数」に加え、「②1日1カウントの来場者数（複数日来場した人数を含む）」を把握することが出来る。つまり、「②1日1カウントの来場者数」により、その日の混雑ぶりが数字で把握出来るようになっている。

2. 来場者数集計

日付	天気	曜日	①重複なし来場者数			②1日1カウントの来場者数	
			JASIS2017	JASIS2016	JASIS2015	JASIS2017	JASIS2016
2017年							
9月5日	曇り	(火)	194	498		194	498
9月6日	曇り/雨	(水)	8,219	8,228	7,859	8,347	8,560
9月7日	曇り	(木)	8,291	7,136	7,410	10,171	9,071
9月8日	晴れ	(金)	8,152	8,519	8,139	10,680	11,247
合計			24,856	24,381	23,408	29,392	29,376

(対前年比: 102%)

来場者数としては、過去最多の24,856人となり、また、分析機器ユーザーが重複無しカウントで684人増加となった。また、事前登録者数は重複無し来場者24,856人の内、87.6%の21,788人と多数を占めた。

①重複なし来場者数（従来と同じ以下の基準での来場者数）

- ・同一来場者IDは、4日間で1回だけカウント
- ・来場者入場証のみカウント、出展社入場証はカウントしない

②1日1カウントの来場者数

- ・複数日来場している来場者も含めた1日ごとの来場者数
- ・同一来場者IDは1日1回だけカウント
- ・最後の合計は4日間の延べ人数を表す

3. 新技術説明会、JASIS コンファレンスに来場した人が展示会場に行っているか

展示会場・国際会議場・新技術説明会場の全ての入口で読み込んだバーコードのデータ（1日1カウントの来場者数）から、来場者の動線を分析した。

	9月6日(水)		9月7日(木)		9月8日(金)	
①アパに来た人数	1,625		2,176		2,401	
①の内展示会場へ行った	1,574	96.9%	2,098	96.4%	2,332	97.1%
②オータニに来た人数	1,087		1,347		1,311	
②の内展示会場へ行った	1,054	97.0%	1,293	96.0%	1,266	96.6%
③国際会議場に来た人数	1,243		1,899		1,378	
③の内展示会場へ行った	1,022	82.2%	1,672	88.0%	1,196	86.8%

それぞれの日において、新技術説明会（アパ、オータニ）を聴講した人の内、97%前後の人が展示会場にも行っている。この傾向は昨年と同じであり、新技術説明会と展示会は一体化されていると言える。国際会議場で開催されるコンファレンスでは、展示会場に行く比率は平均86%となり、新技術説明会に比べ下がるものの、高い比率で展示会場への来場者の流れが確保されていると言える。

4. 日別・会場別の来場者区分比率

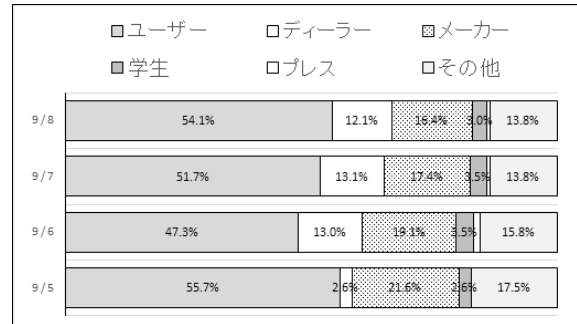
1日ごと会場別に来場者の入場証カード色区分別人数を集計した。

展示会場、国際会議場、新技術説明会（アパ+オータニ）の来場者数は各会場における1日1カウントの人数である。（1日1カウント：延べ29,392人が対象）

4.1. 全会場

区分	区分名	9/5	9/6	9/7	9/8
1	ユーザー	108	3,947	5,255	5,777
2	ディーラー	5	1,083	1,334	1,296
3	メーカー	42	1,592	1,769	1,754
4	学生	5	294	356	322
5	プレス	0	112	57	58
6	その他	34	1,319	1,400	1,473
	総計	194	8,347	10,171	10,680

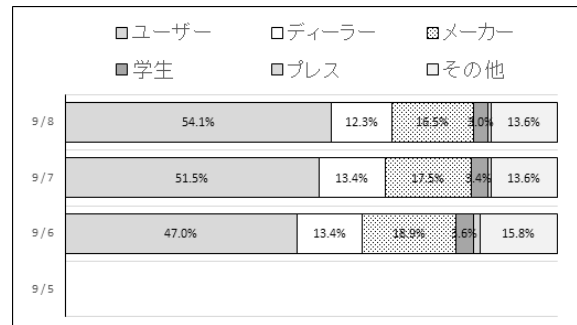
※全日の平均で52%がユーザー。ユーザーが主体の展示会であることに変わりはない。9/5は国際会議場2セッションのみの開催。



4.2. 展示会場

区分	区分名	9/6	9/7	9/8
1	ユーザー	3,795	5,089	5,644
2	ディーラー	1,079	1,325	1,288
3	メーカー	1,527	1,726	1,721
4	学生	289	337	310
5	プレス	112	57	56
6	その他	1,275	1,340	1,419
	総計	8,077	9,874	10,438

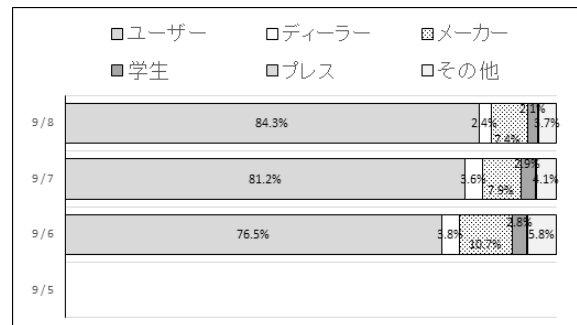
※各来場色区分の比率の傾向は全体と変わりはない。



4.3. 新技術説明会（アパホテルとオータニ、重複は除く）

区分	区分名	9/6	9/7	9/8
1	ユーザー	1,506	2,072	2,273
2	ディーラー	74	92	64
3	メーカー	211	202	200
4	学生	56	73	57
5	プレス	6	8	2
6	その他	115	104	101
	総計	1,968	2,551	2,697

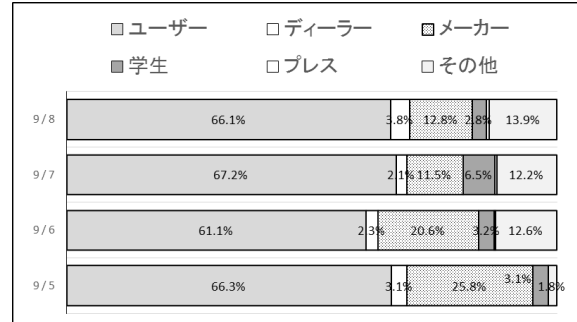
※新技術説明会の内訳は圧倒的にユーザー層が多いことは、その目的に合致している。



4.4. 国際会議場

区分	区分名	9/5	9/6	9/7	9/8
1	ユーザー	108	759	1,276	911
2	ディーラー	5	29	40	53
3	メーカー	42	256	218	176
4	学生	5	40	123	39
5	プレス	0	3	10	8
6	その他	3	156	232	191
	総計	163	1,243	1,899	1,378

※ユーザー比率は全体と比べると若干高い。9/7の学生比率が高いのは「RSC/東京国際フォーラム」の学生参加が多かった。



5. 広報・PR活動

以下のようなツールを用い、行政機関、研究所、大学などに対してPRを行った。

1. ポスター（製作部数：和文3,450部 英文220部）
2. 案内状（製作部数：415,000部）
3. メールマガジン「JASIS通信」（和文31回、英文2回、中文2回、限定版1回配信）

4. 広告

- 新聞： 科学新聞、食品化学新聞、化学工業日報、日本計量新報、オートメーション新聞
- 学会誌・雑誌： 「ぶんせき」「化学と工業」「高分子」「応用物理」「化学と生物」「ファルマシア」「生化学」「日経サイエンス」「現代化学」「創薬のひろば」「PHARM TECH JAPAN」「検査技術」「計測技術」「クリーンテクノロジー」「光アライアンス」「画像ラボ」「環境浄化技術」「フードケミカル」「工業材料」「産業と環境」「パリティ」
- WEB 広告： 日本分析化学会第66年会、化学と生物、生化学、環境と測定技術日刊工業新聞、オートメーション新聞、自動車技術会Yahoo!スポンサードサーチ広告、Google アドワーズ広告Facebook インフィード広告
- 同封広告： QMAIL、日経サイエンス、NTS メーリングサービス

5. 特集・記事

日経産業新聞、ぶんせき、化学と工業、日経サイエンス、科学新聞、食品化学新聞、月間フードケミカル、見本市展示会通信、工業材料 他

6. ホームページ等

年間を通じてJASIS ホームページ <https://www.jasis.jp/> を開設し、日本語・英語・中国語で情報を発信し、事前入場登録やセミナーの事前申込を受け付けた。また、出展社専用ページで出展社の便宜を図った。SNS（Twitter @JASIS_Office https://twitter.com/JASIS_Office/）も活用し、会期中および会期前後における情報提供を行った。

6. 開会式、祝賀パーティ

開会式は、会期初日（9月6日）午前9時40分より、幕張メッセ 2階 6ホール出入口前にて、約200人の関係者により挙行された。開会式後、展示会場を巡回した。同日午後5時30分より、ホテルニューオータニ幕張「鶴の間」にて祝賀パーティが開催された。米国大使館商務部、米国Pittcon、ドイツLChG（食品化学会）、中国CISILE、儀器信測網、ベトナムVinaLab、タイTISTR、ICS国際コンファレンス海外講演者など約30名の海外出席者を含め、約600名の出席があった。

<開会式式次第>

開会宣言

主催者挨拶 一般社団法人日本分析機器工業会 会長 栗原 権右衛門
一般社団法人日本科学機器協会 会長 矢澤 英人

来賓挨拶 経済産業省 大臣官房審議官 田中 茂明 殿

テープカット 経済産業省 大臣官房審議官 田中 茂明 殿
文部科学省 大臣官房審議官 信濃 正範 殿
公益社団法人日本分析化学会 会長 金澤 秀子 殿
在日米国大使館 商務部 上席商務官 ブリタニー・バンタ 殿
一般社団法人日本分析機器工業会 会長 栗原 権右衛門
一般社団法人日本科学機器協会 会長 矢澤 英人

<祝賀パーティ式次第>

開会宣言

主催者挨拶 一般社団法人日本分析機器工業会 会長 栗原 権右衛門

乾杯 一般社団法人日本科学機器協会 会長 矢澤 英人

アトラクション【けん玉ショー】

中締め 一般社団法人日本分析機器工業会 副会長 中本 晃



7. 国際交流活動

JASIS 2017 においては、海外企業・団体による出展は 41 社・機関、44 小間と昨年より増えた。(2016 年:34 社 37 小間)。海外来場者は 35 カ国 702 名(前年 475 名)、うちアジアからの来場者は、韓国 223 名、中国 157 名、台湾 142 名、タイ 18 名、インド 13 名、香港 11 名、シンガポール 10 名、ベトナム 7 名などであった。JASIS では以下 1.~9.に記載の海外出展社・友好団体関係者、海外講演者・海外来場者などを対象とする国際交流活動が行われた。

1. JAIMA 海外友好団体 JASIS 派遣団、国際コンファレンスセッション講演者向け見学ツアー・歓迎パーティー: 9 月 5 日(火)13:30~20:00

ベトナム VinaLab 派遣団、国際コンフェレンス海外講演者など 15 名が参加し墨田北斎美術館など見学し好評であった。ツアー終了後米国、ドイツ、中国、台湾、シンガポール、インド、タイなどの関係者が加わり、総勢 50 名による歓迎パーティーを開催し、この席上で VinaLab 会長 Dr. Nguyen Huu Thien に JAIMA に対する長年の貢献と友好を感謝する表彰盾を贈呈した。なお、JAIMA の海外の友好協力団体からの JASIS 派遣団は、米国 Pittcon 委員会、ベトナム業界団体 VINALAB、中国儀器情報網、中国 CISILE 主催者、韓国業界団体 KSIIC、タイ TISTR、インド UBM India などであった。

2. 国際コンファレンス講演者ランチミーティング 12:00~13:00

海外講演者間の交流と情報交換、同時通訳者との事前打ち合わせなどの目的で開催し、国際分析化学シンポジウム、アジアテクニカルフォーラムの講演者等 30 名の参加を頂いた。

3. 海外講演者・友好団体関係者向けレセプション: 9 月 7 日(木)18:00~20:00

JAIMA 栗原会長主催による同レセプションを開催し、ICS 海外講演者、Pittcon、中国 CISILE・儀器情報網、タイ TISTR 等の海外団体関係者など 45 名の出席を得て相互交流を深め盛況であった。

4. 海外出展社説明会: 9 月 8 日(金)12:00~13:00

海外出展社説明会:海外出展企業、各国大使館、州政府関係者、海外展示会主催者団体関係者等に対する出展社説明昼食会を開催し、45 名の出席を得て交流を図った。JASIS 2017 での新しい取り組みと出展社・小間数の結果、二日目までの来場者数などの途中経過を示し、今年より開始した新しい 3 年プロジェクトである JASIS WebExpo を、海外出展社の日本市場開拓のための最適なツールであると紹介し JASIS 2018 への参加を要請した。

5. チェコ共和国パビリオン

チェコ大使館及びチェコ企業から初めて出展があり、インターナショナルコーナーにチェコパビリオンを設置した。開会式後に、同パビリオンにてチェコ共和国副大使の出席の下、オープニングセレモニーが行われ、JAIMA 国際委員会からも参加した。チェコ企業の出展社からは、JASIS に出展できてよかったとの高い評価のコメントを頂いた。

6. 海外来場者への対応

期間中、国際ナショナルオーガナイゼーションコーナーにインフォメーションデスクを設置し、海外来場者対応を行った。

7. JASIS 2018 出展勧誘

9月8日(金)に、海外からの出展社・機関の全ての小間を訪問し、JASIS 2017 への出展に謝意を示すと共に、JASIS 2018 への出展をお願いした。

8. 第17回アジア科学機器業界団体会議(Asia Scientific Instrument Conference (以下 ASIC))開催 : 9月6日(水) 11:30~13:30

東京ベイ幕張「コートダジュール」にて、第17回 ASIC を開催した。JSIA からは矢澤会長をはじめ役員、国際委員、相談役、会員、計24名が出席し、また台北市儀器商業同業公會(TICA)、韓国科学機器共同組合(KSIIC)、タイ・Science and Technology Trade Association、高雄市儀器商業同業公會から多くの方々のご出席された。JSIA から「会員実態調査報告書」の中から抜粋し英訳した冊子を配布し、また JSIA 中川国際委員がプレゼンテーションした。

9. Pittcon Committee とのミーティング: 9月7日(木) 11:30~13:30

ホテルニューオータニ内にて、JSIA は、Pittcon Committee とのミーティングを開催した。JSIA からは矢澤会長、下平国際委員長をはじめ国際委員6名が出席し、Pittcon Committee からは、Dr. Adrian Michael (Pittcon 2018 President)をはじめ5名が出席した。Pittcon ネットワーキングデータベース等について情報交換と意見交換を行った。



8. ライフサイエンスイノベーションゾーン

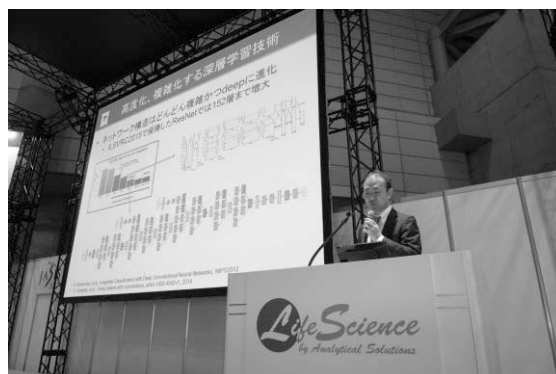
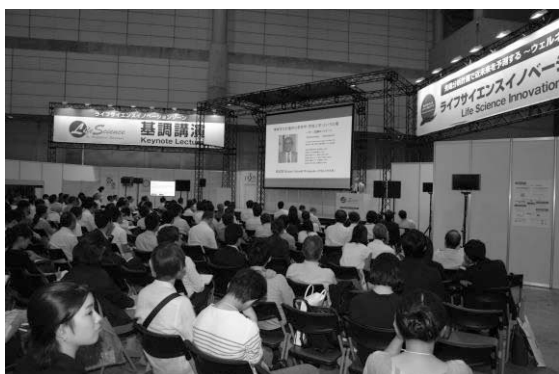
「ライフサイエンスイノベーションゾーン」は、この分野での分析・科学機器の新市場創出を目指す活動の発信の場として、JASIS 会場内に大規模なゾーンを設置して開催する特別企画で、JASIS では同テーマの特別企画を 2013 年から実施している。今年の本ゾーンは過去最大となる昨年と同様の約 1,800 m²で実施した。

目玉企画である基調講演では、「次世代ヘルスケア」「ヘルスケアと薬づくり」「人工知能・深層学習、バイオへの応用」「早期治療を実現する早期先端診断の役割」「未来社会と生活を支えるサイエンスの可能性」「生命（細胞）を観る」の 6 つをテーマに、最先端情報を著名な先生方にご講演いただいた。今回の基調講演では、テーマごとに講演いただいた先生方によるディスカッションを設け、このディスカッションには、聴講者からの意見や質問を取り込むためにスマートフォンを利用して気軽にコメントを投稿できる「コメントライブシステム」トライアルを導入し、より理解の深まるディスカッションを実現した。さらに、講演後に聴講の方々と対面で情報交換いただける「名刺交換コーナー」を会場内に設置。例年以上に多くの皆様に情報交換の場を提供することができた。

また、「展示ゾーン」での 66 社の出展企業・団体の展示に加え、出展企業からの最新情報が得られる 39 のプレゼンテーションもブース近くに設置した特設会場で実施した。出展企業に来場者の誘導を促す AI をプラットフォームとした検索システム「デジタルコンシェルジュ」をトライアルで設置し、来場者と出展社の接点の創出にも工夫を凝らした運営を行った。

これらにより、5 年目にして初めて 10,000 名を超える 10,157 名の延べ来場者数を記録し、盛況裡に終了することができた。本分野に対する分析機器・科学機器のポテンシャルと、市場への期待の高まりを改めて実感できる機会となった。

ライフサイエンスイノベーション関連プログラム聴講者のプロフィールを JASIS 全体の来場者プロフィールと比較したところ、業種では、電子・電機・精密機器 18.5% (17.2%)、製薬・試薬・化粧品 14.6% (6.2%)、食品 7.2% (5.3%) 医療関係 4.2% (1.6%) が多く、商社・商業 5.5% (12.6%) が少なかった。入場証色区分別では、最も多いのは分析機器・科学機器ユーザーが 55.0% (52.5%) であり、次いで分析機器・科学機器メーカー 16.8% (16.2%) が多く、分析機器・科学機器ディーラー 4.5% (12.0%) が少なかった。(()) は JASIS 全体の来場者プロフィール数値。)



1. 展示ブース/特別展示

関連の先端技術・サービスを提供する企業 66 社 87 小間による展示ブースを設置した。特別展示コーナーでは、「創薬のひろば」をテーマに 13 の展示が実施された。

2. 基調講演

近未来ライフサイエンス市場に関わる日本の戦略、世界動向、最先端研究に携わる著名な先生方をお招きしてご講演いただいた。詳細は以下のとおり。

9月6日(水) (延べ聴講者数：1,133人)

時間	テーマ/講師氏名(所属)	聴講者数
次世代ヘルスケア		
10:20～11:00	バイオとデジタルの融合がもたらすもの 上村 昌博 氏(経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課長)	131
11:20～12:00	【特別講演】サイエンスによる生命の秘密の解明 和田 昭允 氏(東京大学 名誉教授)	155
12:20～13:20	【特別講演】創薬の未来を支える最先端の分析ワークフロー Stephen Martin 氏(ノバルティス バイオメディカル研究所 アナリティカルサイエンス&イメージング部門 本部長)	142
ICTの新しい波と薬づくりの未来		
13:45～14:05	ICTの新しい波と薬づくりの未来 神沼 二真 氏(NPO 法人サイバー絆研究所 理事長)	150
14:05～14:25	AI創薬の現状と将来 田中 博 氏(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長特別補佐)	175
14:25～14:45	スマホで始まる未来の医療【開催中止】 現場を活かし経営に資する身近な ICT による構造改革 畑中 洋亮 氏(東京慈恵会医科大学 先端医療情報技術研究講座)	-
14:45～15:05	創薬研究の新しい潮流 坂田 恒昭 氏(塩野義製薬株式会社 シニアフェロー)	160
15:05～15:25	腸管軸(Gut-Liver Axis)からみる腸内細菌叢と医薬品のかかわり 石田 誠一 氏(国立医薬品食品衛生研究所 第三室長)	140
15:30～16:05	ディスカッション「ICTの新しい大波は研究者の働き方をどう変えるか」 (上記5氏による)	80

9月7日(木) (延べ聴講者数：1,621人)

時間	テーマ/講師氏名(所属)	聴講者数
AI/DLのバイオサイエンスへの応用価値		
10:20～10:40	深層学習技術が加速するIT創薬技術の深化 石田 貴士 氏(東京工業大学 情報理工学院 情報工学系 知能情報コース 准教授)	150
10:40～11:00	人工知能と高性能オミックス解析の連携がもたらす未来型健康社会 林 宣宏 氏(東京工業大学 生命理工学院 准教授)	155
11:00～11:20	ソーシャル創薬プロジェクト 山本 一樹 氏(株式会社シャルクス 代表取締役)	157
11:20～11:40	開発者から見たAIシステム開発のパラダイムシフト 上島 仁 氏(株式会社システム計画研究所 シニアリサーチャー)	150
11:45～12:15	ディスカッション (上記4氏による)	93
12:30～13:10	【特別講演】肺癌撲滅を目指して～早期発見と早期診断の重要性～ 加藤 治文 氏(新座志木中央総合病院 名誉院長)	108
中分子創薬への分析機器		
13:30～13:50	分析技術が拓く次世代バイオ医薬品開発研究 津本 浩平 氏(東京大学大学院工学系研究科・医科学研究所 教授)	215
13:50～14:10	プロテイン-プロテイン相互作用を阻害する中分子有機化合物探索の手法 中山 登 氏((株)バイオシス・テクノロジーズ 取締役&CTO 聖マリアンナ医科大学 講師)	167
14:10～14:30	ナノバイオデバイスが拓く未来医療・創薬 馬場 嘉信 氏(名古屋大学大学院工学研究科・先端ナノバイオデバイス研究センター教授・センター長)	179
14:30～14:50	溶液構造解析が切り開く創薬研究の新展開 小倉 卓 氏(ライオン株式会社 研究開発本部 研究員)	152
14:55～15:25	ディスカッション (上記4氏による)	95

9月8日(金) (延べ聴講者数：1,570人)

時間	テーマ/講師氏名(所属)	聴講者数
21世紀の人口爆発とデータ爆発		
10:20~10:25	データ駆動型からAI駆動型の分析スタイル 菊地 淳 氏(特定国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター 環境代謝分析研究チーム チームリーダー)	134
10:25~10:40	NMR データから見る農と食のサイエンス 関山 恭代 氏(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 主任研究員)	160
10:40~10:55	次世代のIoTセンサーが実現する農業におけるデータの利活用 山崎 浩平 氏(ベジタリア株式会社 事業開発本部 マネージャー)	153
10:55~11:10	水産養殖現場に還元できるビッグデータ 馬久地 みゆき 氏(国立研究開発法人 水産研究・教育機構 研究員)	149
11:10~11:25	メタボリック・プロファイリングから見た魚とその有用性 河原崎 正貴 氏(マルハニチロ株式会社 中央研究所 リサーチ一課 課長代理)	144
11:25~11:40	データサイエンスで鳥瞰する環境システム 伊達 康博 氏(特定国立研究開発法人 理化学研究所 CSRS 環境代謝分析研究チーム 研究員)	122
11:45~12:20	ディスカッション「身近な重要課題である“食”の来た道・還る道について、ビッグデータ蓄積とIoT およびAI活用の将来像を議論する。」 (上記6氏による)	74
12:50~13:35	【特別講演】ガンを覗く目を研ぎ澄ます 重川 秀実 氏(筑波大学数理物質系 教授)	91
クライオ電顕:タンパク質単粒子解析の役割		
14:00~14:20	クライオ電顕:単粒子解析によるタンパク質とその複合体の構造解析 佐藤 主税 氏(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 構造生理研究グループ 研究グループ長)	115
14:20~14:40	クライオ電顕におけるタンパク質単粒子シミュレーションと再構成ソフトウェア 新川 隆朗 氏(株式会社バイオネット研究所 代表取締役社長)	135
14:40~15:00	クライオ電子顕微鏡が明らかにする細胞内のタンパク質挙動の可視化 安永 卓生 氏(九州工業大学大学院 情報工学研究院生命情報工学研究系 教授)	127
15:00~15:20	電子顕微鏡で「見る」生体超分子複合体の構造 - 革新的発展を続ける単粒子解析 真柳 浩太 氏(九州大学 生体防御医学研究所 構造生物学分野 助教)	103
15:25~15:55	ディスカッション「バイオサイエンス研究を加速するクライオ電顕および未来電顕技術とは」 (上記4氏による)	63

3. 企業プレゼンテーション

JASIS 2017 会期中 3 日間、ゾーン内において出展企業によるプレゼンテーション (1 枠 : 25 分) が 2 会場で 39 件、特別セッションが 4 件行われた。3 日間の延べ聴講者数は 457 人であった。

<第1会場>

9月6日(水) (延べ聴講者数：57人)

時間	テーマ	出展社名
10:30~11:30	【特別セッション】最新のデジタルマーケティング 基礎編	村上 佳代((株)シナプス) 山口 昭彦(BDコンサルティング(同))
11:55~12:20	効率におけるイノベーション:マイクロ波化学における更なる充実	CEM Japan(株)
12:35~13:00	クリニカルシーケンス向け解析ツールのご紹介	(株)ワールドフュージョン
13:15~13:40	高効率のマウス・ブタゲノム編集受託サービス	(株)セツロテック
13:55~14:20	室温保存できる細菌叢解析のための採便キットと唾液採取キット	(株)テクノスルガ・ラボ
14:35~15:00	呼吸ガス等の揮発性バイオマーカの分析論文を紹介	金陵電機(株)
15:15~15:40	創業研究のための新しい計測・評価システム	コーンズ テクノロジー(株)

9月7日(木) (延べ聴講者数：60人)

時間	テーマ	出展社名
10:15～10:45	【特別セッション】オープンイノベーションの現状とAI活用	テクノポート(株)
11:15～11:40	AIを活用した画像解析プラットフォーム	エルピクセル(株)
11:55～12:20	フードサイエンス 2016 カンファレンスのまとめ、並びにセパレーション・サイエンス・アジア・カンファレンス	エクリプス ビジネスメディア
12:35～13:00	創薬研究を加速させるサービスのご紹介	(株)リプロセル
13:15～13:40	TriVersa NanoMate LESA を用いた病理凍結切片の簡易 Imaging 及び LESA Plus 分析	(株)エル・イー・テクノロジーズ
13:55～14:20	大型ガラス基板によるマイクロストラクチャー加工	アルバック成膜(株)
14:35～15:00	アミロイドシス疾患の診断・治療技術開発に向けた赤外自由電子レーザーの応用	東京理科大学
15:15～15:40	PTMScan®翻訳後修飾プロテオミクス	CST ジャパン(株)

9月8日(金) (延べ聴講者数：105人)

時間	テーマ	出展社名
10:15～10:45	【特別セッション】バイオマーケット.jp による新規顧客層の開拓	バイオアソシエイツ(株)
11:15～11:40	96 ウェル微量精密攪拌機 MICROPADDLE を用いた製剤ソリューション	(株)アルバック
11:55～12:20	アイテスのライフサイエンス分野でのサービスについて	(株)アイテス
12:35～13:00	やってみよう定量プロテオミクス解析	(一財)化学物質評価研究機構
13:15～13:40	細胞培養向け小型流体制御システムのご紹介	高砂電気工業(株)
13:55～14:20	簡易 DNA 検査キットによる菌数の推定	Biocosm(株)
14:35～15:00	「博士×ビジネス」で創り出すイノベーション	(株)エマージングテクノロジーズ
15:15～15:40	皆さまの事業を宇宙で拡げてみませんか？	(国研)宇宙航空研究開発機構

<第2会場>

9月6日(水) (延べ聴講者数：40人)

時間	テーマ	出展社名
12:35～13:00	サーマルサイクラーの校正で、PCRの信頼性向上を	(株)フォーディクス
13:15～13:40	酸化ストレスマーカー 検査の応用	日本老化制御研究所
13:55～14:20	T/B 細胞受容体(TCR/BCR)解析サービス	オンコセラビー・サイエンス(株)
14:35～15:00	サンプル保存における管理手法と超低温保存の必要性	(株)グミ
15:15～15:40	バイオリソースを活用した産業支援	(公財)かずさDNA研究所

9月7日(木) (延べ聴講者数：60人)

時間	テーマ	出展社名
10:15～10:45	【特別セッション】最新のデジタルマーケティング 経営者編	村上 佳代((株)シナプス) 山口 昭彦(BDコンサルティング(同))
11:15～11:40	各種コア技術融合によるヘルスケアへの貢献	(株)島津製作所
11:55～12:20	ソフトウェア Waalsと立体構造の活用事例	(株)アルティフ・ラボラトリーズ
12:35～13:00	マイクロ流体技術を応用した細胞培養デバイス	(株)協同インターナショナル
13:15～13:40	オンチップマイクロ灌流 3次元培養システム	(株)ブラスト

13:55～14:20	中分子・バイオ医薬の分析・精製ソリューション	(株)ワイエムシ
14:35～15:00	VHH 抗体のスクリーニングサービスのご紹介	(株)プロテイン・エクスプレス
15:15～15:40	創薬支援と再生医療実用化へ貢献する試薬キット	関東化学(株)

9月8日(金) (延べ聴講者数：135人)

時間	テーマ	出展社名
10:15～10:45	TEM 像シミュレータ elbis と機械学習	(株)バイオネット研究所
11:15～11:40	動画 AFM で見るナノスケールの世界	(株)生体分子計測研究所
11:55～12:20	細胞・組織の観察・解析のための分光分析技術	(株)堀場製作所
12:35～13:00	GL-MH100 を使った親水性の試料測定	日立化成テクノサービス(株)
13:15～13:40	フローサイトメーター等細胞分析機器の紹介	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ(株)
13:55～14:20	生細胞ナノ空間構造解析用 Cryo-in Lens S(T)EM の紹介	(株)日立ハイテクノロジー
14:35～15:00	新製品ラベルフリー3Dライブセルイメージャー「ホログラフィック顕微鏡～Tomocube～」のご紹介	(株)エル・エム・エス

4. 商談ラウンジ

「ライフサイエンスイノベーションゾーン」の展示企業と下記のようなマッチングを希望される来場者と直接面談いただくコーナーを設置し、利用された。

- ・ シーズ・新技術の導入などから技術提携を検討したい
- ・ アプリケーションを共同開発できる企業を探している
- ・ 新技術またはバイオベンチャーに投資したい
- ・ 販売代理できる新製品を探している
- ・ バイオ・先端診断に関わる新技術やアイデアについて詳しい情報が欲しい

5. JASIS コンファレンス内でライフサイエンスイノベーションフォーラムを開催

展示会場に隣接する幕張メッセ国際会議場で行われる「JASIS コンファレンス」でも、ライフサイエンスイノベーションフォーラムとして以下4つのプログラムを実施した。

日時	テーマ	主催団体	場所
9月6日(水) 10:00～17:45	1 「恐怖のプロファイリング」	メタボリック・プロファイリング研究会	304 会議室
9月7日(木) 9:50～16:40	2 「次世代ヘルスケアを先導する共創のプラットフォーム」	NPO 法人 サイバー絆研究所	304 会議室
9月8日(金) 12:30～17:00	3 「ポストゲノム時代の医療とバイオバンキング」	特定非営利活動法人バイオチップ コンソーシアム(JMAC)	304 会議室
9月8日(金) 10:00～12:15	4 「これからの創薬分析が目指すもの～創薬の将来の トレンドを見据えて」	(一社)日本分析機器工業会	301A 会議室

9. オープンソリューションフォーラム

本企画は、昨年の JASIS 2016 で、「素材・材料の開発と品質管理が我が国のものづくり競争力を支える」をコンセプトに初めて開催された。今年もコンセプトは同じとし、「環境規制」「食品のおいしさ評価」「自動車」をテーマに著名な演者の講演と出展社によるアプリケーション発表を組み合わせ、4 ホール奥の特設会場にて開催した。

JASIS で人気が高い、出展社が個別に開催する新技術説明会に対して、特定のテーマに関して技術を持つ出展社が集まり、来場者にオープンな形でソリューションを提供することを目指す形で実施した。会期 3 日間で、基調講演 6 テーマ、出展企業発表 19 テーマを実施し、延べ 1,600 名以上と、昨年比でおよそ倍の方々にご聴講いただいた。1 日目は満席のため多くの方の入場をお断りしたこともあり、2 日目からは当初の会場設定を大幅に変えて入場いただいた。取り上げたテーマに対する来場者の関心の高さが伺える結果となった。

各基調講演に続いて、出展企業より、実例を交えながらの最適な分析手法やノウハウ、サンプルの前処理方法など、具体的でわかりやすい発表が行われた。ご聴講いただいた方々の多くは進んで発表会社の小間に赴かれ、更なる情報収集をされたようである。「発表後、小間へ来場される方が予想以上に多く、参加して良かった。」とのコメントをいただいた出展社もあり、出展社の技術・製品を来場者に周知することに貢献することができた。

聴講者アンケート集計結果によれば、「オープンソリューションフォーラムがあるから来場者した。」と回答された方が 34%、来場の目的については、「自分のビジネスに役立てるため」、「技術情報の収集・取得・交流」との回答が 80%以上であった。プログラム構成についても約 50%の方にご満足頂くことができた。ご聴講いただいた方のうち、約 30%の方が JASIS に初めてと来場ご回答いただいております、新規来場者誘致にも貢献できた。感想にも、「わかりやすかった。」「テーマが明確で関連した情報が収集できた。」「勉強になった。」など、評価の声を寄せていただいた。

第二回目の開催として、当初昨年比増を想定し会場設定をしたが、予想をはるかに上回るご来場をいただいた。入場のお断りをしなければならない程の盛況ぶりであった。



◆オープンソリューションフォーラムプログラムと聴講者数

9月6日(水) 環境規制

時間	タイトル/講師氏名(所属)	聴講者数
10:30~11:10	EU RoHS (II) 指令とリスク管理 松浦 徹也(一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長)	234
11:15~11:40	海外における環境規制の最新動向 ~改正 RoHS 指令(フタル酸エステル類)、放散試験(GREENGUARD 認証、CaPro65 規制)、およびそれらの分析上の注意点についての紹介~ (株) 島津テクノロジー	
11:45~12:10	ゼロからわかる! 分析用試料 前処理粉碎のノウハウ ~電子基板の破砕から、樹脂ペレットの凍結粉碎まで ヴァーダー・サイエンティフィック(株)	
12:15~12:40	RoHS 規制物質のスクリーニング分析について (株) 島津製作所	
13:25~14:05	chemSHERPA の海外展開に向けて ~世界のデファクトスタンダードを目指して~ 町井 弘明(経済産業省製造産業局化学物質管理課 総括補佐)	229
14:10~14:35	改正 RoHS 指令において追加された新規含有制限物質の分析法について 日本電子(株)	
14:40~15:05	RoHS2 指令に対応したフタル酸エステル類の簡易迅速スクリーニング分析 (株) 日立ハイテクノロジー	
15:10~15:35	化学物質管理に必要な機能を有するパーキンエルマー社の新製品 ICP 発光分光分析装置および ICP 質量分析装置の実力 (株) パーキンエルマージャパン	

9月7日(木) 食品のおいしさ評価

時間	タイトル/講師氏名(所属)	聴講者数
10:30~11:10	農産物のおいしさ評価 堀江 秀樹((国研)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶品質機能性ユニット長)	304
11:15~11:40	おいしさを読み解くための機器分析手法 日本電子(株)	
11:45~12:10	おいしさを予測するための多感覚器分析システムと官能評価の役割とその融合 アルファ・モス・ジャパン(株)	
12:15~12:40	食品の“においの変化”をリアルタイムにモニタリングすることができる質量分析計および分析事例の紹介 金陵電機(株)	
13:25~14:05	メタボロミクスの食品機能解析への応用 福崎 英一郎(大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻 教授)	297
14:10~14:35	島津製作所が提案する効果的食メタボロミクスアプローチ ~呈味成分の探索、品質の向上、付加価値の見える化に向けて~ (株) 島津製作所	
14:40~15:05	味覚センサーによる「味の見える化」とビジネス活用 入江(株)	
15:10~15:35	レトロネーザルアロマ測定を中心としておいしさと健康の関係を探る (株) 汀線科学研究所	

9月8日(金) 自動車

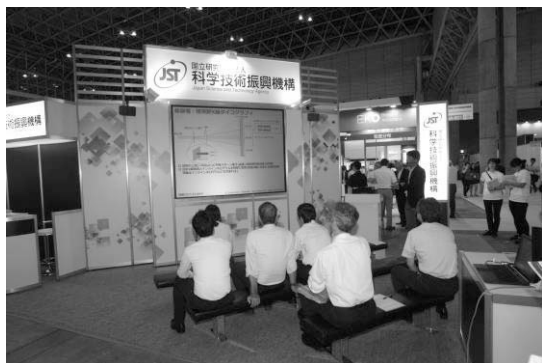
時間	タイトル/講師氏名(所属)	聴講者数
10:30~11:10	Honda の燃料電池自動車開発と水素社会に向けて 守谷 隆史(株式会社 本田技術研究所 四輪 R&D センター 第5 技術開発室 上席研究員)	270
11:15~11:40	低燃費研究に貢献するオイル潤滑界面の微視的観察と今後の展開 (株) 島津製作所	
11:45~12:10	自動車室内 VOC のハイスループット分析を可能にするリアルタイム質量分析計の紹介 金陵電機(株)	
12:15~12:40	「ヤマト科学 三次元計測 X 線 CT 装置」多彩な装置ラインアップによって広範囲な X 線エネルギー領域をカバーします。 ヤマト科学(株)	
13:25~14:05	次世代車載電池開発に必要な計測分析技術 内本 喜晴(京都大学大学院人間・環境学研究科 相関環境学専攻 教授)	285
14:10~14:35	最先端分光分析技術を用いた自動車関連材料の評価 日本分光(株)	
14:40~15:05	電子顕微鏡用分析装置(SEM-EDS)はもっと使える! 自動車部品の清浄度調査(ISO16232 準拠)とコーティング評価 オックスフォード・インストゥルメンツ(株)	
15:10~15:35	X線分析による自動車用素材のキャラクタリゼーション (株) リガク	
15:40~16:05	Innovation for Future Mobility ~次世代自動車の開発に貢献する分光分析・計測技術~ (株) 堀場製作所	

10. その他の企画展示等

1. JSTブース/産総研ブース/

JST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)からは16小間、産総研(国立研究開発法人 産業技術総合研究所)からは10小間をご出展いただいた。産総研は、一般展示のほか研究機関コーナーで3小間、コンファレンスでも3テーマを実施いただいた。

JASISとしては、このような展示・コンファレンスに積極的に協力することで、我が国の最先端の分析技術の開発・発展に対して一定の役割を果たせると考えている。



2. 大学・独立行政法人等保有の先端分析機器の産学官利用促進

文部科学省との連携により、大学、公的研究機関が有する分析・計測機器の共用促進をPRする展示ブースが本年は9ブース出展された。従来、同趣旨の展示は、研究機関コーナーなど小規模展示であったがここ数年で小間数が増加し、昨年からは研究機関コーナーだけではなく、一般展示で規模を拡大して展示いただいている。

3. 京都科学機器協会コーナー

(一社)日本科学機器協会の傘下組織である京都科学機器協会が「ぶらり京都」をコンセプトに、京都の理化学機器関連企業を取りまとめて11企業団体16小間の規模で出展した。

京都の風情あふれる小路に、京都伝統の「モノづくり」を基盤とした先端技術の開発・応用に用いられる素材・商品を紹介し、好評を得た。



4. mini/ソリューションコーナー

ベンチャー企業、要素技術、前処理、サンプリング関連、周辺技術・機器、デバイスやセンサーなどのコンポーネント、関連ソフトウェア、受託分析、小さな分析・科学機器などの展示エリアとして安価で小さな出展企画として、mini/ソリューション(展示・カタログ)コーナーを設けて、好評を得た。31社40小間から出展いただいた。

5. 研究機関 / 学協会コーナー

研究機関コーナーには、8つの公的研究機関が、学協会コーナーには7つの学会・協会・団体が出展した。各ブースではシーズの発表、装置のプロトタイプ展示、コンファレンステーマに関する展示などが行われた。将来の分析/科学機器の開発、企業研究者のソリューション解決につながる産学官の交流の場として重要な役割を担っている。

6. インターナショナルオーガナイゼーションコーナー

JASISの国際化推進のために設置したインターナショナルオーガナイゼーションコーナーでは、米国州政府日本事務所等の「U.S.パビリオン」、「カナダコーナー」、「韓国 KSIIC パビリオン」が出展、さらに今回は「チェコ共和国パビリオン」が加わった。他にも、中国分析測定協会 (CAIA)、CISILE、LAB INDONESIA等の海外展示会主催者があり、20社・機関20小間の出展をいただいた。

(独) 中小企業基盤整備機構による「中小企業のための国際化支援相談コーナー」では、開催期間中の三日間、中小企業の国際化支援の課題や相談等に対して、無料でアドバイスをを行った。国際化を目指す中小企業の課題解決に向けて支援するための取り組みであり、2012年から実施している。会期中に受けた相談件数は、9件(前回25件)であった。対象国・地域としては、アメリカ、アジア全般の相談が多かった。次いで、中国、メキシコ、ベトナム、フィリピンの相談があった。相談内容としては、販路開拓のための当該国の情報収集が多く、他に中小機構の支援施策、企業紹介の要望等が寄せられた。

7. メディア&プレスコーナー

国内外より分析・科学機器に関連する新聞・雑誌・書籍等を展示、販売した。

1 1. 分析機器・科学機器遺産コーナー

一般社団法人日本分析機器工業会（JAIMA）と一般社団法人日本科学機器協会（JSIA）は、過去 5 年間に認定した全 77 件の「分析機器・科学機器遺産」を詳しく解説する書物を 2017 年 10 月に出版した。本書は、有識者の書き下ろしコラムを収載し、日本の産業と業界との関りや遺産を通じた業界の歴史と意義を学べる本となっている。7 ホールイベントスクエア内において、入場証バーコード読み取りと引き換えに、1 人につき 1 冊を進呈し、会期中の 3 日間で 1,150 冊を配布。来場者の便宜に供した。選定委員会、認定基準、認定対象の分類は以下のとおりである。



【選定委員会】

- 委員長：二瓶 好正氏（東京大学名誉教授）
石井 格氏（国立科学博物館名誉研究員）
石谷 炯氏（財団法人神奈川科学技術アカデミー名誉顧問）
久保田 正明氏（産業技術総合研究所 客員研究員）
古谷 圭一氏（東京理科大学名誉教授）
山崎 弘郎氏（東京大学名誉教授）

【認定基準】

- (1) 分析計測技術・機器ならびに科学技術・機器の発展史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つもので、次の基準を満たすもの
 - ・対象とする科学技術及び機器の発展の重要な側面及び段階を示すもの
 - ・国際的に見て日本の科学技術及び機器発展の独自性を示すもの
 - ・新たな科学技術及び機器分野の創造に寄与したもの
- (2) 国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもので、次の基準を満たすもの
 - ・国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの
 - ・日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの
 - ・社会、文化と科学技術及び機器の関わりにおいて重要な事象を示すもの

【認定対象の分類】

- (1) 保存、収集された機器
- (2) 歴史的意義のある技術や機器の関連文書並びに試料類

12. 科学実験ショー/やさしい科学機器入門/DVD 上映

展示会場 6 ホールイベントスクエア内サイエンスステージでは、若手研究者、商社、営業マン、メーカーの新入社員といった方々を対象にした企画を実施した。2 日間にわたる科学機器の基礎講座「やさしい科学機器入門」、及び公益財団法人日本科学技術振興財団（科学技術館）による科学実験ショーを開催し、好評を博した。また、公益社団法人日本分析化学会のご協力の下、分析化学教育用 DVD を上映した。プログラムと聴講者数は以下のとおりである。

◆やさしい科学機器入門

	日時	テーマ	聴講者数
9 月 6 日(水)	13:30～14:00	信頼性概論 ー信頼性の基礎と環境試験器ー	92 名
	14:05～14:35	塩水噴霧試験機	
	14:40～15:10	振動試験機	
9 月 7 日(木)	13:30～14:00	土壌環境測定機器	85 名
	14:05～14:35	培養装置関連	
	14:40～15:10	真空ポンプ	

協力会社：エスペック（株）、スガ試験機（株）、エミック（株）、大起理化工業（株）、
（株）丸菱バイオエンジニアリング、佐藤真空（株）

◆科学実験ショー「分光の基本と応用」ー公益財団法人日本科学技術振興財団(科学技術館)ー

	日時	テーマ	聴講者数
9 月 8 日(金)	13:00～14:00	「分光の基本と応用」	50 名
	15:00～16:00	同上(再演)	60 名

◆分析化学教育用 DVD の放映

	日時	テーマ
9 月 6 日(水)	10:20～10:53	分析および分析値の信頼性 ー信頼性保証の確立に向けてー
9 月 7 日(木)	10:55～11:28	高速液体クロマトグラフィー HPLC
9 月 8 日(金)	11:30～12:04	高速液体クロマトグラフィー質量分析法 LC/MS



科学実験ショー

13. スマートデバイス向けアプリ

JASIS の展示・セミナー等の規模拡大に伴い、「見たい・聴きたいものがあるが時間がなくて行けない」という声が多く聞かれるようになった。

如何に効率よく会場を廻るかに頭を悩ますご来場者も多いようで、来場者の利便性向上のため、スマートフォン等でセミナープログラムや出展社のブース位置、出展製品や見どころを確認し、マーキングも可能なアプリを App Store と Google play で 2013 年から公開しており、今年で 5 回目となる。このアプリの提供により、ご来場者が見たいもの・聴きたいものをより簡単にチェックでき、効率良く会場を廻ることで、より多くの JASIS コンテンツをご利用いただけるようにすることを目指した。



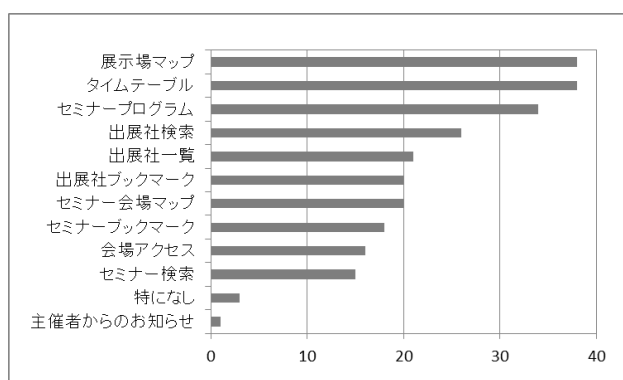
Wi-Fi 環境がない場所でも検索でき、プログラムやマップにマーキングをしながら事前にどのように会場を廻るかのプランニングを補助するだけでなく、見学や聴講の感想などをメモしてアプリ内に保存、メール等で簡単に会社に送信することができるので事後報告にも便利で、活用の幅も広く重宝したという称賛の声も多くいただいた。ダウンロード数は昨年並みで、利用者にとって便利なものとして定着してきている。

アプリダウンロード数推移

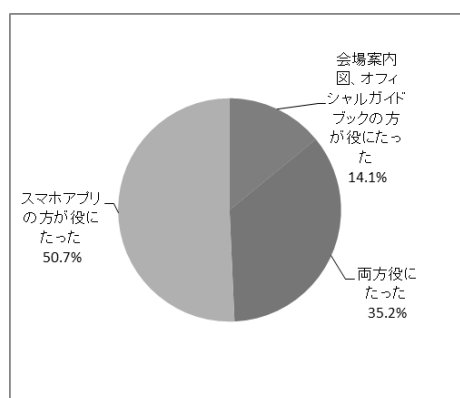
内容	JASIS2017			JASIS2016			JASIS2015		
	ダウンロード数	ダウンロード数/ 来場者数	来場者数	ダウンロード数	ダウンロード数/ 来場者数	来場者数	ダウンロード数	ダウンロード数/ 来場者数	来場者数
iOS	2,606	10.48%	24,856	2,324	9.53%	24,381	1,874	8.01%	23,408
Android	946	3.81%		1,319	5.41%		915	3.91%	
合計	3,552	14.29%	3,643	14.94%	2,789	11.91%			

アプリアンケート集計抜粋

役に立ったメニューは？（複数回答）



オフィシャルガイドブックに比べていかがでしたか？



アンケート回答数：71 を 100% として比率を計算しています。

14. 「科学・分析機器総覧 2017」、「分析機器の手引き」の配布

「科学・分析機器総覧 2017」の掲載会社数は 365 社、掲載スペース数は、3,781 スペースであった。印刷版の発行部数は、17,000 冊、DVD 版の製作枚数は 8,000 枚で合計 25,000 冊/枚を発行・製作した。前回から、DVD 版には科学機器の製品ガイドである、「科学機器入門」を e-book 形式で付録として入れ、さらに充実した内容となった。

JASIS 2017 会期中、来場者のニーズは高く、3 日間で印刷版 A5 版 7,000 冊、B5 版 1,500 冊 合計 8,500 冊と DVD 版 4,000 枚の配布を行った。

JASIS 2017 終了後、「科学・分析機器総覧 2017」印刷版/DVD 版を、掲載会社へ寄贈し、また予約申込をいただいた会員会社・掲載会社を通じて、全国のユーザーへ配布した。また「SENSOR EXPO JAPAN 2017」でも来場者へ配布した。

「分析機器の手引き」は、5 ホールと 7 ホールのインフォメーションカウンターで、1 日 500 部、3 日間で 1,500 部を無償配布した。

科学・分析機器総覧 2017 発行・製作部数と「JASIS 2017」での配布数実績

掲載会社数	365 社
掲載スペース数	3,781 スペース
発行・製作部数	印刷版 17,000 冊 DVD 版 8,000 枚
「JASIS2017」での配布数	印刷版 8,500 冊 DVD 版 4,000 枚



15. 展示会場内外のその他の催事

・抽選コーナー（イベントスクエア 6、7 ホール）

JASIS では、入場受付の混雑緩和等の目的で、来場者の事前入場登録の利用を推進している。事前登録促進策の一環として、事前入場登録いただいたご来場者全員を対象とした抽選会を実施した。抽選会は分析展の時代から 10 年以上続いており、ご来場者に好評の恒例イベントとなっている。

・来場者アンケートコーナー（イベントスクエア 6、7 ホール）

3 日間で 5,174 件のアンケート収集を行った。（アンケートの集計結果は p.59）

・Wi-Fi エリア（イベントスクエア 6、7 ホール、休憩所 4、8 ホール）

有線・無線のインターネット回線と、100V のコンセントを無料で提供した。

・主催者コーナー（イベントスクエア 7 ホール）

JASIS 主催者である一般社団法人日本分析機器工業会ならびに一般社団法人日本科学機器協会の活動についてパネル展示を行った。

・シャトルバスサービス

幕張本郷駅、海浜幕張駅、TX つくば駅、ひたち野うしく駅から幕張メッセ正面入口まで無料でシャトルバスを運行した。ご来場者に好評の恒例サービスとなっている。

・各種ランチスポット

幕張メッセ正面広場には屋台村、展示会場奥休憩所にはランチカー・お弁当販売ワゴン・軽食サービス、アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>ホール 1 階 松月に休憩会場を設けて来場者の便宜を図った。

・JASIS 入場証提示による周辺店舗特別サービス実施

JASIS 2017 開催期間中、レストランや雑貨店など「特別サービス実施店」において JASIS 入場証を提示すると飲食代の割引などお得なサービスが受けられるサービスを幕張メッセと 100 店舗以上の協力を得て、実施した。



16. 新技術説明会

新技術説明会は、「分析ソリューション」の提供、すなわち製品の展示を補完するという点で、ユーザーにとって極めて重要な情報源となってきた。例えば、分析に関する機器や操作の基礎からノウハウに至るまで、機器分析・理化学機器にかかわる様々な情報提供の場として展示会を支えている。毎年、発表会社がさまざまな工夫をこらしており、それが全体の集客の大きな原動力になっている。

2017年の発表テーマ件数は347件（昨年352件）、説明会場は例年通り、アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>11室とホテルニューオータニ幕張5室の計16室を使用。3室が200名定員、残りの13室は100名定員である。講演時間は例年通り25分と50分枠の2種を用意、会場のキャパシティをフル活用しての開催となった。

内訳として25分テーマが216件（昨年222件）、50分テーマが131件（昨年130件）であった。テーマを機種別分類で見ると、「その他」が最も多く118件34%（昨年96件27%）、次いで「分離分析」54件16%（73件21%）、「質量分析」48件14%（49件14%）、次いで「光分析」34件10%（昨年46件13%）という順であった（図1）。

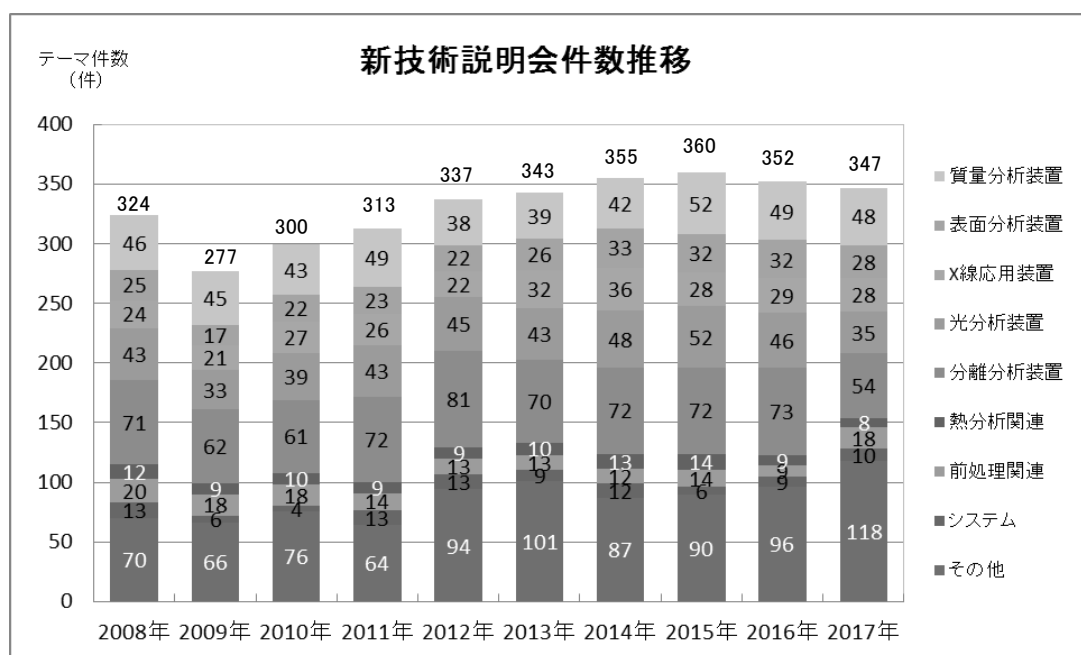


図1 新技術説明会テーマ数推移

対象となる分野については、昨年・一昨年と同様、「ナノ・材料」の区分が最も多く、全体の40%（昨年45%）を占め、次いで「その他」32%（昨年28%）となった。続く「バイオ」14%（昨年15%）、「環境」14%（昨年11%）、「IT」1%（昨年1%）となった。ここ数年、「その他」の演題の増加傾向がある。

以下に、機種別テーマ件数と聴講者数（図 2）および分野別テーマ件数と聴講者数（図 3）を示す。

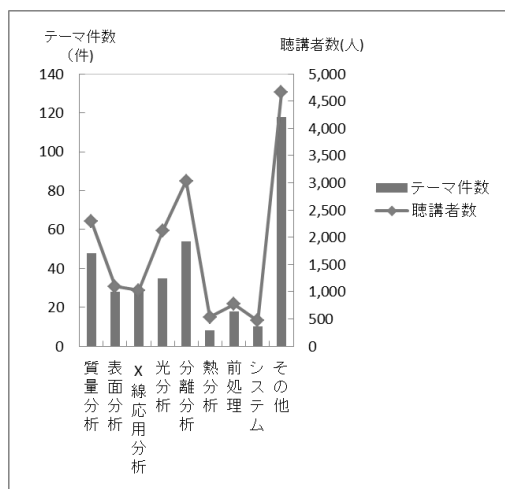


図 2 機種別テーマ件数と聴講者数

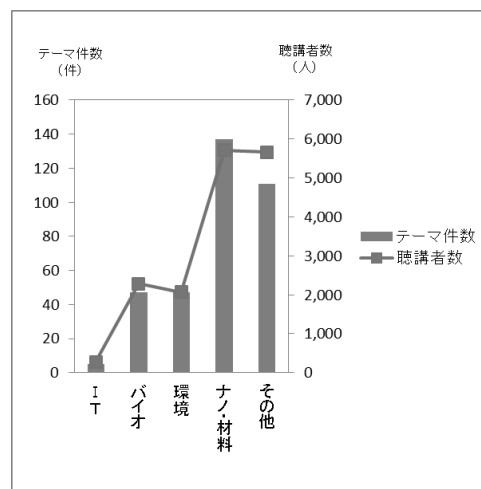
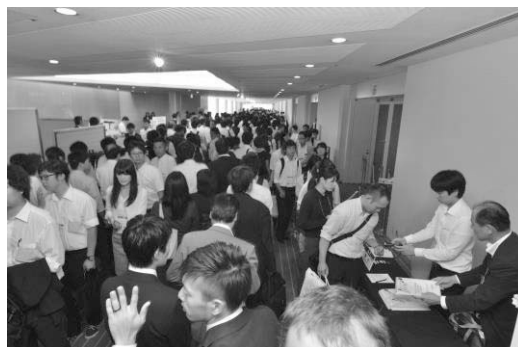


図 3 分野別テーマ件数と聴講者数

機種別テーマ件数では、「その他」、「分離分析」、「質量分析」の順であった。分野別テーマ件数では「ナノ・材料」に続いて「その他」、「バイオ」、「環境」の順となった。いずれのグラフも、テーマ件数と聴講者数の分布は良く一致した。機種別テーマでは、「分離分析」「質量分析」および「光分析」の集客力が見て取れる。

次項に、発表の対象となる物質について図示する（図 4）。ここで分析の対象についてのランキングを見ると、「創薬・製薬」「食品」「石油・石油化学ゴム・プラスチック」「電子材料・半導体」「ライフサイエンス・医療」といった上位についての傾向は、昨年と同様である。

先に、図 3 の「分野別」で「ナノ・材料」が圧倒的多数だったことを示したが、この内訳を図 4 の「石油・石油化学ゴム・プラスチック」「紙・パルプ・繊維・インク・染料」「セラミックス・誘導体・液晶」を「材料」系と括り、「創薬・製薬」「食品」「ライフサイエンス・医療」を「ヘルスケア」系として括ってみると、ヘルスケア系が材料系のテーマ数に拮抗するという点が注目される。



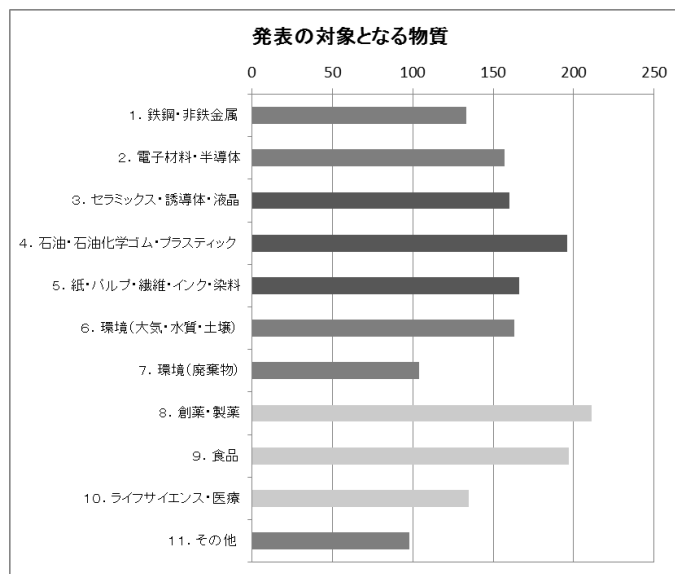


図4 発表の対象となる物質 (2017年)

最後に、本年の新技术説明会全体の集客についてであるが、聴講者数は16,001名（昨年15,708、一昨年17,500）、1テーマ当たりの平均聴講者数は46.1名（昨年44.6、一昨年48.6）であった。聴講者数100人を超える人気テーマの数は33テーマ（昨年15、一昨年36）あり、その中身としては従来人気が集まっていた比較的高度な「ノウハウ」ものから、「基礎」へとシフトしている傾向が見られる。展示会の総入場者に対する新技术説明会の参加率は64%（昨年63%、一昨年75%）であり、この新技术説明会が展示会全体を支える極めて重要な企画であることに変わりはない。

日時：2017年9月6日(水)～9月8日(金) 10:00～17:00

場所：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張> 2階 東京ベイ幕張ホール1室～11室
ホテルニューオータニ幕張 2階 ステラ、翔の間、舞の間、悠の間、麗の間

実施会社数：101社（108社） ※（ ）はJASIS 2016実績

テーマ数：347テーマ（352テーマ）

内 25分：216テーマ / 50分：131テーマ

	JASIS 2017	JASIS 2016	JASIS 2015
9月6日(水)(1日目)	4,511人/113テーマ	4,928人/119テーマ	5,470人 / 122テーマ
9月7日(木)(2日目)	5,583人/116テーマ	5,448人/119テーマ	5,670人 / 117テーマ
9月8日(金)(3日目)	5,907人/118テーマ	5,332人/114テーマ	6,360人 / 121テーマ
合計	16,001人/347テーマ	15,708人/352テーマ	17,500人 / 360テーマ
平均聴講者数	46.1人	44.6人	48.6人
内訳(会員)	303	311	322
(会員外)	44	41	38
テーマ数合計	347	352	360
内同時通訳テーマ数	4	3	2

新技術説明会プログラム

9月6日(水)

部屋番号(A: アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張> N: ホテルニューオータニ幕張)

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:30~10:55	熱分析ーサンプリングから測定条件の選択などのノウハウをお伝えいたします。	(株)島津製作所	日
A-1	11:10~11:35	におい分析ソリューション！ GERSTEL DHS による食品の香気分析『感度/網羅性の向上』	ゲステル(株)	日
A-1	11:50~12:15	中空糸膜を利用した新たな膜式湿度制御装置の性能とそのアプリケーション	(株)キッツマイクロフィルタ	日
A-1	12:30~12:55	連続流れ分析法によるシアン分析の紹介 ～微量シアン及び形態別シアン化物の測定法～	マイルストーンゼネラル(株)	日
A-1	13:10~13:35	イチから学ぶ分光光度計の基礎とサンプル測定テクニック！	(株)日立ハイテクサイエンス	日
A-1	13:50~14:15	新提案！ロボットによる分析機器のコラボ～粘度計-FTIR 多検体自動測定システム～	ジャスコエンジニアリング(株)	日
A-1	14:30~14:55	データインテグリティのガイドラインに対応するためのデータ管理	日本ウォーターズ(株)	日
A-1	15:10~15:35	ブルカー・ダルトニクスの品質管理ソリューションー化粧品、食品、医薬品ー	ブルカー・ダルトニクス(株)	日
A-1	15:50~16:15	ポリマー系超迅速 GPC カラム	昭和電工(株)	日
A-2	10:30~10:55	融点・上昇融点・曇点・沸点の自動測定とデータ管理	メラー・トレド(株)	日
A-2	11:10~11:35	HPLC のノウハウ一挙公開(RPC、IC、GPC、バイオ分離)	東ソー(株)	日
A-2	11:50~12:15	前処理により分析精度を改善！ 遠心法ならではのサンプル前処理技術をご紹介	日立工機(株)	日
A-2	12:30~12:55	これは使える！富士フイルム社の研究開発用マテリアルプリンター最新活用事例	(株)池田理化	日
A-2	13:10~13:35	今話題の機能性材料への表面力測定装置の応用	(株)エリオニクス	日
A-2	13:50~14:15	PreSens 社製 光学式・非接触 高感度 O ₂ 、pH、CO ₂ センサーのアプリケーション事例	三洋貿易(株)	日
A-2	14:30~14:55	食品分析分野における世界最大の技能試験 FAPAS の紹介とその利用	(株)セントラル科学貿易	日
A-2	15:10~15:35	NIR リアルタイムモニタリングでの材料検査・製品品質管理と新素材の検査法の確立	(株)ビートセンシング	日
A-2	15:50~16:15	新製品紹介:小型卓上 MALDI とその応用例	(株)島津製作所	日
A-3	10:30~10:55	バイオマーカーから抗体まで - 実践タンパク質バイオアナリシス講座	日本ウォーターズ(株)	日
A-3	11:10~11:35	XPS に新たな光(CrK α線)ーHAXPES 装置の最新情報ー	アルバック・ファイ(株)	日
A-3	11:50~12:15	ここまでできる！！ イメージングラマン分光装置の最新テクニック	レニショー(株)	日
A-3	12:30~12:55	「違いが見える」材料分析・「香りが見える」香気分析	(株)バイオクロマト	日
A-3	13:10~13:35	世界初！最先端、環境配慮型水銀フリーUV ランプ搭載超純水装置	メルク(株)	日
A-3	13:50~14:15	ここまで早い！自動 EDS 元素分析システム	日本電子(株)	日
A-3	14:30~14:55	環境分析の公定法となった連続流れ分析(CFA)と全自動酸分解前処理装置のご紹介	ビーエルテック(株)	日
A-3	15:10~15:35	大防法改正に向けた新たな提案！加熱酸化装置による排ガス中粒子状水銀の測定	日本インストルメンツ(株)	日
A-3	15:50~16:15	溶液中で起こるナノスケール現象の Poseidon を用いた TEM その場観察	Protochips	日
A-4	10:30~10:55	電位差自動滴定法によるカチオン、アニオン、非イオン性各種界面活性剤の濃度分析	メトロームジャパン(株)	日
A-4	11:10~11:35	ICP 分析などの前処理にマイクロウェーブでもピーカーでもない「エコプレスシステム」	(株)アクタック	日
A-4	11:50~12:15	☆簡単に♪自然に♪☆ イオン液体による新しい電顕用前処理のご紹介	(株)日立ハイテクノロジーズ	日
A-4	12:30~12:55	誰にでもできる簡単かつ迅速なキラル分離メソッドスクリーニング&最適化法の紹介	(株)ワイエムシィ	日
A-4	13:10~13:35	MALDI-MS による分子プロファイリング～微生物の識別を中心に～	(株)島津製作所	日
A-4	13:50~14:15	共焦点ラマン顕微鏡:高分解能複合機までの最新ラインアップと最強のデータ解析	WITec(株)	日
A-4	14:30~14:55	液体中の水分検出 1μg を目指して！	平沼産業(株)	日
A-4	15:10~15:35	新型ニードル式熱伝導率プローブによる測定例の紹介	京都電子工業(株)	日
A-4	15:50~16:15	新提案! 固相抽出から LC 分析までをロボットがつなぐ ～SPE-LC 多検体連続測定システム～	ジャスコエンジニアリング(株)	日
A-5	10:30~10:55	SIM 技術を用いた超解像ラマン顕微鏡とそのアプリケーション	ナノフoton(株)	日
A-5	11:10~11:35	より効率的な品質管理に！食品・ポリマー・油脂分析での近赤外分析計の活用事例	日本ビュッヒ(株)	日
A-5	11:50~12:15	Preak Force Tapping 技術を応用した、機械特性、電気特性測定の紹介	ブルカー・エイエクセス(株)	日
A-5	12:30~12:55	ポータブル GC で解決！土対法改正に伴うクロロエチレン分析手法を分かりやすく紹介！	日本電子(株)	日
A-5	13:10~13:35	進化を続ける SFE、SFC の利用法 ～前処理から分離、分取そして検出まで～	日本分光(株)	日
A-5	13:50~14:15	栄養成分分析(タンパク質と脂質)の自動化・省力化を焦点に分析手法と分析装置を紹介	ゲルハルトジャパン(株)	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-5	14:30~14:55	【ついに登場！ラマン/レオメーター複合分析】今押さえておきたい最新分析テクニック	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-5	15:10~15:35	LC カラムの基礎講座・全多孔性 C18? コアシェル C18? どちらがどう良いの?	(株)クロマニックテクノロジーズ	日
A-5	15:50~16:15	アンビエント質量分析最前線~ DART、そしてその先へ	日本電子(株)	日
A-6	10:30~10:55	いまさら人に聞けない! 蛍光 X 線分析前処理の実際とノウハウ	パナリティカル(スペクトリス(株))	日
A-6	11:10~12:00	微粒子・ナノ粒子測定の新たな挑戦 -分散・凝集の評価など-	(株)島津製作所	日
A-6	12:15~13:05	これで安心! いまさら聞けない AA/ICP/ICP-MS の基礎と誤分析への対策	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-6	13:20~14:10	必ず分析精度が向上する ◆マイクロピペットの基本テクニック◆	ジーエルサイエンス(株)	日
A-6	14:25~15:15	エネルギー分解型超高速フロンカウンティング検出器による疑似単色 X 線イメージングと高精度物質同定	(株)ジョブ	日
A-6	15:30~16:20	走査型プローブ顕微鏡(SPM)による高分子材料の高分解能評価へのアプローチ~基礎から最新技術まで~	(株)島津製作所	日
A-7	10:30~10:55	異次元の高精度を誇る非接触型高速微量分注装置 I-DOT ご紹介	水戸工業(株)	日
A-7	11:10~12:00	新技術! アジレントのICP-MSで金属ナノ粒子測定!! 金属の定量分析の枠を越え、今やナノ粒子を測る時代が来ている!	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-7	12:15~13:05	インライン自動計測や状態変化の解析を実現する最新三次元 CT イメージング技術	(株)リガク	日
A-7	13:20~14:10	簡単にできる XRD 高速測定 & 解析入門 粉末・パルクからアスベストまで!	ブルカー・エイエクセス(株)	日
A-7	14:25~15:15	LIBS 技術の進歩に伴う多様なアプリケーション	伯東(株)	英
A-7	15:30~16:20	イオンクロマトグラフィの真実! ~前処理の基礎から実践まで~	メトロムジャパン(株)	日
A-8	10:30~10:55	前処理・測定作業のハイスループット化を実現するラボオートメーションシステム	旭テクネイオン(株)	日
A-8	11:10~12:00	【イオンクロマトグラフの第三の検出器!】シングル四重極質量分析計 ISQ EC のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-8	12:15~13:05	その測定結果は大丈夫ですか? 紫外可視分光光度計での測定のコツ	(株)島津製作所	日
A-8	13:20~14:10	高極性農業を見逃さない! IC-MS/MS による残留農業分析	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-8	14:25~15:15	質量分析計によるタンパク質測定のためのメソッド開発法のポイント	(株)島津製作所	日
A-8	15:30~16:20	【水分測定ならコレ!】カールフィッシャー水分測定の基礎から実践まで。分析のお悩み解決します。	メルク(株)	日
A-9	10:30~10:55	NMR スクリーニングによる食品や医薬品の外れ値の検出	ブルカー・バイオスピン(株)	日
A-9	11:10~12:00	分散系液体材料の新しいレオロジー特性評価法とそのアプリケーション	三洋貿易(株)	日
A-9	12:15~13:05	ここまでできるの? 簡単・迅速な表面分析 GD-OES! これまで諦めていた非平面材・粉末材の測定や水素分析も一発解決	(株)堀場製作所	日
A-9	13:20~14:10	脂質マトリックスの除去と分析対象物質の高回収率を同時に実現! 最新前処理カートリッジ Captiva EMR Lipid	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-9	14:25~15:15	Park 社 新型AFMシステムとノンコンタクトAFMモードの高速化・FMフィードバック技術への進化について	パーク・システムズ・ジャパン(株)	日
A-9	15:30~16:20	携帯型後方散乱乱エックス線撮像装置と携帯型ラマン分光計の併用による不審物の迅速探知	(株)リガク	日
A-10	10:30~10:55	超高速、省溶媒 GPC-MALS 分析への挑戦	昭光サイエンス(株)	日
A-10	11:10~12:00	医薬品中元素不純物管理(ICH Q3D)で ICP をお使いの方へ~代替法としての簡便な分析手法を紹介します~	(株)島津製作所	日
A-10	12:15~13:05	こんなに進化した! FIB-SEM トリプルビーム®装置を使った電顕アプリケーションの最前線	(株)日立ハイテクノロジーズ	日
A-10	13:20~14:10	GC ユーザー向け空気中の半揮発性有機化合物(SVOC)の定量分析および定量精度向上に関するアプリケーションのご紹介	(株)堀場エステック	日
A-10	14:25~15:15	【50分で全部見せます!】HPLC-PDA を利用した UV スペクトル純度検定の基本	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-10	15:30~16:20	データインテグリティをはじめとした FDA 警告からの考察	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-11	10:30~10:55	飛躍的に向上したトップクラスの『耐アルカリ性』×『低吸着性』新 ODS カラムの紹介	(一財)化学物質評価研究機構	日
A-11	11:10~12:00	悩みを解決! 水質分析のトラブルシューティング	ジーエルサイエンス(株)	日
A-11	12:15~13:05	高純度・高回収率の分取精製を実現するアジレント分取 LC&LC/MS システム	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-11	13:20~14:10	最新の高気・水蒸気・VOC Vapor 液体バリア透過度測定装置について	GTR テック(株)	日
A-11	14:25~15:15	【初心者にも最適!!】粒子・粉体計測の基礎と応用~LD 法と粒子画像解析法と粉体流動性	マルパーン(スペクトリス(株))	日
A-11	15:30~16:20	EDS/EBSD 分析の最先端	オックスフォード・インストゥルメンツ(株)	日
N-1	10:30~10:55	少量サンプルで低粘度領域を簡単かつ高精度に測定できる、画期的な粘度計のご紹介	ヤマト科学(株)	日
N-1	11:10~11:35	【始めてみよう!】固相マイクロ抽出(SPME)の基礎	シグマ アルドリッチ ジャパン	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
N-1	11:50~12:15	ラボでもできるナノ結晶・アモルファス材料の局所構造解析のノウハウ	パナリティカル(スペクトリス(株))	日
N-1	12:30~12:55	pH・導電率測定自動化によるデータ管理と電極のメンテナンス	メトラー・トレド(株)	日
N-1	13:10~13:35	最先端レーザーラマン顕微鏡と最新アプリケーションのご紹介 ~半導体材料を中心に~	ナノフoton(株)	日
N-1	13:50~14:15	LC/MSで何が出来るか - バイオ医薬品の特性解析とバイオシミラーとの比較	日本ウォーターズ(株)	日
N-1	14:30~15:20	光散乱、粘度法を用いた高分子分析の基礎講座と新型装置の紹介	昭光サイエンス(株)	日
N-1	15:35~16:25	ナノレベル赤外分光イメージング 光誘起力顕微鏡 IR-PiFM	(株)日本レーザー	日
N-3	10:30~10:55	予備加熱から強熱まで - マイクロ波灰化による強熱残分などの応用事例	マイルストーンゼネラル(株)	日
N-3	11:10~12:00	意外と知らなかった! 上手な pH 測定! 基礎から精度よく測定するポイントのご紹介	(株)堀場製作所	日
N-3	12:15~13:05	今さら聞けない実験用ガラス機器の基礎知識! しかし、間違ったままで良いですか?	柴田科学(株)	日
N-3	13:20~14:10	☆入門編☆ 今日から始める LC/MS! LC から LC/MS の分析事例	サイエックス	日
N-3	14:25~15:15	GC/MSによる食品中残留農薬分析の時間とコストを 1/5 以下に削減する最新技術とノウハウを一挙公開!	(株)島津製作所	日
N-4	10:30~10:55	ここが違う!! BRUKER の卓上型 X 線マイクロ CT 装置 - 高速・高分解能システム -	ブルカー・エイエックスエス(株)	日
N-4	11:10~12:00	これだけは知っておきたい質量分析の基礎知識!!	日本電子(株)	日
N-4	12:15~13:05	これから始めようニオイ・かおり分析(GC/O の上手な使い方から、最新のにおい分析事情まで)	ジーエルサイエンス(株)	日
N-4	13:20~14:10	メタボローム解析のための前処理と質量分析のコツ	(株)島津製作所	日
N-4	14:25~15:15	排水・廃液中 As,Se,Cd 等の極微量(ppb)分析など環境測定に最適な卓上型全反射蛍光X線分析装置のご紹介。	(株)リガク	日
N-5	10:30~10:55	樹脂の新しい熱劣化評価法 - 初期変性で生じるラジカルを in-situ で測定 -	日本電子(株)	日
N-5	11:10~11:35	NMR 導入は敷居が高い? そんなことはありません! 手軽で高感度な卓上 NMR のご紹介!	ジャスコインタナショナル(株)	日
N-5	11:50~12:15	【新発売】迅速×簡単×高感度/生物発光式エンドキシニン計「ルミニッツ」の紹介	東亜ディーケーケー(株)	日
N-5	12:30~12:55	「食品中有害重金属分析に新提案! ~蛍光 X 線分析による ppb オーダーの極微量分析~」	(株)テクノエクス	日
N-5	13:10~13:35	ナノ粒子のサイズコントロールと新規分析手法について	(株)ピーエスエスジャパン	日
N-5	13:50~14:15	濃厚系試料を希釈せずに測定出来る粒度分布計、ゼータ電位及び安定性評価装置の紹介	英弘精機(株)	日
N-5	14:30~15:20	GC/MS, LC/MS, ICP-MS による抽出物/浸出物の多角的な分析	アジレント・テクノロジー(株)	日
N-6	10:30~10:55	LC, LC/MS 分析における吸着の実態と小容量低吸着ピペットチップ/容器の開発	(株)島津製作所	日
N-6	11:10~11:35	☆小さくてもスゴいヤツ! ☆ コンパクト多機能 SEM のご紹介	(株)日立ハイテクノロジーズ	日
N-6	11:50~12:15	ガスクロマトグラフィー用 UV 検出器を使ったアプリケーションの紹介	アステック(株)	日
N-6	12:30~12:55	蛍光指紋とクロマトグラフィーのマッチング~驚きの高精度データ解析~	(株)日立ハイテクサイエンス	日
N-6	13:10~13:35	試料最表面から内部まで観察、分析!! 最新 FIB-SEM のご紹介	日本電子(株)	日
N-6	13:50~14:15	ICP-MS を用いた気体成分のリアルタイム高感度直接分析のご紹介	(株)ジェイ・サイエンス・ラボ	日
N-6	14:30~15:20	FTIR & ラマンの最新測定事例の紹介 ~仕事に役立つ 2017 年版エッセンスをここに凝縮~	日本分光(株)	日

9月7日(木)

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:30~10:55	現場で役立つ!! 高質量分解能 MALDI-TOFMS による合成高分子解析	日本電子(株)	日
A-1	11:10~11:35	バイオ医薬品の特性解析を指向したバイオセパレーションカラムの選択法と分離例の紹介	(株)ワイエムシィ	日
A-1	11:50~12:15	ポータブル機器を高感度に!! 世界一小さい光電子増倍管『マイクロ PMT』	浜松ホトニクス(株)	日
A-1	12:30~12:55	Li-ion 電池の電解液透過度測定について	GTR テック(株)	日
A-1	13:10~13:35	ここまでできる! 質量分析計によるガス分析の最新情報	日本電子(株)	日
A-1	13:50~14:15	SEM と μ FR 法を組み合わせた電子デバイスの極微量分析 - 局所膜厚測定	ブルカー・エイエックスエス(株)	日
A-1	14:30~14:55	C18 カラムのエンドキャッピングはここまで進化した! 耐久性を実現する技術とその性能	(株)クロマニックテクノロジーズ	日
A-1	15:10~15:35	ナノフoton社製共焦点ラマン顕微鏡が“み”せるラマンイメージングの世界	(株)池田理化	日
A-1	15:50~16:15	バイオ医薬品分離へのアプローチ	東ソー(株)	日
A-2	10:30~10:55	最新解析技術を使って簡便・正確に粉末 XRD データを解析しよう!	パナリティカル(スペクトリス(株))	日
A-2	11:10~11:35	これからの ISO/IEC 17025	ベリジョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-2	11:50~12:15	マルチユース質量分析計 固体、液体、気体、様々な状態のサンプルをこの1台で!	昭光サイエンス(株)	日
A-2	12:30~12:55	熱分析の公定法をアシスト! 測定~解析を手軽に確実に!	(株)日立ハイテクサイエンス	日
A-2	13:10~13:35	ドラフトチャンパー内での天秤の最小計量値の目安を簡便に確認する方法	(株)エー・アンド・デイ	日
A-2	13:50~14:15	『前処理操作を簡単に!』マイクロ波酸分解法だからできる多検体同時処理	マイルストーンゼネラル(株)	日
A-2	14:30~14:55	FFFを用いた粒子・分子の分離分析について最新技術とアプリケーションを紹介	旭テクネイオン(株)	日
A-2	15:10~15:35	サブミクロン粒子も自動解析! 卓上 SEM を用いた粒子解析システムのご紹介	ジャスコインタナショナル(株)	日
A-2	15:50~16:15	錠剤の断面だしをサクッと解決! ~医薬品・サプリメントの広範囲な成分分布が見える~	ジャスコエンジニアリング(株)	日
A-3	10:30~10:55	イチから学ぶ元素分析~原子吸光・ICP 発光分析に必要な前処理技術を含めて~	(株)日立ハイテクサイエンス	日
A-3	11:10~11:35	精度の高い計量結果を得る為に 計量に影響を与える様々な外的要因と対処方法	メトラー・トレド(株)	日
A-3	11:50~12:15	HPLC UV 検出器の改良による脂肪酸、糖、セラミド等の新定量法の開発と経費の節約	長良サイエンス(株)	日
A-3	12:30~12:55	医薬品における簡単安全な“窒素分析”と精度管理/GMP 対応についての紹介	日本ビュッヒ(株)	日
A-3	13:10~13:35	FDAも推奨するスワブ法による迅速・正確な TOC 計での洗浄バリデーション	(株)島津製作所	日
A-3	13:50~14:15	超音波方式・動的光散乱方式による濃厚系粒子径分布計測と In Situ 測定に関して	日本ルフト(株)	日
A-3	14:30~14:55	イメージングラマン分光装置を用いた半導体材料とバッテリー材料の解析法と最新の応用例	レニショー(株)	日
A-3	15:10~15:35	凝集粗大粒子の粒度分布測定に未だ定量測定を取り入れて無い方へ	(株)ピーエスエスジャパン	日
A-3	15:50~16:15	ここまで来た! ガスクロマトグラフの最新技術をご紹介します!	(株)島津製作所	日
A-4	10:30~10:55	具体事例から学ぶ光電子増倍管の基本と最新事情	浜松ホトニクス(株)	日
A-4	11:10~11:35	★注目度 UP★研究者に負担のないシンプルな試薬管理を NCS 社の最新アプリで実現	(株)池田理化	日
A-4	11:50~12:15	【ビギナー必見!】25分で習得できるトリプル四重極 ICP-MS の原理と測定テクニック	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-4	12:30~12:55	におい分析ソリューション! GERSTEL 匂い嗅ぎ/分取 GC-MS システム	ゲステル(株)	日
A-4	13:10~13:35	高感度蛍光 X 線装置による応用技術及びポータブル全反射蛍光 X 線装置による微量分析	アワーズテック(株)	日
A-4	13:50~14:15	最良の熱分析結果を得るために ~基礎とテクニック~	ティー・エイ・インストルメント・ジャパン(株)	日
A-4	14:30~14:55	世界はここまで来ている! TEM 試料作製技術集	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-4	15:10~15:35	観たい元素は何ですか? ~蛍光 X 線分析の常識を覆す圧倒的な分析精度~	(株)テクノエクス	日
A-4	15:50~16:15	ハロゲン水分計の適切な使用方法および精度を保つための日常点検	メトラー・トレド(株)	日
A-5	10:30~10:55	極性化合物の保持と感度を向上する新 C18 系コアシェルカラムの紹介	(株)島津製作所	日
A-5	11:10~11:35	水質分析を自動化してみませんか?『濁度・色度・濁度・pH・EC の同時自動測定』	マイルストーンゼネラル(株)	日
A-5	11:50~12:15	企画から運用まで、研究施設のトータルサポートをご紹介します	ヤマト科学(株)	日
A-5	12:30~12:55	分析業務をさらに早く! より楽に! 高輝度電子銃を備えた汎用 SEM のご紹介	日本電子(株)	日
A-5	13:10~13:35	原材料等の X 線回折、蛍光 X 線分析の基礎と応用。粒子計測と組合わせた新規応用事例の提案	マルバーン・パナリティカル(スペクトリス(株))	日
A-5	13:50~14:15	“Simple is Best!” エントリーモデルイオンクロマトグラフ Metrohm Eco IC の紹介	メトロムジャパン(株)	日
A-5	14:30~14:55	HPLC だけで充分ですか? -新たな分離モードの追加-	ブルカー・ダルトニクス(株)	日
A-5	15:10~15:35	簡単操作で身近になったハイパフォーマンス FE-SEM	日本電子(株)	日
A-5	15:50~16:15	クロマトグラフ向け MS 検出器 - ここまでできる! 最前線アプリケーション	日本ウォーターズ(株)	日
A-6	10:30~10:55	セラミックの固体 NMR	ブルカー・バイオスピン(株)	日
A-6	11:10~12:00	【イオンクロの基礎講座】最新のノウハウを理解するために、IC の分離と検出の基礎を振り返る	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-6	12:15~13:05	固相抽出でできること - 初心者のための前処理講座	日本ウォーターズ(株)	日
A-6	13:20~14:10	お悩みの方へ! 上手な pH 測定! 測りにくい試料をより精度よく測定するノウハウのご紹介	(株)堀場製作所	日
A-6	14:25~15:15	高感度分析に用いる超純水の使用上の注意点	エルガ・ラボウォーター(ヴェオリア・ジェネッツ(株))	日
A-6	15:30~16:20	FTIR・赤外顕微鏡による異物/不良解析~自動不良解析システムの活用~	(株)島津製作所	日
A-7	10:30~10:55	不純物、未知成分の分析にお困りの方必見! SPE で“つなぐ”分離と定性	ジャスコインタナショナル(株)	日
A-7	11:10~12:00	ここがポイント蛍光 X 線分析! 測定ノウハウと最新機能を備えた WDX・EDX 装置をご紹介します!	ブルカー・エイエクスエス(株)	日
A-7	12:15~13:05	トヤマ社製 FILMER による SNMS モードおよび高面分解能 TOF-SIMS モードの最新分析事例紹介	(株)トヤマ	日
A-7	13:20~14:10	【新製品】窒素吹き付け濃縮装置 TurboVap(ターボバップ)が全く新しいデザインで生まれ変わりました!	パイオタージ・ジャパン(株)	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-7	14:25~15:15	【はじめての方にも最適!!】レオロジー測定 ~基礎と応用~	マルバーン(スペクトリス(株))	日
A-7	15:30~16:20	GPC/SECによる高分子材料解析の基礎から応用まで	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-8	10:30~10:55	画像式粒度分布装置の最前線!最新の粒子径・粒子形状・粒子画像、測定事例のご紹介	ヴァーダー・サイエンティフィック(株)	日
A-8	11:10~12:00	光散乱製品と最新アプリケーションのご紹介	大塚電子(株)	日
A-8	12:15~13:05	本気で取り組む!無機力セミナー	ジーエルサイエンス(株)	日
A-8	13:20~14:10	ついに発売!他社とはまったく違うSFC!Agilent Infinity II SFC	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-8	14:25~15:15	食品・医薬・バイオ業界向けのモニタリング技術のご紹介	(株)堀場製作所	日
A-8	15:30~16:20	微小部蛍光X線と全反射蛍光X線分析の基礎から応用までをじっくり解説します!	ブルカー・エイエックスエス(株)	日
A-9	10:30~10:55	熱分析の基礎講座 ~DSC, TG-DTAの測定・解析・解釈	ネッチ・ジャパン(株)	日
A-9	11:10~12:00	明日から分析が可能!異臭分析はアジレントにおまかせ。GC/MS 用異臭分析データベース	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-9	12:15~13:05	粘弾性の基礎から、最新・最先端のレオメーター/ラマン分光装置統合システムまでを一挙紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-9	13:20~14:10	ナノ材料・多孔性材料を正しく評価できていますか?~比表面積・細孔分布・真密度・粒子径分布・個数カウント~	マイクロトラック・ベル(株)	日
A-9	14:25~15:15	三次元X線CT検査-基礎から応用技術アプリケーションまで-	(株)島津製作所	日
A-9	15:30~16:20	【XPS最新事情!】XPS装置“K-Alpha+”、最新アプリケーション事例の紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-10	10:30~10:55	簡単!きれい!リサイクル分離精製法 ~オート機能搭載新装置による究極の分離手段~	日本分析工業(株)	日
A-10	11:10~12:00	Fusion with Jobin Yvon 堀場製作所より紫外~近赤外分光分析の最新技術・アプリケーションを一挙公開	(株)堀場製作所	日
A-10	12:15~13:05	分光光度計の正しい使い方のポイントを伝授!! ~原理と測定法の理解で測定結果に自信を~	日本分光(株)	日
A-10	13:20~14:10	FFとスイッチ素子付きGCMSを利用した、複合臭分析に有効な自動オMISSION装置の利用事例	(株)島津製作所	日
A-10	14:25~15:15	誰もがGCエキスパート!高速分析や生産性向上を実現するアジレントの最新GC	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-10	15:30~16:20	2次元X線回折がより身近に -2次元半導体検出器を装備した究極のハイ・コストパフォーマンスX線回折装置-	(株)リガク	日
A-11	10:30~10:55	新製品 Applikon 製 マイクロバイオリアクターとバイオシェーカーのご紹介	三洋貿易(株)	日
A-11	11:10~12:00	プロのノウハウを結集!EDXとFTIRによる異物解析の新技术	(株)島津製作所	日
A-11	12:15~13:05	ココがすごい!更なる金属分析の可能性を秘めるAgilent 5110 ICP-OES	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-11	13:20~14:10	高精度な広域主成分マップ、3D主成分マップの抽出を可能にする、EDS多変量イメージ解析(COMPASS)のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-11	14:25~15:15	ナノスケール赤外分光の最近の進展:空間分解能、測定時間、応用例	(株)日本サーマル・コンサルティング	日
A-11	15:30~16:20	防曇処理において、従来成し得なかった曇りのプロセスの解明を新発想の評価手法で実現し、お客様の開発や品質向上に貢献します。	協和界面科学(株)	日
N-1	10:30~10:55	【GCで水を測定!】水試料にも適用出来るイオン液体GCキャピラリーカラムのご紹介	シグマ アルドリッチ ジャパン	日
N-1	11:10~11:35	ろ過不要!ガロン瓶1本分の環境水を数分でバイアルに!~ディスク型固相抽出法~	ジャスコエンジニアリング(株)	日
N-1	11:50~12:15	医薬向けPIC/S GMP Annex 11対応のTOC計はお任せ下さい!	(株)三菱ケミカルアナリテック	日
N-1	12:30~12:55	「違いが見える」材料分析・「香りが見える」香気分析	(株)バイオクロマト	日
N-1	13:10~13:35	TOF-SIMSのスペクトル解釈にお悩みの方、是非ご参加下さい!	アルバック・ファイ(株)	日
N-1	13:50~14:15	不良原因解析に朗報!GCMSノンターゲット分析による高分子材料の微小差異解析	LECOジャパン(同)	日
N-1	14:30~15:20	分析試料前処理マイクロ波分解・抽出装置MARS6、MARS One、および、マイクロ波高速マッフル炉Phoenixのご紹介	CEM Japan(株)	日
N-1	15:35~16:25	☆もっと見える♪もっとわかる♪☆ こんなFE-SEMの使い方もありますよ	(株)日立ハイテクノロジーズ	日
N-3	10:30~10:55	分析がうまくいかないときは?LCカラムトラブルシューティング	日本ウォーターズ(株)	日
N-3	11:10~12:00	必ず分析精度が向上する ◆マイクロピペットの基本テクニック◆	ジーエルサイエンス(株)	日
N-3	12:15~13:05	RoHS指令等の化学物質規制の最新情報と対策 ~フタル酸エステル類のスクリーニングシステム、データ管理システムの紹介~	(株)島津製作所	日
N-3	13:20~14:10	HPLC分析における分離改善ノウハウ2017	ジーエルサイエンス(株)	日
N-3	14:25~15:15	高感度、極微量Cl・S・P分析を実現(検出下限0.1ppm)、クロマトフリー対応の卓上型蛍光X線分析法のご紹介。	(株)リガク	日
N-3	15:30~16:20	高速・高画質を追求したUVラマン顕微鏡とその応用	ナノフoton(株)	日
N-4	10:30~10:55	イチから学ぶ蛍光指紋分析 ~蛍光指紋専用システムと解析ソフトウェアの紹介~	(株)日立ハイテクサイエンス	日
N-4	11:10~12:00	より良いLC/MS分析のための日常の留意点	(株)島津製作所	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
N-4	12:15~13:05	これだけは知っておきたい！ ～逆相 HPLC・LC/MS 分析を明日から使いこなすためのノウハウとトラブルシューティング～	(一財)化学物質評価研究機構	日
N-4	13:20~14:10	☆基礎編☆ これでわかる LC/MS！ イオン化から質量分離まで	サイエックス	日
N-4	14:25~15:15	JIS、ISO、GMP、薬局方で求められる天びん、はかりの校正と測定の不確かさの有効性について	メトラー・トレド(株)	日
N-4	15:30~16:20	まだ間に合う！ これから始める栄養成分分析～たんぱく質、脂質分析の基本とコツ～	日本ビュッヒ(株)	日
N-5	10:30~10:55	独自技術、アニユラー型 EDS 検出器 FlatQUAD による最新元素分析技術と測定事例紹介	ブルカー・エイエックスエス(株)	日
N-5	11:10~11:35	ハイエンド GC-MS 分析の最新トレンド！！ 網羅的解析を駆使したノンターゲット分析の新たなアプローチ	日本電子(株)	日
N-5	11:50~12:15	新発想の ICP 分析用前処理装置「エコプレスシステム」を用いた分解/分析事例のご紹介	(株)アクタック	日
N-5	12:30~12:55	世界初！ 最先端、環境配慮型水銀フリーUV ランプ搭載超純水装置	メルク(株)	日
N-5	13:10~13:35	マイクロウェーブを用いた様々なアプリケーション例	(株)アントンパール・ジャパン	日
N-5	13:50~14:15	TEM, FIB からの 3D データの解析技術	日本電子(株)	日
N-5	14:30~15:20	ICP 発光分光分析装置と ICP 質量分析計の上手な使い方	(株)島津製作所	日
N-5	15:35~16:25	世界初！ 磁化率による様々な粒子物性評価技術と、0.1 μl のサンプル量で SEM 並みの粒子径測定が出来る新製品「ナノメジャー®」のご紹介	ヤマト科学(株)	日
N-6	10:30~10:55	【必見!!】他の追随を許さない、独自の機器用「チューブ」、「継手」技術を初公開!!!	ウシオライティング(株)	日
N-6	11:10~11:35	共存物を多く含む試料を原子吸光・ICP 発光で測定するコツ！	(株)日立ハイテクサイエンス	日
N-6	11:50~12:15	遂に出た！ ①無機塩の PIC/S 全数検査に携帯型 LIBS、②紙袋越し測定の新ラマン。	三洋貿易(株)	日
N-6	12:30~12:55	ハンドヘルド型 LIBS システム:医薬品原材料受入検査向け LIBS のご紹介	(株)BWT ジャパン	英
N-6	13:10~13:35	世界最大規模のスペクトルデータベース Wiley Spectra Lab の商品説明	ワイリー・パブリッシング・ジャパン(株)	日
N-6	13:50~14:15	認証標準物質の重要性及び使い方ーICHQ3D やフタル酸エステル等の新商品ご提案ー	西進商事(株)	日
N-6	14:30~15:20	ラボベース ESCA で誰でも気軽に夢の『大気圧下』測定！ ～触媒・腐食・二次電池・バイオ材料の開発研究から品質管理まで～	(株)東京インストルメンツ	英

9月8日(金)

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:30~10:55	固相抽出～濃縮過程のキーポイントとは？作業効率を上げ、測定精度を向上させる！	ジャスコエンジニアリング(株)	日
A-1	11:10~11:35	無限量の連続運転が可能「凍結乾燥機」～霜取りのための運転中断はもう不要です！～	日本ビュッヒ(株)	日
A-1	11:50~12:15	白色光干渉計における欠陥部判断例の紹介	ブルカー・エイエックスエス(株)	日
A-1	12:30~12:55	粒子の分散性に関わる物性評価手法 粘度、長期安定性、表面張力、粒度分布、粉体流動	英弘精機(株)	日
A-1	13:10~13:35	ポリマーや VOC 分析のいろは ～Py,VOC-GC/MS 分析入門編～	日本分析工業(株)	日
A-1	13:50~14:15	改正 RoHS 分析の決定版！「簡単」「迅速」なフタル酸エステル類スクリーニング分析	(株)日立ハイテクサイエンス	日
A-1	14:30~14:55	食品栄養成分測定に最適な近赤外分析装置について	ピーエルテック(株)	日
A-1	15:10~15:35	ナノ・微粒子のユニークな粒度分布測定法や新しい解析法についてご紹介	(株)ピーエスエスジャパン	日
A-1	15:50~16:15	ION-TOF 社製 TOF-SIMS 5:コンビネーションシステムで広がる材料分析	(株)日立ハイテクサイエンス	日
A-2	10:30~10:55	こんなに測れる！高速・広域・高精度！白色干渉顕微鏡新機能による表面計測事例紹介	(株)日立ハイテクノロジーズ	日
A-2	11:10~11:35	もうこわくない！ラマンのやさしい解析テクニック ～多変量解析の基礎から応用～	ナノフoton(株)	日
A-2	11:50~12:15	シエンタオミクロン社の AP-XPS 及び HAXPES 製品の現状	シエンタ オミクロン(株)	日
A-2	12:30~12:55	“データインテグリティ”の動向とサーモフィッシャーサイエンティフィックからの提案	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-2	13:10~13:35	最新型電位差自動滴定装置を用いた測定の提案ー界面活性剤/石油製品/食品等ー	京都電子工業(株)	日
A-2	13:50~14:15	アサイラム リサーチ AFM による液中観察の最新技術とアプリケーション	オックスフォード・インストルメンツ(株)	日
A-2	14:30~14:55	事故事例から考える研究・実験施設の安全管理	ヤマト科学(株)	日
A-2	15:10~15:35	カールフィッシャー水分計の FDA Part11 対応で困っていませんか？	(株)三菱ケミカルアナリテック	日
A-2	15:50~16:15	親水性化合物の分析でお困りですか？メルクとスペルコの HPLC カラムを使いこなそう	シグマ アルドリッチ ジャパン	日
A-3	10:30~10:55	アジレント LC/MS による最新水道水質分析事例	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-3	11:10~11:35	高速イオンクロマトグラフィーによるポイラ水中のイオン成分分析のご紹介	東ソー(株)	日
A-3	11:50~12:15	研究開発から品質管理まで！画像解析法における多彩な粒子評価パラメータの活用法	ジャスコインタナショナル(株)	日
A-3	12:30~12:55	HILIC の新境地！ポリマー系 HILIC カラムが切り開く親水性物質の新しい分離	昭和電工(株)	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-3	13:10~13:35	マイクロ波酸分解の常識を超えたマイクロ波試料分解装置 UltraWAVE のご紹介	マイルストーンゼネラル(株)	日
A-3	13:50~14:15	満を持して新技術登場！Dynosorb の技術革新	カンタクローム・インスツルメンツ・ジャパン(同)	日
A-3	14:30~14:55	自動車部品製造後の清浄度検査におけるコンタミネーション粒度分布測定方法について	ジャパンマシナリー(株)	日
A-3	15:10~15:35	イチから学ぶ分光光度計の基礎とサンプル測定のコツ！	(株)日立ハイテクサイエンス	日
A-3	15:50~16:15	新製品近赤外分光計(NIR)と元素分析を組み合わせるサンプルの同定分析に挑戦	バナリティカル(スペクトリス(株))	日
A-4	10:30~10:55	こんなときどうする？ MSトラブルシューティング	日本ウォーターズ(株)	日
A-4	11:10~11:35	あなたはじっくり観察派？それとも完全自動派？SEM 観察の最先端を探る	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-4	11:50~12:15	『酸分解だけじゃない！』マイクロ波による溶媒抽出法の魅力と活用例	マイルストーンゼネラル(株)	日
A-4	12:30~12:55	「違いが見える」材料分析・「香りが見える」香気分析	(株)バイオクロマト	日
A-4	13:10~13:35	可視光、および近赤外光の吸収特性を利用したオンライン成分計の計測事例	(株)チノー	日
A-4	13:50~14:15	ハイエンド電子顕微鏡のための環境対策最前線～Part4. 理想的なラボ作りのために	日本電子(株)	日
A-4	14:30~14:55	熱分析・熱物性からできる高分子・樹脂材料の劣化解析・信頼性評価	ネッチ・ジャパン(株)	日
A-4	15:10~15:35	高分子材料を中心とした多彩なラマンアプリケーションのご紹介	ナノフロン(株)	日
A-4	15:50~16:15	初めて LC を使う方に - 基礎から聞ける LC 講座	日本ウォーターズ(株)	日
A-5	10:30~10:55	サブナノメートルサイズの欠陥評価が誰でも簡単に！「陽電子寿命測定システム」の紹介	(株)池田理化	日
A-5	11:10~11:35	ブルカーが提案する微生物検査ソリューション - 菌種同定からタイピングまで-	ブルカー・ダルトニクス(株)	日
A-5	11:50~12:15	ここまでできる！XRF を用いた高精度材質判定のご紹介-異物分析への応用-	日本電子(株)	日
A-5	12:30~12:55	ここが違う！分析業務を圧倒的に効率化するシステム『WeLS』の新機能・実績をご紹介！	西川計測(株)	日
A-5	13:10~13:35	定量分析を効率化！成分を限定することなく高感度分析が可能な新しい GCMS の紹介	LECO ジャパン(同)	日
A-5	13:50~14:15	LC、GCだけでは物足りない方、必見！新たな分離技術(SFC)の可能性をご提案！	ナカライテスク(株)	日
A-5	14:30~14:55	あらゆる有機物を迅速・正確に実測！プロセス・品質管理に活用できる TOC 計の測定事例	(株)島津製作所	日
A-5	15:10~15:35	各種機能ホルダーによる多機能化を実現！新しいクロスセクションポリリッシャ TM の紹介	日本電子(株)	日
A-5	15:50~16:15	におい分析ソリューション！FLEX-TwisterR による飲料中の親水性、極性香気成分の分析	ゲステル(株)	日
A-6	10:30~10:55	LC、LC/MS 分析における吸着の実態と低吸着前処理器具の開発	(株)島津製作所	日
A-6	11:10~12:00	聞くのは恥だが役に立つ！？今さら聞けない GC 分析の「キホンのキ」	ジーエルサイエンス(株)	日
A-6	12:15~13:05	より良い LC/MS 分析のための日常の留意点	(株)島津製作所	日
A-6	13:20~14:10	これだけは知っておきたい！～逆相 HPLC・LC/MS 分析を明日から使いこなすためのノウハウとトラブルシューティング～	(一財)化学物質評価研究機構	日
A-6	14:25~15:15	【FT-IR・異物分析】みんな使っている定番テクニック集(入門編)	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-6	15:30~16:20	XPS による表面分析の基礎から応用と、最新 XPS 装置の動向	(株)島津製作所	日
A-7	10:30~10:55	イメージングラマンの基礎講座	レニショー(株)	日
A-7	11:10~12:00	水質測定基礎セミナー！pH、電気伝導率、溶存酸素、濁度測定のコツを分りやすく解説	東亜ディーケーケー(株)	日
A-7	12:15~13:05	ラボ運営者必見！滴定オートメーション(中和、酸化還元、キレート、沈殿、非水滴定&カールフィッシャー水分測定システム)	メトロームジャパン(株)	日
A-7	13:20~14:10	【はじめての方にも最適！！】ナノ粒子測定のコツと応用	マルバーン(スペクトリス(株))	日
A-7	14:25~15:15	最先端の滴定技術による新しい表面改質評価方法とそのアプリケーション	三洋貿易(株)	日
A-7	15:30~16:20	バイオ・ライフサイエンス(生細胞・DNA)用 AFM の高精度・高速測定技術の紹介	ブルカー・エイエックスエス(株)	日
A-8	10:30~10:55	ここまで来た！食品の真正性はレーザー分光で解決。原料産地判別の最新動向。	三洋貿易(株)	日
A-8	11:10~12:00	知って欲しい！CL 技術の基礎と CL 技術および EDX 技術を使った表面分析の最新分析事例を一挙公開！	(株)堀場製作所	日
A-8	12:15~13:05	【基礎から学ぶ】固相抽出(SPE)カラムの基礎とあなたの日々の作業に役立つ弊社独自のノウハウを伝授	シグマ アルドリッチ ジャパン	日
A-8	13:20~14:10	高温領域の硬さ試験 高温対応ナノインデント	(株)日本レーザー	日
A-8	14:25~15:15	☆前処理でこんなに綺麗♪☆ SEM 試料前処理装置の最前線	(株)日立ハイテクノロジーズ	日
A-8	15:30~16:20	分析天びんによる溶液調製の省力化と、最新の静電気除去技術による秤量作業の効率化法をご紹介	(株)島津製作所	日
A-9	10:30~10:55	世界初！最先端・環境配慮型水銀フリーUV ランプ搭載超純水装置	メルク(株)	日
A-9	11:10~12:00	明日から分析が可能！RoHS 指令フタル酸エステル分析はアジレントにおまかせ。アジレント フタル酸エステル スクリーナー	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-9	12:15~13:05	超臨界流体を用いた前処理操作や分離分析ワークフローを各種ご提案	(株)島津製作所	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
A-9	13:20~14:10	マクロからミクロ、表面から内部まで。異物分析最新アプリケーションのご紹介	(株)堀場製作所	日
A-9	14:25~15:15	【自在な引張角度と剥離面の観察による最新密着性評価手法】機能性材料などの粘着・積層界面の品質向上に貢献	協和界面科学(株)	日
A-9	15:30~16:20	個別分析から多成分一斉分析へ！！トリプル四重極 LC/MS を用いた食品中の機能性成分分析の最先端アプリケーション	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-10	10:30~10:55	ここが違う！！BRUKERの最先端材料評価用X線回折装置とその測定事例	ブルカー・エイエクセス(株)	日
A-10	11:10~12:00	～ナノ粒子を扱うお客様へ～ ナノ粒子解析の最前線	昭光サイエンス(株)	日
A-10	12:15~13:05	【超臨界のバイオニア 日本分光プレゼンツ】最新 SFC のノウハウとトラブルシューティング～導入から実践まで～	日本分光(株)	日
A-10	13:20~14:10	メタボローム解析のためのデータ処理入門	(株)島津製作所	日
A-10	14:25~15:15	データインテグリティー LabXを使用した自動化データインテグリティー	メラー・トレド(株)	日
A-10	15:30~16:20	キャピラリー電気泳動 基礎講座！今さら聞けない CE の基礎から、半導体業界、食品業界向けアプリケーションまで！	大塚電子(株)	日
A-11	10:30~10:55	「私たちなら出来ます！！～蛍光X線分析によるオンライン・インライン分析～」	(株)テクノエクス	日
A-11	11:10~12:00	危険物保管の最先端！火災事故を最小限に抑える耐火安全保管庫のご紹介	ヤマト科学(株)	日
A-11	12:15~13:05	新しいシングル四重極 LC/MS と MassWorks ソフトを利用したミリマス解析	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-11	13:20~14:10	“カールフィッシャー滴定のトラブルシューティング～適切な測定方法の選択”	林 純薬工業(株)	英
A-11	14:25~15:15	ハンドヘルド型蛍光X線分析計で行えること	(株)リガク	日
A-11	15:30~16:20	C18 カラムの固定概念を覆す！業務に必ず役立つ目から鱗のカラムの常識・非常識	(株)クロマニックテクノロジーズ	日
N-1	10:30~10:55	進化した FlashDSC による革新的超高速 DSC 測定のご紹介	メラー・トレド(株)	日
N-1	11:10~11:35	コンパクトと高性能を両立した新型ペンチトップ型 X 線回折装置の紹介	パナリティカル(スペクトリス(株))	日
N-1	11:50~12:15	【TOF-MS 用】新世代イオン検出器 ～装置性能を飛躍的に向上～	浜松ホトニクス(株)	日
N-1	12:30~12:55	熱分析ソフトウェアの 21 CFR Part 11 対応	メラー・トレド(株)	日
N-1	13:10~13:35	微小粒子、液滴の物性評価 -粒径分布、分散性、濡れ性をモニターする-	ブルカー・バイオスピク(株)	日
N-1	13:50~14:15	こんなときどうする？ LCトラブルシューティング	日本ウォーターズ(株)	日
N-1	14:30~14:55	GC SHED 法によるミニタンクやチューブ・パイプの液体透過/蒸気透過の測定方法について	GTR テック(株)	日
N-1	15:10~15:35	「界面活性剤なしで粉が水中に分散！」大気圧プラズマによる粉体表面改質	(株)ラウンドサイエンス	日
N-1	15:50~16:15	あなたの TEM に実環境が再現できます	日本電子(株)	日
N-3	10:30~10:55	NMR による検量線が不要の絶対定量法	日本電子(株)	日
N-3	11:10~12:00	FTIR・赤外線顕微鏡による異物/不良解析～自動不良解析システムの活用～	(株)島津製作所	日
N-3	12:15~13:05	最適な LC カラムの選択 - 分析パラメーターの結果への影響	日本ウォーターズ(株)	日
N-3	13:20~14:10	試料導入法が決め手！ GC/MS で、はじめてのにおい分析のコツから、高感度化・自動化の最新技術までを紹介	(株)島津製作所	日
N-3	14:25~15:15	HPLC で高極性化合物を分析するためのテクニック	ジーエルサイエンス(株)	日
N-3	15:30~16:20	☆実践編☆ ここまでできる LC/MS！ 高分解能質量データでできること	サイエクス	日
N-4	10:30~10:55	直接イオン化 MS 分析法を用いた食品・化成品分野におけるアプリケーション例	(株)島津製作所	日
N-4	11:10~12:00	材料硬度、ヤング率から粘弾性、界面強度評価まで、最新ハイブリット型ナノインデントによる機械特性評価の応用例を紹介	ブルカー・エイエクセス(株)	日
N-4	12:15~13:05	粒子評価技術の HORIBA！最新の粒度分布測定技術から、多彩なコア技術で提案できる複合粒子解析事例のご紹介	(株)堀場製作所	日
N-4	13:20~14:10	【ラマン・基礎】 マネしてください！実践的ラマン活用講座	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
N-4	14:25~15:15	ラボの生産性、作業性を大きく向上させる、次世代ガスクロマトグラフの最新技術を一挙公開！	(株)島津製作所	日
N-4	15:30~16:20	見比べて納得！AFM に軸足を置いた各種装置による相関分析 ～AFM(電気・機械物性)、SEM/EDX、熱分析～	(株)日立ハイテクノロジーズ	日
N-5	10:30~10:55	FTIR & ラマンの分析マスターは知っている！～正しい結果を導く測定・解析のテクニック～	日本分光(株)	日
N-5	11:10~11:35	初期検討から大容量精製向けバイオ LC、SMB システムのご紹介	旭テクネイオン(株)	日
N-5	11:50~12:15	「構造マップ手法」による NMR、MS を用いた複雑な化合物、混合成分、不純物の構造解析	富士通(株)	日
N-5	12:30~12:55	こんな材料も測定できる！硬度、密着性評価、摩耗試験、非接触三次元形状測定	(株)日本サーマル・コンサルティング	日
N-5	13:10~13:35	ガス環境ホルダとEDS検出器を用いた収差補正分析電子顕微鏡によるその場観察例	Protochips	日
N-5	13:50~14:15	ガラスチップを装着可能な電動ピペットと、新マルチチャンネルピペットの紹介。	(株)イー・アンド・デイ	日
N-5	14:30~15:20	革新的な技術で、さらに広がるアジレント GC/Q-TOF の可能性	アジレント・テクノロジー(株)	日

部屋	時間	テーマ	出展社名	言語
N-5	15:35～16:25	貴方に適した装置が必ず見つかる！豊富なラインナップで ICP-MS を提供する当社が教える 3 種 ICP-MS の原理と正しい使い分け	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
N-6	10:30～10:55	6in ウェハ・低温・深紫外～近赤外・超高速・高感度を実現するカソルミ・システム	(株)東京インスツルメンツ	英
N-6	11:10～11:35	最新携帯型「i-Raman Pro ST」透過ラマン分光システムのご紹介	(株)BWT ジャパン	英
N-6	11:50～12:15	【ついに登場！ラマン/レオメーター複合分析】今押さえておきたい最新分析テクニック	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
N-6	12:30～12:55	Biovector - 各種測定装置・電子装置・コンピュータの減菌ご提案	水戸工業(株)	日
N-6	13:10～13:35	高分解能マイクロ CT による多彩な材料構造解析アプローチ	日本電子(株)	日
N-6	13:50～14:15	今すぐ実践できる HPLC メンテナンス講座 ～ベースラインの安定性編～	ジャスコエンジニアリング(株)	日
N-6	14:30～15:20	<抗体医薬> インタクトから、5 分で分離できる糖鎖解析までの新技術！～USP との関連も添えて～	サイエックス	日
N-6	15:35～16:25	すべての材料に熱分析を！～進化した DSC の新展開～	(株)リガク	日

17. JASIS コンファレンス

JASIS コンファレンスは、関連団体によるさまざまな講演会、講習会によって構成されるプログラムとして JASIS の中で大きく成長してきた企画である。今年は展示会開催前日の 9 月 5 日（火）から 4 日間、JASIS 展示会場に隣接する国際会議場にて開催された。コンファレンスは、年を追うごとに規模が拡大されているが、今年は昨年より少し増加して 30 団体 51 セッションのセミナー、ワークショップ、講習会が開催された。コンファレンスの総聴講者数は、約 4,500 名となり、JASIS を支える重要な企画と言える。以下に、JAIMA 主催及び JSIA 主催のプログラム概要を示す。

(1) ライフサイエンスイノベーションフォーラム：特別企画「ライフサイエンスイノベーションゾーン」

との連携プログラムとして 4 つのフォーラムを開催した。フォーラム 1 では、分析者のデータを吟味する眼を養うために、データをプロファイリングする技を紹介いただき、専門外の方々にもわかりやすい内容であった。フォーラム 2 では、NPO 法人サイバー絆研究所の神沼先生が講演される「転換期における薬づくりのイノベーション」の分析技術に関して、各種分析機器から得られるデータの知識生成の話題が提供された。フォーラム 3 では、バイオバンクの重要性についてバイオバンクのプロバイダーと新しいカスタマーの存在という視点から、これからのバイオバンクに期待される運用方式について講演された。フォーラム 4 「これからの創薬分析が目指すもの～創薬の将来トレンドを見据えて」は、JAIMA 技術委員会の企画として開催した。本フォーラムは、変革著しい創薬分野での分析技術のあり方についての理解を深め合う場として、Axcelead Drug Discovery Partners (株) 安藤智弘様より製薬企業の新しい取組みとコンセプトについて、名の重要性について、名古屋大学の馬場嘉信先生よりアカデミアにおける最先端の分析技術開発について、さらに、東京大学の津本浩平先生より創薬研究における分析技術の重要性について、それぞれご講演いただいた。

(2) JAIMA シンポジウム、JAIMA セミナー：日本学術会議 分析化学分科会、(独)日本学術振興会 研究開発専門委員会、(一社)日本分析機器工業会の共同で、JAIMA シンポジウム「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォーム」を開催した。聴講者は 132 名であった。また、JAIMA 主催企画として定着してきた JAIMA セミナーは本年で 7 年目を迎えた。昨年と同様に 12 のセッションで実施し、「不確かさ編」と「LC 編」は午前・午後にわたるプログラムとなったが、昼休憩の 2 時間を展示会見学に利用する「展示会誘導策」も定着してきた感がある。JAIMA セミナーの中でも特に人気があったのは、「これであなたも専門家—不確かさ編」で、303 会議室の定員（200 名）を上回る聴講者となった。昨年同様、各セミナーともに「講演開始の 30 分前」から事前申込者の受付を開始し、「講演開始の 15 分前」から当日申込者の登録を開始する形で進めた。「バーコードシステム」を用いた受付システムも、特に問題なく運営することができた。また 3 つのセッションの一部の講演を、JASIS WebExpo 用にビデオ撮影を行った。今年度の JAIMA セミナーの聴講者数は 1,403 名という結果となり、昨年度比で 8 名増となった。

(3) International Conference Session (ICS)：本年で7回目となり、海外からの講演者を招いて4つのセッションを開催した。また、昨年に引き続き海外からの参加者を対象とした Global Exchange Zone も開催した。ICS 全体として、講師も含め、米国、ドイツ、英国、ロシア、中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム等の大学、研究所、企業の学生、研究者、技術者に参加いただき、有効な情報交換・相互交流の場となった。

アジアテクニカルフォーラム：「アジアの食の安全・安心、特別講演：インド製薬市場の現況と可能性」というタイトルで開催した。アジアにおけるフードサイエンスの最新状況及び、アジアから多くの食料を輸入する日本にとって関心の高いアジア各国の食の安全・安心に関して、シンガポール、タイ、ベトナム、台湾、韓国の専門家により講演いただいた。また特別講演として近年発展著しいインドの製薬市場の現況と可能性について、インド製薬市場関係者よりご紹介いただいた。

国際分析化学シンポジウム：国際分析技術交流をさらに推進するため、昨年までセッションを共催してきた Pittcon Committee に加え、新たにドイツ化学会に参加いただき、2部構成で行った。Pittcon Committee によるセッションは「バイオアプリケーションのための質量分析の新アプローチ」をテーマに開催された。3名の講師による講演は、質量分析を用いた先端的な分析手法を取り入れたバイオアプリケーションに関するもので、現在注目されている創薬・医療への展開につながる内容として興味深いものだった。さらにドイツ化学会によるセッションでは、食品分析の専門家である Prof. Monika Pischetsrieder より、プロテオーム解析による食品認証についてご講演いただき、近年各国で大きな問題となっている食品安全安心に関わる食品汚染や産地偽装を受けた食品認証のための解析手法について解説いただいた。

中国フォーラム：「中国分析市場動向、環境保護政策、乳製品の品質安全、PM2.5 の健康への影響」というタイトルで開催された。本フォーラムでは、水、大気、土壌などの環境の現状と第13次5カ年計画における環境保護政策及びモニタリング需要、中国乳製品の品質安全状況と品質向上のための国家的取り組み・施策、近年大きな問題となっているPM2.5の健康への影響に関する大規模な疫学的調査の結果という内容の3講演が行われた。いずれも活発な質疑応答が行われ、聴講者の関心の高さがうかがえた。

英国王立化学会 (RSC) 東京国際コンファレンス：「Analytical Science & Technology for Global Sustainability」というテーマで、講演会とフラッシュプレゼンテーション&ポスターセッションを開催した。**[特別講演、招待講演]** 米国、英国、韓国、タイ、ロシア、中国および国内から計9名の著名な研究者を招き、ご講演いただいた。内容は、ドラック・スクリーニングやバイオセンサーの開発につながるマイクロ流体恒常性や、食中毒を引き起こす細菌検出のためのポータブルセンサーやナノ材料を用いたプリンテッドエレクトロニクスによるセンサー技術の開発、生命の起源と進化を解く生体金属支援機能化学(メタロミクス)バイオマーカーの迅速で費用対効果の高い非侵襲的同定のためのラボオンディスク等、近年着目されている分野における最新の分析手法の革新に関するものであった。また、英国王立化学会(RSC)の Philippa Hughes 氏からは、若手の研究者に向けて高インパクトファクター雑誌に論文を載せるための実践的なポイントをわかりやすくご説明いただいた。**[フラッシュ&ポスタープレゼンテーション]** 60秒の

英語でのフラッシュプレゼンテーションとポスター発表から構成され、若手研究者の英語発表へのチャレンジの場としての活用を呼びかけているもので、大学院生や企業の研究者中心に120件の発表があった。本年は海外からのPoster Sessionへの参加を支援するための新企画Travel Grant（1人5万円の渡航補助金）制度を取り入れた。タイ、ロシア、アイルランド、中国、香港、台湾、韓国の若手研究者から応募があり、12名が採択された。最終日には厳正な審査の結果、13名がポスター優秀賞に、内3名がRSC特別賞に選ばれた。

Global Exchange Zone：2016年から2回目の企画で、国際コンファレンスに参加される海外からの来場者（国内在住の外国人含む）に、JASISの魅力を知っていただき、中長期的に海外からの来場者増加に寄与することを期待して行っている。今回は招待講演者やTravel Grant受賞者の他、Pittcon Committee関係者、アジアテクニカルフォーラム参加者に参加いただき、昼食会を開催した。会場では参加企業8社によるポスター展示説明を併せて行い、和やかな雰囲気の中で、参加者同士のコミュニケーションも行うことができた。時間の関係で展示会場へのツアーは実施しなかったが、参加者からは展示場での最新分析機器の見学や東京観光情報の提供を希望するというご意見もいただいた。2日間で参加者は9カ国、延べ50名であった。

(4) 日科協セミナー：新人社員の教育や営業マンのスキルアップの一環として、また、企業人として科学機器関連の技術について基本知識を身につけたいと望んでいる方々を対象として開催した。今回は、2016年好評だった『知っておきたい科学機器業界の基礎知識～環境分析～』のテーマで実施した。参加者は、東京・京都・東海・北陸・信越・中四国・九州の日科協各地区協会会員や一般の方々等、64名（41社/機関）が参加し、同セミナーに対する関心の高さが窺えた。またアンケート結果を集計したところ、9割以上の参加者がセミナー受講後会場を見学するとの結果であった。

JASISコンファレンスでは、上記JAIMA、JSIA主催の企画の他に、日本質量分析学会や日本顕微鏡学会、高分子学会など、多くの学会関係者から学術的な講演がなされた。



日時：2017年9月5日（火）～9月8日（金）10:00～17:00
（JASIS 2017 会期：2017年9月6日（水）～9月8日（金））
場所：幕張メッセ国際会議場
参加団体・テーマ数：30団体・51テーマ（28団体・50テーマ）※（ ）はJASIS 2016実績
参加者延べ人数：4,507名（4,381名）

JASIS コンファレンスプログラム

開催日	テーマ	主催団体名	会議室	時間	言語
9月5日 (火)	第33回分析電子顕微鏡討論会(1日目)	(一社)化学とマイクロ・ナノシステム学会	コンベンションホール A	10:00~16:45	日
	第100回記念講演会 -10年前、現在、そして10年後のプラズマ分光分析-	プラズマ分光分析研究会	201 会議室	10:00~16:45	日
9月6日 (水)	JAIMA セミナー2「これであなたも専門家-不確かさ編」	(一社)日本分析機器工業会	303 会議室	09:50~17:20	日
	JAIMA セミナー1「機器分析のステップアップ-自信の持てる基本実験操作-」	(一社)日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~12:00	日
	第33回分析電子顕微鏡討論会(2日目)	(公社)日本顕微鏡学会	国際会議室	10:00~16:50	日
	日本分光学会 第53回夏期セミナー「近赤外分光法の実際と正しい理解」	(公社)日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日
	JSCA 表面化学分析国際標準化セミナー2017 -表面分析・マイクロビームアナリシスにおける国際標準化の動向-	表面化学分析技術国際標準化委員会	104 会議室	10:00~16:55	日
	レーザーアブレーションワークショップ 2017 -見えきた! LA-ICPMS と LIBS の応用展開-	レーザーアブレーション分析研究会	103 会議室	10:00~17:40	日
	ライフサイエンスイノベーションフォーラム 1「恐怖のプロファイリング」	メタボリック・プロファイリング研究会	304 会議室	10:00~17:45	日
	ユーザーフレンドリーに進化している測定技術	エコケミストリー研究会	201A 会議室	10:45~16:00	日
	空気中の微粒子測定と可視化技術の最新情報	(一社)室内環境学会	102 会議室	13:00~17:00	日
	JAIMA シンポジウム 「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォーム」	日本学術会議 分析化学分科会、(独)日本学術振興会 研究開発専門委員会、(公社)日本分析化学会、(一社)日本分析機器工業会	コンベンションホール A	13:00~17:00	日
	ICS1 国際分析化学シンポジウム 2017「質量分析による生体関連物質分析ならびに食の機能性解明のためのプロテオーム解析」	(一社)日本分析機器工業会	コンベンションホール B	13:15~17:00	英/日
	ICS2 アジアテクニカルフォーラム 2017「アジアの食の安全・安心、特別講演:インド製薬市場の現状と可能性」	(一社)日本分析機器工業会	301B 会議室	13:20~17:10	英/日
	【実習付き】食品のオフフレーバーの事案と対応策	(一社)オフフレーバー研究会	105 会議室	13:10~17:30	日
	産総研エレクトロニクス・製造領域セミナー「つながるものづくりのためのセンシングとそのデータの活かし方-産総研の取組み事例-」	(国研)産業技術総合研究所 エレクトロニクス・製造領域	201B 会議室	13:30~16:30	日
JAIMA セミナー3「これであなたも専門家-バイオ編」	(一社)日本分析機器工業会	301A 会議室	14:00~17:00	日	
JAIMA セミナー4「これであなたも専門家-IC 編」	(一社)日本分析機器工業会	302 会議室	13:40~17:05	日	
JAIMA セミナー2「これであなたも専門家-不確かさ編」	(一社)日本分析機器工業会	303 会議室	09:50~17:20	日	
JAIMA セミナー1「機器分析のステップアップ-自信の持てる基本実験操作-」	(一社)日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~12:00	日	
9月7日 (木)	JAIMA セミナー6「これであなたも専門家-LC 編」	(一社)日本分析機器工業会	303 会議室	09:30~17:30	日
	ICS3 英国王立化学会(RSC)東京国際コンファレンス 2017「持続性ある社会の実績に寄与する分析技術」(1日目)	英国王立化学会(RSC)	コンベンションホール B	09:30~18:10	英
	RoHS/REACH 対応のマネジメントシステムの構築 “活かす自社のマネジメントシステム”	(一社)東京環境経営研究所	103 会議室	10:00~12:00	日
	JAIMA セミナー5「初めての機器分析-自信の持てるデータ処理-」	(一社)日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~12:00	日
	日本分光学会 第53回夏期セミナー「PLSを用いた重回帰分析のコツ」	(公社)日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日
	SPring-8/SACLA	(特定国研)理化学研究所 放射光科学総合研究センター	102 会議室	10:00~17:00	日
	ライフサイエンスイノベーションフォーラム 2「次世代ヘルスケアを先導する共創のプラットフォーム」	NPO 法人 サイバー絆研究所	304 会議室	9:50~16:40	日
	NMIJ 標準物質セミナー2017 ~化学分析の信頼性確保のための基礎知識~	(国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター	国際会議室	10:30~16:30	日
	JST 研究開発戦略センター調査報告セミナー - 計測技術俯瞰及び研究開発基盤調査 -	(国研)科学技術振興機構	106 会議室	11:00~11:45	日
	質量分析データをもっと活用する最新技術講座	(一社)日本質量分析学会 (JASIS 企画部会)	105 会議室	13:30~15:50	日
	機器分析のシステム化の現状を探る	(特非)分析産人ネット	103 会議室	13:00~16:30	日
	研究施設・設備の設備・共用、ネットワーク化に向けて	文部科学省	106 会議室	13:10~16:30	日
	平成29年度飲料水検査技術研修会	(一社)全国給水衛生検査協会	201 会議室	13:00~16:50	日
	食品安全の新展開:実用スクリーニング分析法	(公社)日本食品衛生学会	104 会議室	13:25~16:50	日
ICS4 中国フォーラム 2017「中国分析市場動向、環境保護政策、乳製品の品質安全、PM2.5 の健康への影響」	(一社)日本分析機器工業会	301B 会議室	14:00~16:35	中/日	
JAIMA セミナー7「これであなたも専門家-熱分析編」	(一社)日本分析機器工業会	301A 会議室	14:00~17:00	日	
JAIMA セミナー8「これであなたも専門家-GC 編」	(一社)日本分析機器工業会	302 会議室	14:00~17:00	日	
9月8日 (金)	初心者のための実用表面分析講座 「分析現場ですぐに役立つ表面分析のノウハウと知識」	(一社)表面分析研究会	103 会議室	09:00~17:00	日
	ICS5 英国王立化学会(RSC)東京国際コンファレンス 2017「持続性ある社会の実績に寄与する分析技術」(2日目)	英国王立化学会(RSC)	コンベンションホール B	09:30~16:55	英
	走査型プローブ顕微鏡を利用したナノスケール電気・力学物性計測	(公社)日本顕微鏡学会 走査型プローブ顕微鏡分科会	105 会議室	09:30~16:15	日
	JAIMA セミナー10「これであなたも専門家-X 線分析編」	(一社)日本分析機器工業会	303 会議室	10:00~12:10	日
	日科協セミナー「知っておきたい科学機器業界の基礎知識」~環境分析~	(一社)日本科学機器協会	102 会議室	10:00~12:30	日
	ライフサイエンスイノベーションフォーラム 4「これからの創薬分析が目指すもの~創薬の将来のトレンドを見据えて」	(一社)日本分析機器工業会	301A 会議室	10:00~12:15	日
	JAIMA セミナー9「これであなたも専門家-MS 編」	(一社)日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~13:00	日
	JASIS2017 日環協セミナー ~「JIS K 0170」、「ISO/IEC 17025」が改正になります!~	(一社)日本環境測定分析協会	201 会議室	09:55~16:00	日
	産総研・分析計測標準研究部門 第3回シンポジウム 「安全・安心な社会を実現するための計測標準技術」	(国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター 分析計測標準研究部門	国際会議室	10:00~15:30	日
	日本分光学会 第53回夏期セミナー「遠紫外分光法」	(公社)日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日
	ライフサイエンスイノベーションフォーラム 3「ポストゲノム時代の医療とバイオバンキング」	(特非)バイオチップコンソーシアム(JMAC)	304 会議室	12:30~17:00	日
	バイオメティクスと分析評価技術	(公社)高分子学会 バイオメティクス研究会	301B 会議室	13:00~17:20	日
	分析の質の向上のために ~Inside Laboratory Management	AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION	104 会議室	13:30~16:30	日
	JAIMA セミナー12「これであなたも専門家-セパレーションサイエンス編」	(一社)日本分析機器工業会	303 会議室	14:00~16:55	日
JAIMA セミナー11「これであなたも専門家-流れ分析編」	(一社)日本分析機器工業会	302 会議室	14:00~17:00	日	
Laboratory Grade Furniture and Equipment Trends	Scientific Equipment and Furniture Association(SEFA) USA	102 会議室	14:00~15:00	英/日	
The Material Choice for Safe and Durable Laboratory, Research and Educational Environments.	Trespa International	102 会議室	15:00~16:00	英/日	

18. サイエンスセミナー

「分析・科学機器」に精通していない方でも気軽にお楽しみ頂ける一般向け人気プログラム“サイエンスセミナー”では、「アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディー - KAGRAの挑戦と重力波天文学が解き明かす宇宙の謎」をテーマとして川村 静児氏にご講演いただいた。当日は約300名の方々が聴講され、大盛況であった。

◆サイエンスセミナー「アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディー - KAGRAの挑戦と重力波天文学が解き明かす宇宙の謎」

日 時：9月8日（金）13：00～14：30

会 場：国際会議場2F コンベンションホールA

聴 講 料：無料

聴講者数：285名

講 師：東京大学宇宙線研究所・重力波観測研究施設 教授

川村 静児 氏

講演概要：アインシュタインの残した最後の宿題“重力波”がついに見つかりました。アメリカのLIGOが、ブラックホールの合体から重力波を検出した。今後は、重力波の観測により、これまで見えなかった宇宙の姿、たとえば宇宙のはじまりなども見えてくる。本セミナーでは、重力波、重力波天文学、検出方法、初検出、現状と今後等について詳しい解説が行われた。また、宇宙からやってくる重力波のメロディーも紹介された。



19. 特別セミナー

特別企画として、2011年～2016年好評を博したセミナーの第7弾として「分析・科学機器と日本薬局方」をテーマに、専門機関の先生より最近の傾向、分析法などをご紹介いただき、約500名に聴講いただき大盛況であった。講演内容と聴講者数は以下のとおりである。

◆特別セミナー「分析・科学機器と日本薬局方」

日 時：9月7日（木）14：00～16：00

会 場：国際会議場2F コンベンションホールA

聴 講 料：無料

聴講者数：483名

講演1：「理化学試験法の最近の動向」

神戸薬科大学 特任教授（国立医薬品食品衛生研究所）客員研究員

四方田 千佳子氏

講演2：「バイオ医薬品の品質管理戦略構築と分析法」

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 部長

石井 明子氏

講演3：「分析・科学機器と化学薬品分析法」

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長

合田 幸広 氏



20. 来場者プロフィール

全来場者(24,856人)の来場登録票を基に、来場者プロフィールを分析した。当展示会来場者層の例年の特徴的な部分は、以下の4点であり、今年も広範囲のユーザー層に来場頂いたことが読み取れる。

1. 分析機器・科学機器ユーザー分類が半数を超えること。
2. 勤務地別集計で、関東甲信越の来場者が70%以上にのぼること。
3. 業種別では偏りが少なく、幅広い業種から来場いただいていること。

次の業種については、約5～10%と比較的多い割合を占める。

「電子・電機・精密機器」「分析技術サービス(分析・試験・検査)」「化学製品(インク・塗料・農薬・香料等)」「官公庁・公的機関」「製薬・医薬・化粧品」「食品」

4. 職種別では、「研究・開発」約27.9%、「営業」約20.9%、「分析・試験・検査・測定」約17.9%、「生産・製造・品質管理」約7.1%が主だったところであること。

1. 来場者登録者の登録種別別分類

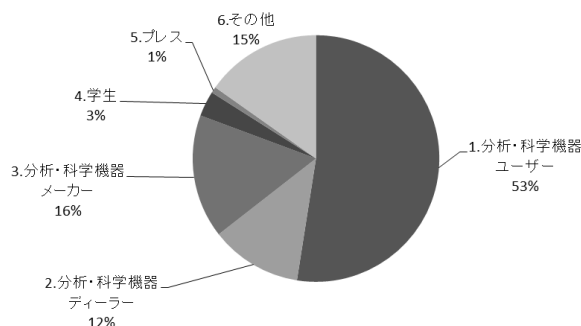
	JASIS2017						JASIS2016		JASIS2015	
	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
事前登録(8/25まで)	137	4,678	4,361	3,876	13,052	52.5%	13,053	53.5%	12,168	52.0%
事前登録(8/26以降)	54	2,627	2,880	3,175	8,736	35.1%	8,298	34.0%	8,220	35.1%
当日登録	3	914	1,050	1,101	3,068	12.3%	3,030	12.4%	3,020	12.9%
合計	194	8,219	8,291	8,152	24,856	100.0%	24,381	100.0%	23,408	100.0%

事前登録：事前にインターネットで登録してから来場。

当日登録：当日登録：(国内)会場受付でオペレーターが代行入力登録。(海外)来場者が入力またはスタッフが代行入力。

2. 登録来場者の入場証カード色分類

	JASIS2017						JASIS2016		JASIS2015	
	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.分析・科学機器ユーザー	108	3,864	4,417	4,653	13,042	52.5%	12,358	50.7%	12,235	52.3%
2.分析・科学機器ディーラー	5	1,081	1,011	883	2,980	12.0%	3,008	12.3%	2,974	12.7%
3.分析・科学機器メーカー	42	1,564	1,304	1,120	4,030	16.2%	4,330	17.8%	3,814	16.3%
4.学生	5	292	308	221	826	3.3%	773	3.2%	723	3.1%
5.プレス		112	45	40	197	0.8%	153	0.6%	179	0.8%
6.その他	34	1,306	1,206	1,235	3,781	15.2%	3,759	15.4%	3,483	14.9%
合計	194	8,219	8,291	8,152	24,856	100.0%	24,381	100.0%	23,408	100.0%



3. 勤務先所在地別分類

	JASIS2017						JASIS2016		JASIS2015	
	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.東京都	66	2,924	2,648	2,769	8,407	33.8%	8,639	35.4%	8,308	35.5%
2.神奈川県	20	1,019	1,112	1,156	3,307	13.3%	3,250	13.3%	3,041	13.0%
3.千葉県	21	762	732	911	2,426	9.8%	2,370	9.7%	2,363	10.1%
4.埼玉県	6	576	614	701	1,897	7.6%	1,842	7.6%	1,814	7.7%
5.茨城県	15	427	544	593	1,579	6.4%	1,555	6.4%	1,462	6.2%
6.栃木県	1	100	110	132	343	1.4%	323	1.3%	346	1.5%
7.群馬県	1	54	104	119	278	1.1%	303	1.2%	266	1.1%
8.山梨県		35	55	44	134	0.5%	134	0.5%	130	0.6%
9.長野県	2	67	68	67	204	0.8%	237	1.0%	213	0.9%
10.新潟県		34	46	47	127	0.5%	112	0.5%	110	0.5%
関東・甲信越 小計	132	5,998	6,033	6,539	18,702	75.2%	18,765	77.0%	18,053	77.1%
11.愛知県	4	186	223	188	601	2.4%	548	2.2%	501	2.1%
12.静岡県	5	177	216	247	645	2.6%	614	2.5%	606	2.6%
13.岐阜県		23	29	35	87	0.4%	71	0.3%	64	0.3%
14.三重県		38	54	52	144	0.6%	102	0.4%	119	0.5%
15.石川県	2	19	22	9	52	0.2%	69	0.3%	54	0.2%
16.富山県	1	38	50	38	127	0.5%	110	0.5%	99	0.4%
17.福井県		11	19	16	46	0.2%	45	0.2%	51	0.2%
東海・北陸 小計	12	492	613	585	1,702	6.8%	1,559	6.4%	1,494	6.4%
18.大阪府	8	355	316	230	909	3.7%	910	3.7%	811	3.5%
19.京都府	4	315	304	169	792	3.2%	841	3.4%	676	2.9%
20.滋賀県	3	51	61	54	169	0.7%	126	0.5%	150	0.6%
21.兵庫県	6	104	119	95	324	1.3%	283	1.2%	283	1.2%
22.奈良県		25	11	18	54	0.2%	38	0.2%	37	0.2%
23.和歌山県		8	12	6	26	0.1%	33	0.1%	30	0.1%
近畿 小計	21	858	823	572	2,274	9.1%	2,231	9.2%	1,987	8.5%
24.愛媛県	1	20	24	18	63	0.3%	45	0.2%	32	0.1%
25.香川県	1	12	19	4	36	0.1%	29	0.1%	55	0.2%
26.高知県		7	7	3	17	0.1%	14	0.1%	9	0.0%
27.徳島県		5	14	10	29	0.1%	26	0.1%	34	0.1%
四国小計	2	44	64	35	145	0.6%	114	0.5%	130	0.6%
28.岩手県		11	10	5	26	0.1%	44	0.2%	33	0.1%
29.宮城県	1	41	50	39	131	0.5%	151	0.6%	139	0.6%
30.山形県		31	42	24	97	0.4%	66	0.3%	67	0.3%
31.秋田県		21	14	6	41	0.2%	39	0.2%	22	0.1%
32.青森県		10	9	6	25	0.1%	29	0.1%	36	0.2%
33.福島県		50	70	106	226	0.9%	208	0.9%	186	0.8%
34.北海道		48	35	23	106	0.4%	106	0.4%	83	0.4%
東北・北海道 小計	1	212	230	209	652	2.6%	643	2.6%	566	2.4%
35.岡山県		33	37	32	102	0.4%	96	0.4%	87	0.4%
36.広島県	2	39	53	33	127	0.5%	99	0.4%	87	0.4%
37.山口県		17	32	23	72	0.3%	68	0.3%	69	0.3%
38.鳥取県		4	8	2	14	0.1%	8	0.0%	10	0.0%
39.島根県		7	4	6	17	0.1%	11	0.0%	5	0.0%
近畿 小計	2	100	134	96	332	1.3%	282	1.2%	258	1.1%
40.福岡県	2	59	64	29	154	0.6%	137	0.6%	140	0.6%
41.佐賀県		18	3	5	26	0.1%	25	0.1%	22	0.1%
42.長崎県		4	10	1	15	0.1%	17	0.1%	14	0.1%
43.熊本県		14	37	7	58	0.2%	52	0.2%	56	0.2%
44.大分県		12	13	5	30	0.1%	29	0.1%	21	0.1%
45.宮崎県		11	9	6	26	0.1%	20	0.1%	18	0.1%
46.鹿児島県		10	4	3	17	0.1%	14	0.1%	16	0.1%
47.沖縄県		14	4	3	21	0.1%	18	0.1%	18	0.1%
九州・沖縄 小計	2	142	144	59	347	1.4%	312	1.3%	305	1.3%
国内合計	172	7,846	8,041	8,095	24,154	97.2%	23,906	98.1%	22,793	97.4%
海外	22	373	250	57	702	2.8%	475	1.9%	615	2.6%
合計	194	8,219	8,291	8,152	24,856	100.0%	24,381	100.0%	23,408	100.0%

4. 勤務先所在地別分類過去3年TOP10

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数
1位	東京都	8,407	東京都	8,639	東京都	8,308
2位	神奈川県	3,307	神奈川県	3,250	神奈川県	3,041
3位	千葉県	2,426	千葉県	2,370	千葉県	2,363
4位	埼玉県	1,897	埼玉県	1,842	埼玉県	1,814
5位	茨城県	1,579	茨城県	1,555	茨城県	1,462
6位	大阪府	909	大阪府	910	大阪府	811
7位	京都府	792	京都府	841	京都府	676
8位	海外	702	静岡県	614	海外	615
9位	静岡県	645	愛知県	548	静岡県	606
10位	愛知県	601	海外	475	愛知県	501

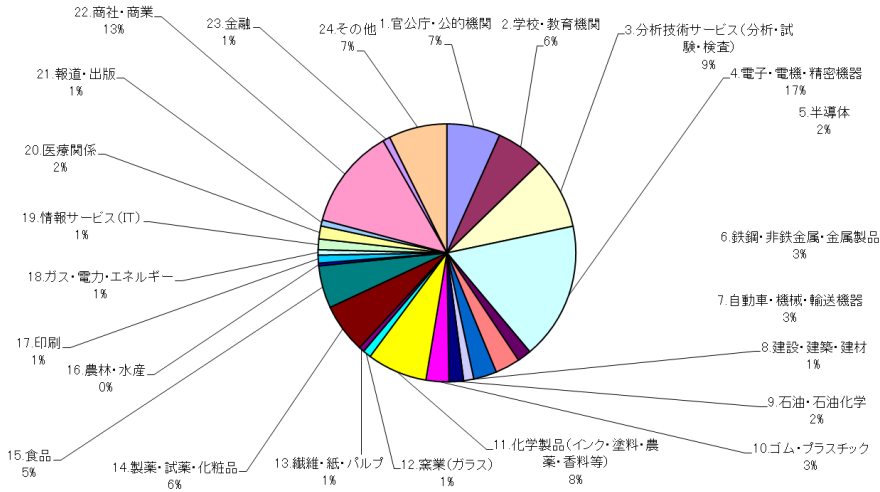
5. 海外来場者 国別内訳 TOP10

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
	国名	合計人数	国名	合計人数	国名	合計人数
1位	韓国	223	韓国	186	韓国	265
2位	中国	157	中国	116	中国	114
3位	台湾	142	台湾	44	台湾	72
4位	アメリカ	48	アメリカ	25	アメリカ	37
5位	タイ	18	ベトナム	10	タイ	21
6位	インド	13	インドネシア	9	シンガポール	15
7位	香港	11	シンガポール	9	ベトナム	15
7位	英国	11	ミャンマー	8	ドイツ	9
9位	シンガポール	10	タイ	8	香港	8
10位	ロシア	7	イタリア	5	マレーシア	8
10位	ベトナム	7	マレーシア	5	インドネシア	7
			英国	5		
	その他	55	その他	45	その他	44
	合計	702	合計	475	合計	615

6. 業種別分類(有効回答数 : 24,856 人)

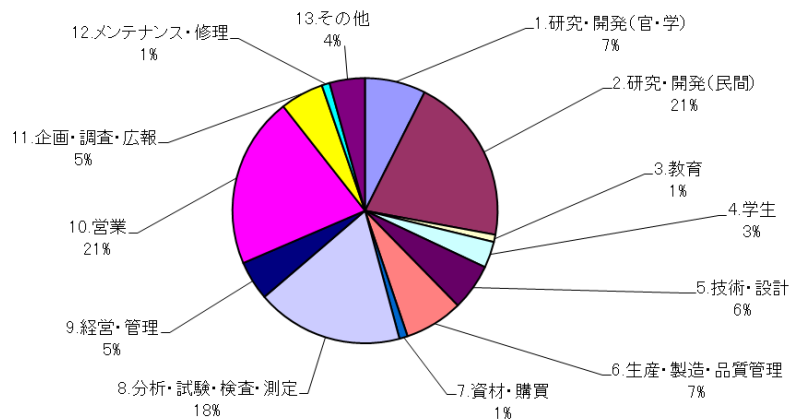
	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.官公庁・公的機関	1,668	6.7%	1,624	6.7%	1,654	7.1%
2.学校・教育機関	1,498	6.0%	1,452	6.0%	1,366	5.8%
3.分析技術サービス(分析・試験・検査)	2,223	8.9%	2,143	8.8%	2,052	8.8%
4.電子・電機・精密機器	4,277	17.2%	4,382	18.0%	3,939	16.8%
5.半導体	435	1.8%	374	1.5%	370	1.6%
6.鉄鋼・非鉄金属・金属製品	774	3.1%	784	3.2%	785	3.4%
7.自動車・機械・輸送機器	722	2.9%	751	3.1%	645	2.8%
8.建設・建築・建材	316	1.3%	343	1.4%	302	1.3%
9.石油・石油化学	454	1.8%	499	2.0%	479	2.0%
10.ゴム・プラスチック	712	2.9%	713	2.9%	646	2.8%
11.化学製品(インク・塗料・農薬・香料等)	1,876	7.5%	1,757	7.2%	1,713	7.3%
12.窯業(ガラス)	256	1.0%	213	0.9%	234	1.0%
13.繊維・紙・パルプ	167	0.7%	165	0.7%	144	0.6%
14.製薬・試薬・化粧品	1,540	6.2%	1,477	6.1%	1,498	6.4%
15.食品	1,322	5.3%	1,203	4.9%	1,157	4.9%
16.農林・水産	88	0.4%	76	0.3%	82	0.4%
17.印刷	245	1.0%	215	0.9%	218	0.9%
18.ガス・電力・エネルギー	165	0.7%	138	0.6%	147	0.6%
19.情報サービス(IT)	334	1.3%	315	1.3%	318	1.4%
20.医療関係	403	1.6%	428	1.8%	417	1.8%
21.報道・出版	190	0.8%	146	0.6%	139	0.6%
22.商社・商業	3,142	12.6%	3,150	12.9%	3,170	13.5%
23.金融	227	0.9%	231	0.9%	193	0.8%
24.その他	1,822	7.3%	1,802	7.4%	1,740	7.4%
合計	24,856	100.0%	24,381	100.0%	23,408	100.0%

業種別分類



7. 職種別分類(有効回答数 : 24, 856 人)

	JASIS2017						JASIS2016		JASIS2015	
	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.研究・開発(官・学)	33	648	626	537	1,844	7.4%	1,806	7.4%	1,848	7.9%
2.研究・開発(民間)	43	1,524	1,751	1,775	5,093	20.5%	4,834	19.8%	4,717	20.2%
3.教育	4	76	58	84	222	0.9%	166	0.7%	213	0.9%
4.学生	4	296	302	192	794	3.2%	776	3.2%	706	3.0%
5.技術・設計	10	437	428	536	1,411	5.7%	1,411	5.8%	1,245	5.3%
6.生産・製造・品質管理	1	589	516	666	1,772	7.1%	1,636	6.7%	1,614	6.9%
7.資材・購買		81	66	105	252	1.0%	252	1.0%	257	1.1%
8.分析・試験・検査・測定	48	1,269	1,564	1,572	4,453	17.9%	4,267	17.5%	4,100	17.5%
9.経営・管理	2	483	401	310	1,196	4.8%	1,254	5.1%	1,243	5.3%
10.営業	11	1,810	1,784	1,584	5,189	20.9%	5,504	22.6%	5,090	21.7%
11.企画・調査・広報	1	504	423	389	1,317	5.3%	1,305	5.4%	1,256	5.4%
12.メンテナンス・修理	2	50	88	100	240	1.0%	226	0.9%	211	0.9%
13.その他	35	452	284	302	1,073	4.3%	944	3.9%	908	3.9%
合計	194	8,219	8,291	8,152	24,856	100.0%	24,381	100.0%	23,408	100.0%

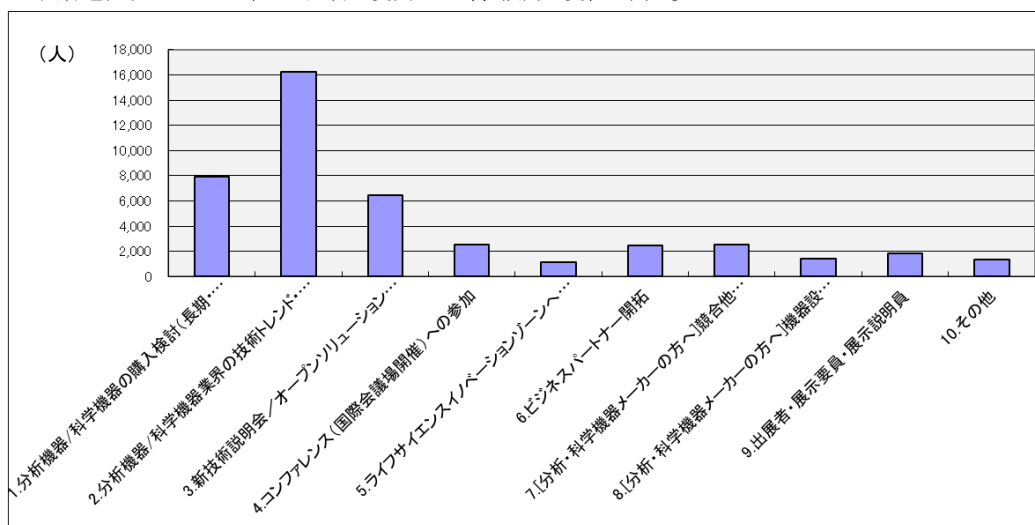


8. 来場目的別分類(複数回答)

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.分析機器/科学機器の購入検討(長期・短期)	7,933	31.9%	7,445	30.5%	7,318	31.3%
2.分析機器/科学機器業界の技術トレンド・市場動向調査	16,230	65.3%	15,427	63.3%	15,539	66.4%
3.新技術説明会/オープンソリューションフォーラムの聴講	6,450	25.9%	6,022	24.7%	5,529	23.6%
4.コンファレンス(国際会議場開催)への参加	2,528	10.2%	2,442	10.0%	2,530	10.8%
5.ライフサイエンスイノベーションゾーンへの参加	1,113	4.5%	1,097	4.5%	979	4.2%
6.ビジネスパートナー開拓	2,492	10.0%	2,498	10.2%	2,314	9.9%
7.[分析・科学機器メーカーの方へ]競合他社の情報収集	2,535	10.2%	2,707	11.1%	2,546	10.9%
8.[分析・科学機器メーカーの方へ]機器設計のための情報収集	1,435	5.8%	1,484	6.1%	1,465	6.3%
9.出展者・展示要員・展示説明員	1,835	7.4%	2,105	8.6%	1,519	6.5%
10.その他	1,353	5.4%	1,194	4.9%	1,235	5.3%

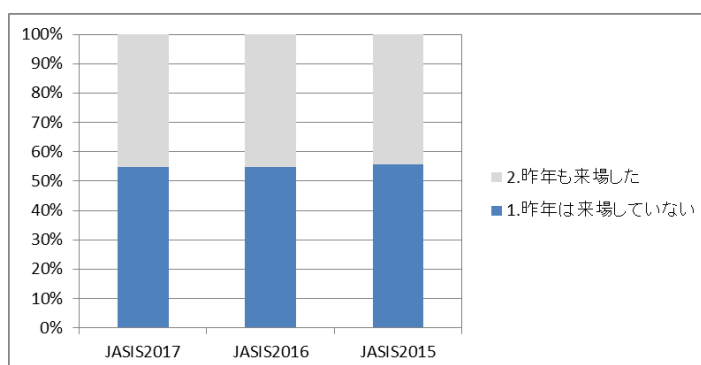
※1: 比率は有効回答数(2017年は24,856人、2016年は24,381人、2015年は23,408人)を100としてそれぞれの回答の比率を算出した。

※2: 回答選択肢1は2015年から文言を変更した為、傾向に変化が出た。



9. リピーター分類

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.昨年は来場していない	13,645	54.9%	13,392	54.9%	13,020	55.6%
2.昨年も来場した	11,211	45.1%	10,989	45.1%	10,388	44.4%
合計	24,856	100.0%	24,381	100.0%	23,408	100.0%

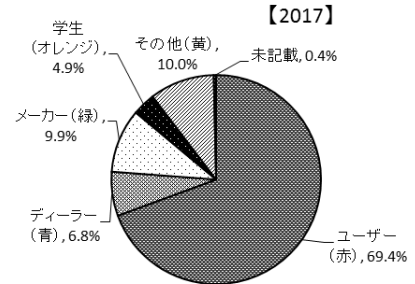


21. 来場者アンケート

JASIS 2017 来場者のニーズや傾向を把握するためにアンケートを実施した。6ホールと7ホールのイベントスクエア内にアンケートコーナーを設置し、来場者から3日間で5,174名のアンケートを得た。以下抜粋。

1. アンケート回答者の入場カード色区分

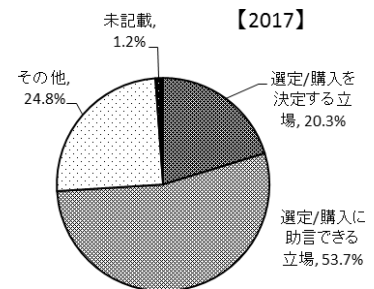
	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
ユーザー(赤)	3,590	69.4%	3,540	68.3%	3,480	70.3%
ディーラー(青)	353	6.8%	380	7.3%	324	6.5%
メーカー(緑)	511	9.9%	513	9.9%	476	9.6%
学生(オレンジ)	183	3.5%	252	4.9%	182	3.7%
その他(黄)	518	10.0%	481	9.3%	485	9.8%
未記載	19	0.4%	14	0.3%	0	0.0%
合計	5,174	100.0%	5,180	100.0%	4,947	100.0%



全来場者へのアンケートである「来場者プロフィール」の結果と比べるとユーザーの比率が高い。(52.5% → 69.4%)

2. 機器の購入についてのあなたのお立場は

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
選定/購入を決定する立場	1,048	20.3%	1,050	20.3%	1,044	21.1%
選定/購入に助言できる立場	2,781	53.7%	2,753	53.1%	2,671	54.0%
その他	1,285	24.8%	1,324	25.6%	1,232	24.9%
未記載	60	1.2%	53	1.0%	0	0.0%
合計	5,174	100.0%	5,180	100.0%	4,947	100.0%

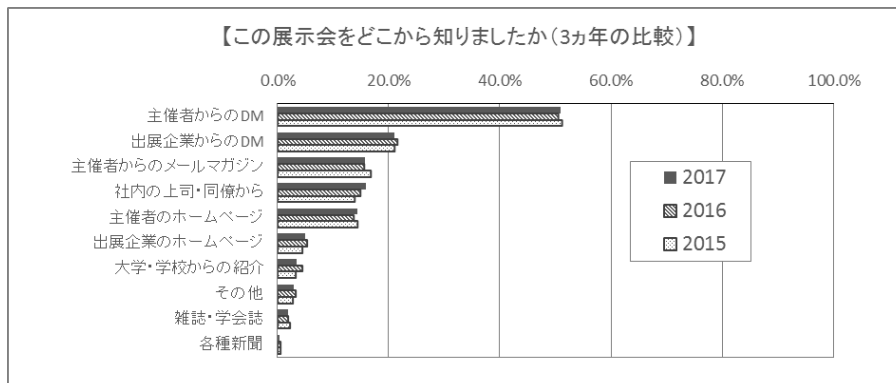


3. この展示会の告知度

この展示会をどこから知りましたか(複数回答)

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
主催者からのDM	2636	50.9%	2,615	50.5%	2,531	51.2%
主催者からのメールマガジン	818	15.8%	808	15.6%	825	16.7%
主催者のホームページ	740	14.3%	704	13.6%	713	14.4%
出展企業からのDM	1089	21.0%	1,118	21.6%	1,038	21.0%
出展企業のホームページ	257	5.0%	270	5.2%	222	4.5%
雑誌・学会誌	95	1.8%	98	1.9%	114	2.3%
各種新聞	16	0.3%	25	0.5%	24	0.5%
大学・学校からの紹介	181	3.5%	226	4.4%	161	3.3%
社内の上司・同僚から	825	15.9%	768	14.8%	687	13.9%
その他	151	2.9%	167	3.2%	136	2.7%

- ・ JASIS 2017 は回答数：5,174 を100%として比率を計算
- ・ JASIS 2016 は回答数：5,180 を100%として比率を計算
- ・ JASIS 2015 は回答数：4,947 を100%として比率を計算

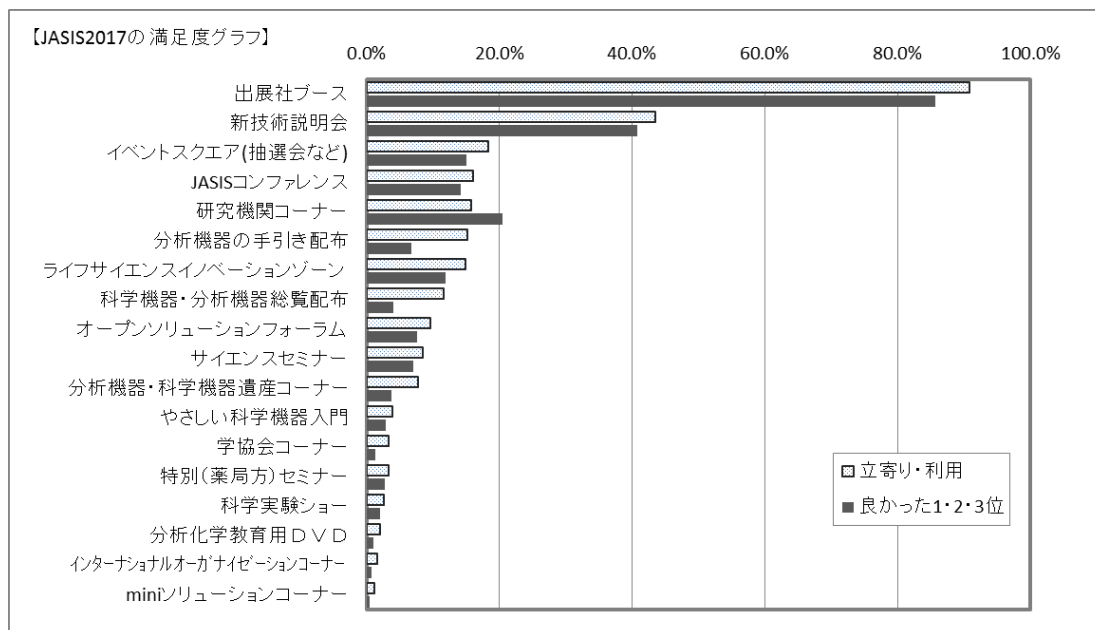


4. 各イベントの満足度

- ① JASIS 2017 のイベントで立ち寄られた所（立ち寄られる予定の所）、又は利用された所（利用される予定の所）をチェックしてください。（複数回答）
- ② チェックされたイベントの内、特に良かったイベントを最大3つまでを回答ください。

	JASIS2017				JASIS2016				JASIS2015			
	立寄り・利用		良かった1・2・3位		立寄り・利用		良かった1・2・3位		立寄り・利用		良かった1・2・3位	
出展社ブース	4,700	90.8%	4,436	85.7%	4709	90.9%	3,877	74.8%	4,576	92.5%	4,116	83.2%
新技術説明会	2,252	43.5%	2,113	40.8%	2249	43.4%	1,900	36.7%	2,708	54.7%	2,372	47.9%
ライフサイエンスイノベーションゾーン	772	14.9%	620	12.0%	823	15.9%	604	11.7%	897	18.1%	717	14.5%
オープンソリューションフォーラム	497	9.6%	394	7.6%	371	7.2%	266	5.1%				
JASISコンファレンス	828	16.0%	737	14.2%	880	17.0%	690	13.3%	997	20.2%	835	16.9%
サイエンスセミナー	437	8.4%	366	7.1%	414	8.0%	331	6.4%	504	10.2%	392	7.9%
特別(薬局方)セミナー	168	3.2%	142	2.7%	238	4.6%	173	3.3%	263	5.3%	194	3.9%
やさしい科学機器入門	197	3.8%	152	2.9%	177	3.4%	134	2.6%	336	6.8%	249	5.0%
科学実験ショー	131	2.5%	108	2.1%	135	2.6%	120	2.3%	233	4.7%	175	3.5%
国際ショナルオーガナイゼーションコーナー	84	1.6%	41	0.8%	132	2.5%	61	1.2%	41	0.8%	29	0.6%
研究機関コーナー	815	15.8%	1,062	20.5%	1236	23.9%	1,058	20.4%	1,207	24.4%	835	16.9%
学協会コーナー	171	3.3%	69	1.3%	202	3.9%	109	2.1%	516	10.4%	355	7.2%
miniソリューションコーナー	58	1.1%	24	0.5%	57	1.1%	28	0.5%	195	3.9%	110	2.2%
分析機器・科学機器遺産コーナー	401	7.8%	192	3.7%	532	10.3%	320	6.2%	454	9.2%	288	5.8%
分析機器の手引き配布	785	15.2%	351	6.8%	769	14.8%	338	6.5%	678	13.7%	326	6.6%
科学機器・分析機器総覧配布	597	11.5%	213	4.1%	652	12.6%	226	4.4%				
イベントスクエア(抽選会など)	947	18.3%	776	15.0%	1220	23.6%	843	16.3%	851	17.2%	473	9.6%
分析化学教育用DVD	103	2.0%	57	1.1%	110	2.1%	57	1.1%	95	1.9%	49	1.0%

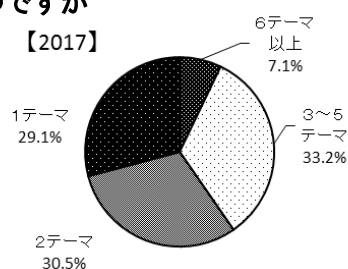
JASIS 2017 は回答数:5,174 を 100%として比率を計算
 JASIS 2016 は回答数:5,180 を 100%として比率を計算
 JASIS 2015 は回答数:4,947 を 100%として比率を計算



5. 「新技術説明会」(APA ホテル、ホテルニューオータニ幕張で開催)の参加について

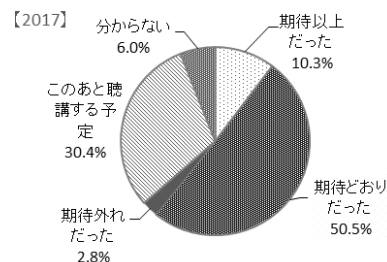
① 聴講したテーマ数、又は聴講を予定しているテーマ数はいくつですか

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
6テーマ以上	190	7.1%	193	7.2%	220	8.2%
3~5テーマ	884	33.2%	920	34.3%	1,026	38.4%
2テーマ	812	30.5%	769	28.7%	714	26.7%
1テーマ	775	29.1%	797	29.7%	710	26.6%
小計(聴講者数)	2,661	100.0%	2,679	100.0%	2,670	100.0%



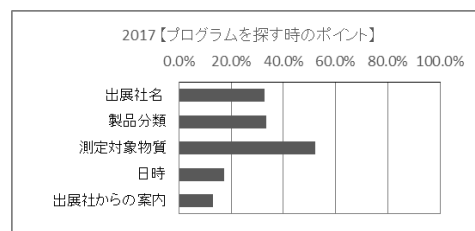
② 聴講した方にお聞きします。いかがでしたか

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
期待以上だった	284	10.3%	307	11.5%	251	9.4%
期待どおりだった	1,387	50.5%	1,347	50.3%	1,318	49.4%
期待外れだった	76	2.8%	79	2.9%	73	2.7%
このあと聴講する予定	834	30.4%	774	28.9%	676	25.3%
分からない	165	6.0%	171	6.4%	77	2.9%



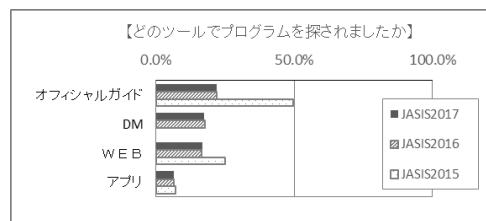
③ どのような切り口から聞きたいプログラムを探しますか。(複数回答)

	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
出展社名	906	34.0%	876	32.7%	676	25.3%
製品分類	915	34.4%	901	33.6%	342	12.8%
測定対象物質	1,407	52.9%	1,399	52.2%	1,789	67.0%
日時	554	20.8%	465	17.3%	342	12.8%
出展社からの案内	329	12.4%	350	13.1%		
技術の新規性					738	27.6%
業務効率UP					473	17.7%



④ どのツールでプログラムを探されましたか。(複数回答)

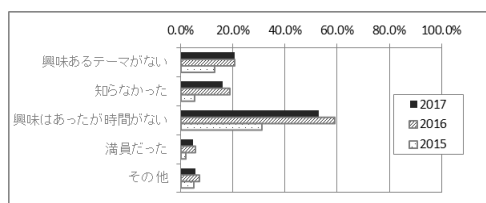
	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
オフィシャルガイド	1,143	22.1%	1,133	21.9%	2,445	49.4%
DM	908	17.5%	905	17.5%		
WEB	879	17.0%	849	16.4%	1,239	25.0%
アプリ	336	6.5%	324	6.3%	340	6.9%



JASIS 2017 は回答数:5,174 を 100%として比率を計算
 JASIS 2016 は回答数:5,180 を 100%として比率を計算
 JASIS 2015 は回答数:4,947 を 100%として比率を計算

⑤ 聴講を予定しない(しなかった)方にお聞きします。理由は何ですか。

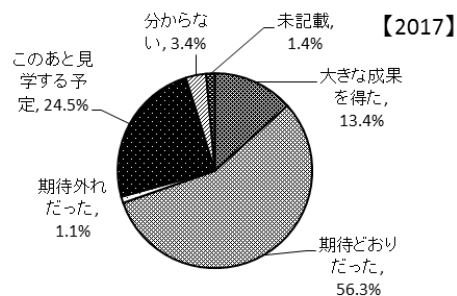
	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
興味あるテーマがなかった	556	20.6%	518	20.7%	291	12.8%
知らなかった	434	16.1%	466	18.6%	119	5.2%
興味はあったが時間がなかった	1,429	53.0%	1,475	59.0%	705	31.0%
満員だった	126	4.7%	138	5.5%	44	1.9%
その他	149	5.5%	174	7.0%	110	4.8%



比率は聴講予定しなかった人を 100%として計算
 2017 は 2,694 人、2016 は 2,499 人、2015 は 2,277 人を
 100 としています。

6. JASIS 2017 の感想について

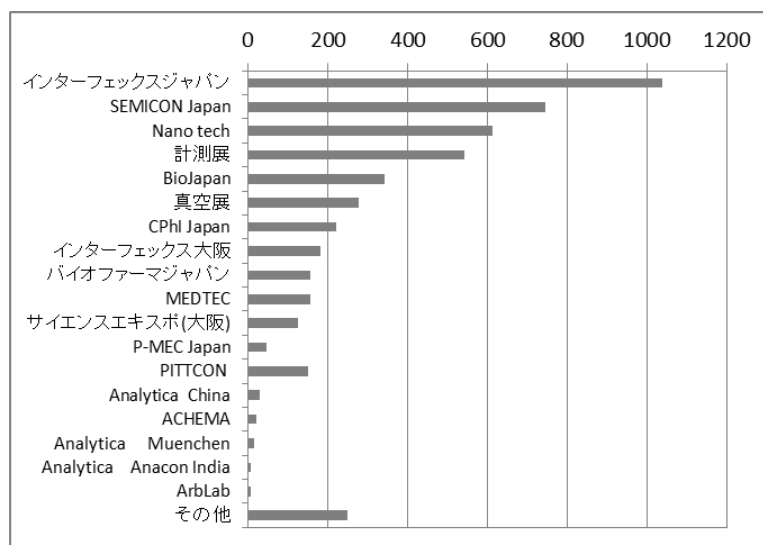
	JASIS2017		JASIS2016		JASIS2015	
大きな成果を得た	692	13.4%	678	13.1%	634	12.8%
期待どおりだった	2,911	56.3%	2,938	56.7%	2,749	55.6%
期待外れだった	55	1.1%	46	0.9%	35	0.7%
このあと見学する予定	1,266	24.5%	1,169	22.6%	1,387	28.0%
分からない	175	3.4%	172	3.3%	124	2.5%
未記載	75	1.4%	177	3.4%	18	0.4%
合計	5,174	100.0%	5,180	100.0%	4,947	100.0%



7. JASIS 以外にどんな展示会に行かれたことがありますか。(約2年間で、複数回答)

	JASIS2017		
インターフェックスジャパン	1039	20.1%	【国内展示会】
SEMICON Japan	744	14.4%	
Nano tech	614	11.9%	
計測展	541	10.5%	
BioJapan	341	6.6%	
真空展	277	5.4%	
CPhI Japan	220	4.3%	
インターフェックス大阪	180	3.5%	
バイオファーマジャパン	156	3.0%	
MEDTEC	156	3.0%	
サイエンスエキスポ(大阪)	125	2.4%	
P-MEC Japan	45	0.9%	
PITTCON	149	2.9%	【海外展示会】
Analytica China	30	0.6%	
ACHEMA	19	0.4%	
Analytica Muenchen	15	0.3%	
Analytica Anacon India	7	0.1%	
ArbLab	5	0.1%	
その他	250	4.8%	

【その他】 FOOMA、ifia、JIMTOF、環境展、食品開発展 など

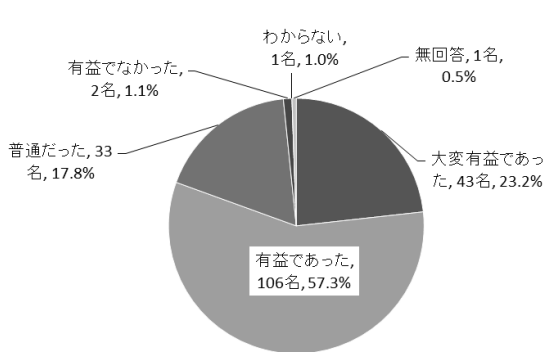


JASIS 2017 は回答数:5,174 を100%として比率を計算

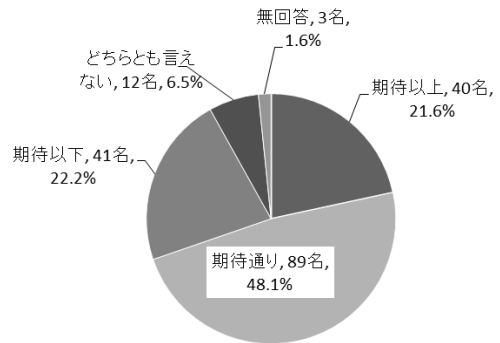
22. 出展社アンケート

会期後に、全出展社の日本の担当者 455 社に対してアンケートを行い、187 社から回答を得た。出展が「大変有益であった」もしくは「有益であった」という回答が 80.2%（2016 年 79.2%）となり、また、次年度の出展予定に対しては 84.0%（2016 年 86.2%）が「出展する」もしくは「出展を検討する」と回答をいただいた。以下はアンケートの抜粋。（回収率 40.7%）

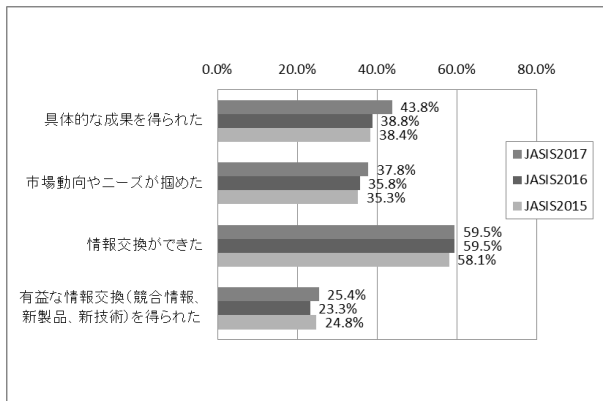
JASIS 2017 は有益でしたか



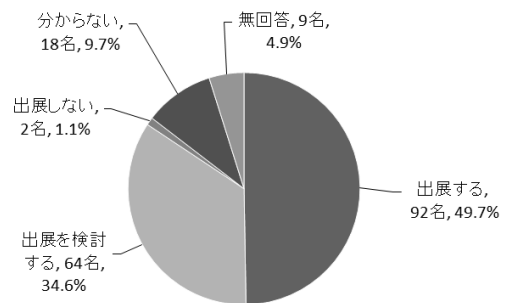
貴社ブース来場者について



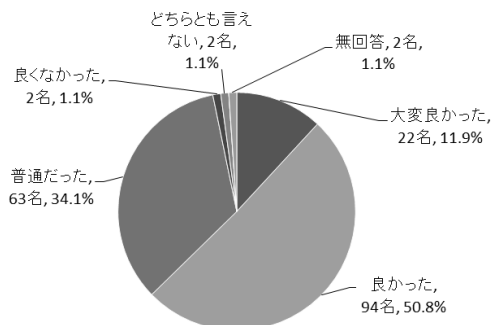
出展の成果



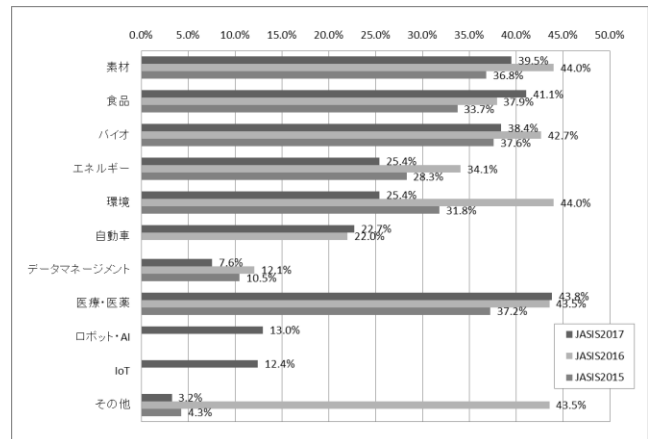
2018 年は出展しますか



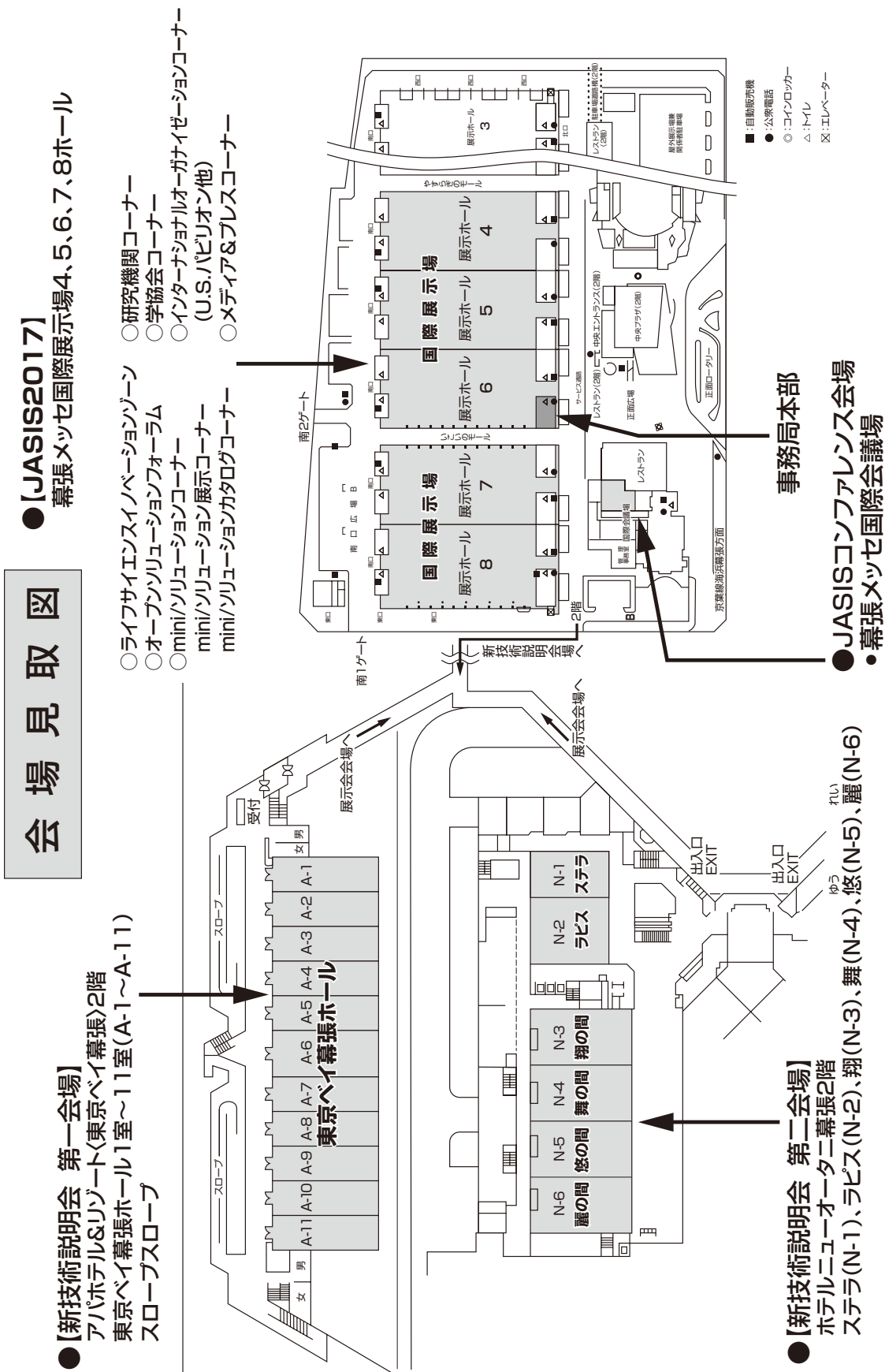
展示会場全体の雰囲気について



特別企画を他にも行う場合、取り上げて欲しいテーマは何ですか



2.3. 会場案内図



[HALL 8] インターナショナルオーガナイゼーションコーナー

I-1	ECMI ITE Asia Sdn Bhd
I-2	中国分析測試協会(China Association for Instrumental Analysis)
I-3	Thailand Institute of Scientific and Technological Research(TISTR)
I-4	China International Scientific Instrument and Laboratory Equipment Exhibition (CISILE 2018)
I-5	LAB INDONESIA

U.S.パビリオン

IU-1	米国大使館 商務部
IU-2	アイオワ州経済開発機構
IU-3	オレゴン州政府 駐日代表部
IU-4	ノースカロライナ州政府 日本事務所
IU-5	ペンシルベニア州政府 日本投資事務所
IU-6	PITTCOON
IU-7	タイタンテクノロジー(株)

カナダパビリオン

IC-1	カナダ大使館
IC-2	オンタリオ州政府 在日事務所
IC-3	カナダ・アルバータ州政府

チェコパビリオン

ICZ-1	チェコ科学・分析機器ブース
ICZ-2	(有)ワイテック
ICZ-3	SVCS s.r.o.

KSIIパビリオン

IK-1	韓国科学機器工業協同組合(KSII)
IK-2	Jeio Tech Co.,Ltd.

(独)中小企業基盤整備機構

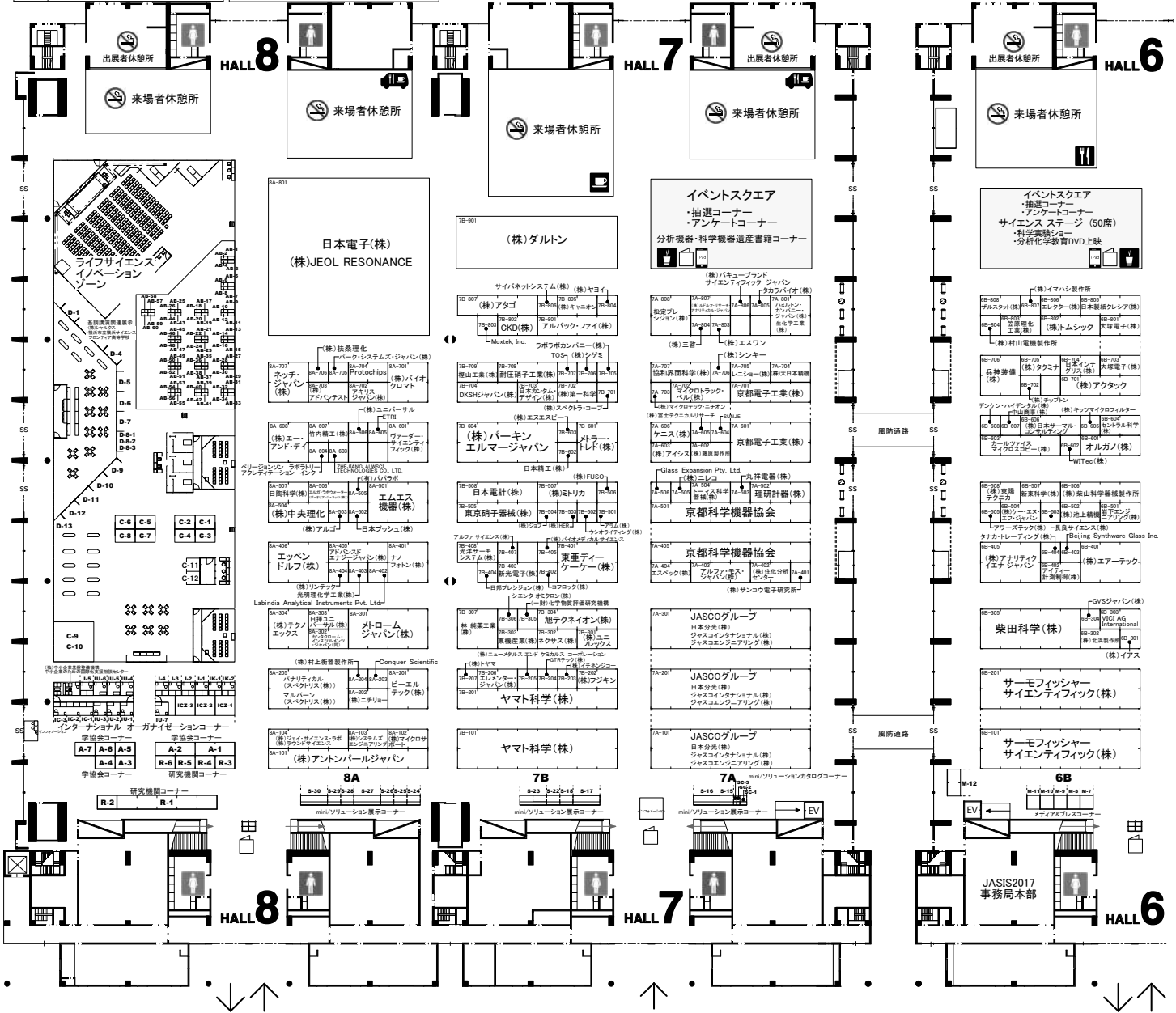
中小企業のための国際化支援相談センター

[HALL 8] ライフサイエンスイノベーションゾーン

C-1	(株)プラスト
C-2	NOK(株)
C-3	(株)日立ハイテクノロジーズ
C-4	(株)エル・エム・エス
C-5	(株)エル・エム・エス
C-6	メディカテック(株)
C-7	(特非)バイオチップコンソーシアム
C-8	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門
C-9	プリヂストンスポーツ(株)
C-10	
C-11	(一社)日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会(JACL&S)
C-12	

AB-1	アルバック成膜(株)
AB-2	OSTジャパン(株)
AB-3	(一財)化学物質評価研究機構
AB-4	Ifra/HFE JAPAN2018 食品化学新聞社
AB-5	東亜ディーケーケー(株)
AB-6	日本老化制御研究所
AB-7	(公財)かずさDNA研究所
AB-8	(株)アブリオリ
AB-9	(株)堀場製作所
AB-10	三菱電機(株)
AB-11	エクリス ビジネスメディア
AB-12	(株)ワイエムシー
AB-13	(株)アルバック
AB-14	(株)ワールドフュージョン
AB-15	(株)アルティマ・ラボラトリーズ
AB-16	高砂電気工業(株)

AB-17	(株)朝日ラバー
AB-18	東京理科大学 総合研究院 研究推進機構 総合センター 赤外自由電子レーザー研究センター
AB-19	(株)プロテイン・エクスプレス
AB-20	(株)フォーティクス
AB-21	アイテス
AB-22	(一社)再生医療イノベーションフォーラム
AB-23	日立化成テクノサービス(株)
AB-24	(株)協同インターナショナル
AB-25	Biocosm(株)
AB-26	(株)セゾテック
AB-27	(株)リプロセル
AB-28	
AB-29	(株)グミ
AB-30	



[HALL 8] 学協会コーナー

A-1	(一社)東京環境経営研究所
A-2	(特非)分析産業人ネット
A-3	(公財)日本適合性認定協会
A-4	(一財)放射線利用振興協会
A-5	(公社)日本分析化学会
A-6	(公社)日本分光学会
A-7	(一社)日本環境測定分析協会

[HALL 8] 研究機関コーナー

R-1	(一財)化学物質評価研究機構 化学標準部
	(国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター(NMIJ)
	(独)製品評価技術基盤機構 認定センター
R-2	福島工業高等専門学校 電気電子システム工学科 若松研究室
R-3	神奈川大学 理学部 化学科 西本研究室
R-4	(国研)物質・材料研究機構
R-5	神戸大学 木村研究室
R-6	富山大学 研究推進機構 研究推進総合支援センター

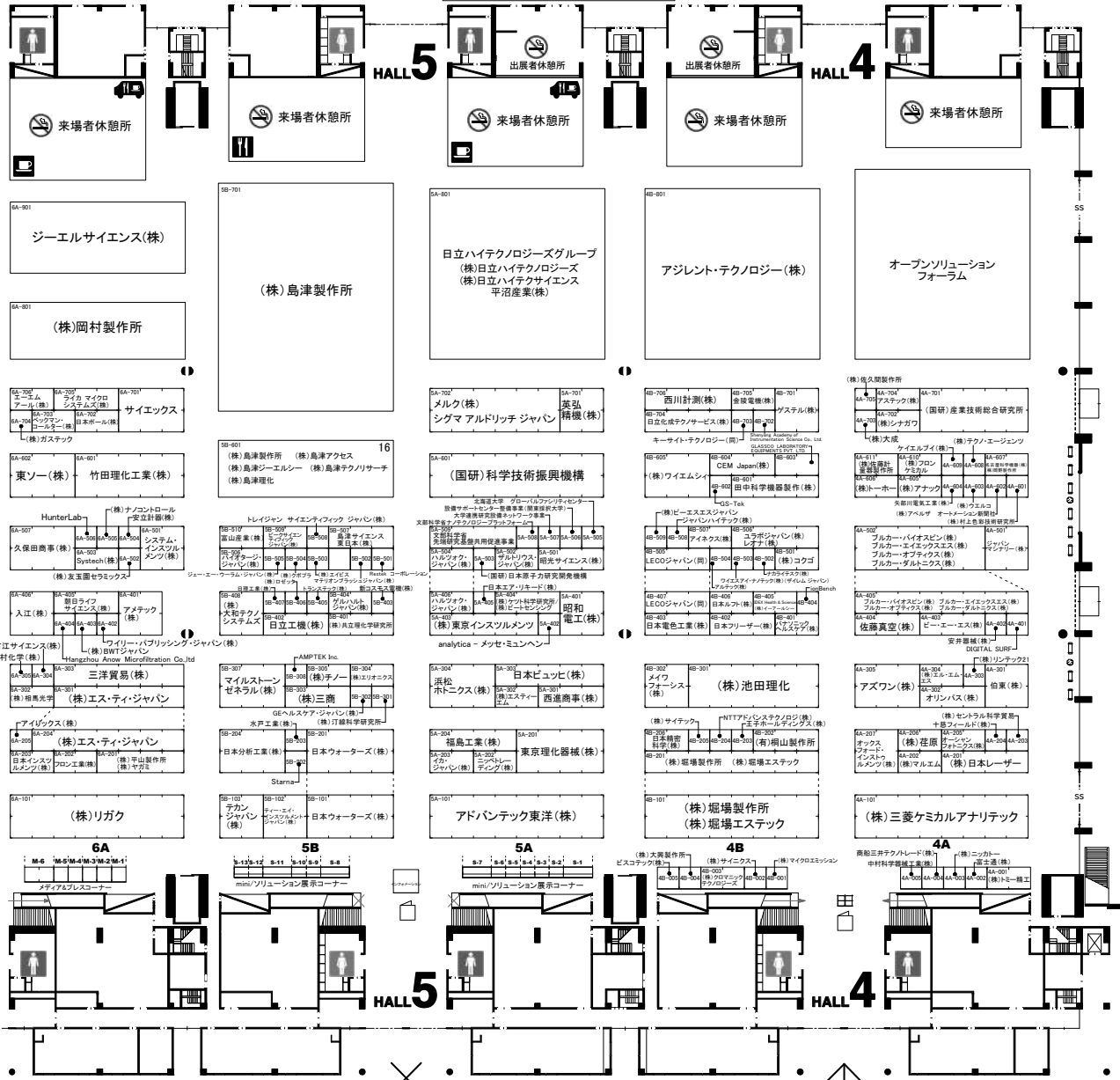
[HALL 7] 京都科学機器協会

オリオン(株)
(株)相互理化学電子製作所
二九精密機械工業(株)
京都科学機器協会
(株)神村製作所
京都樹精精工(株)
京都理化学器械(株)
グローバリーテック(株)
瑞穂化成工業(株)
(株)山崎精機研究所
(株)ケイジバック

[HALL 6] メディア&プレスコーナー

M-1	(株)デジタルデータマネジメント
M-2	instrument.com.cn
M-3	(株)ナオプロニクス社
M-4	(株)エヌ・ティー・エス
M-5	(株)科学新聞社
M-6	丸善出版(株)
M-7	(株)日刊工業出版プロダクション
M-8	(株)化学工業日報社
M-9	(株)産業と環境
M-10	International Labmate
M-11	日本工業出版(株)
M-12	(株)日経サイエンス

AB-31	関東化学(株)	AB-47	コーンズ テクノロジー(株)	D-1	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
AB-32		AB-48		D-4	製薬企業8社公募説明コーナー
AB-33	エルビケセル(株)	AB-49	BioJapan /	D-5	(株)システム計画研究所
AB-34		AB-50	再生医療JAPAN 2017	D-6	(株)エマージングテクノロジーズ
AB-35	オンコセラピー・サイエンス(株)	AB-51	ソニーイメージングプロダクツ &	D-7	バイオアソシエイツ(株)
AB-36		AB-52	ソリューションズ(株)	D-8-1	テクノポート(株)
AB-37		AB-53	(一社)日本臨床検査業協会	D-8-2	バイオティクスカバリー(株)
AB-38	いわき商工	AB-54		D-8-3	BDコンサルティング(同)
AB-39	(株)生体分子計測研究所	AB-55	日本ジーンウイズ(株)	D-9	(株)バイオネット研究所
AB-40		AB-56		D-10	(株)高研
AB-41	(株)島津製作所	AB-57	CEM Japan(株)	D-11	IRMAIL
AB-42		AB-58	(株)じほう	D-12	(株)宇土社
AB-43	(株)テクノスルガ・ラボ			D-13	創業のひろば
AB-44					
AB-45	ノーザンサイエンスコンサルティング(株)				
AB-46					



総合受付

[HALL 5] mini/Solution展示コーナー







S-1	QMAIL
S-2	日本アッシュ(株)
S-3	ヤマキ電器(株)
S-4	サンインシステム(株)
S-5	(株)ユニオン
S-6	カワソーテックセル(株)
S-7	フィルメトリクス(株)
S-8	スペルマン ハイ・ボルテージ エレクトロニクス コーポレーション
S-9	岩田電業(株)
S-10	日本ビジュアルサイエンス(株)
S-11	(有)バックフィールド
S-12	住ゴム高砂インテグレート(株)
S-13	綜研化学(株)

[HALL 7・8] mini/Solution展示コーナー

S-15	東京ダイレック(株)
S-16	(株)アド・サイエンス
S-17	(株)システムバイオティクス
S-18	イノベーションサイエンス(株)
S-22	ノベルジェン(有)
S-23	フィルジェン(株)
S-24	京セラ(株)
S-25	(株)大塚技研
S-26	(一財)三重県環境保全事業団
S-27	(株)メルビル
S-28	(株)東京エム・アイ商会
S-29	神田ゴム化学(株)
S-30	篠原電機(株)

[HALL 7] mini/Solutionカタログコーナー

SC-1	(株)大成
SC-2	ビーム(株)
SC-3	トウプラスエンジニアリング(株)

-  ドリンク
-  無料ドリンク
-  弁当(11:00~売り切れまで)
-  ランチカー
-  スマホアプリコーナー
-  パンフレット

24. 出展社一覧

あ～お順に掲載しています。各コーナーは一般展示の後に掲載しています。

<一般展示>

(株)アイシス	7A-603	(株)エスワン	7A-803
アイティー計測制御(株)	6B-402	エッペンドルフ(株)	8A-406
IDEX Health & Science / (株)イーアールシー	4B-405	ETRI	8A-605
アイネクス(株)	4B-507	(株)エヌエスピー	7B-603
アイリックス(株)	6A-205	NTT アドバンステクノロジー(株)	4B-204
アキリスジャパン(株)	8A-702	(株)荏原	4A-206
(株)アクタック	6B-701	エムエス機器(株)	8A-501
旭テクネイオン(株)	7B-304	(株)エリオニクス	5B-304
朝日ライフサイエンス(株)	6A-405	(株)エル・エム・エス	4A-304
アジレント・テクノロジー(株)	4B-801	エルガ・ラボウオーター	8A-506
アステック(株)	4A-704	(ヴェオリア・ジェネッツ(株))	
アズワン(株)	4A-305	エレクター(株)	6B-806
(株)アタゴ	7B-807	エレメンター・ジャパン(株)	7B-206
アドバンスドエナジージャパン(株)	8A-405	王子ホールディングス(株)	4B-203
(株)アドバンテスト	8A-703	大塚電子(株)	6B-703、6B-801
アドバンテック東洋(株)	5A-101	(株)岡野製作所	4A-607
(株)アナック	4A-605	(株)岡村製作所	6A-801
analytica - メッセ・ミュンヘン	5A-402	オーシャンフォトニクス(株)	4A-205
(株)アナリティクイエナ ジャパン	6B-405	オックスフォード・インストゥルメンツ(株)	4A-207
(株)アペルザ オートメーション新聞社	4A-602	オリオン(株)	7A-405、7A-501
アメテック(株)	6A-401	オリンパス(株)	4A-302
アラム(株)	7B-501	オルガノ(株)	6B-601
(株)アルゴ	8A-503	(国研)科学技術振興機構	5A-601
アルテック(株)	4B-504	(一財)化学物質評価研究機構	7B-305
アルバック・ファイ(株)	7B-801	笠原理化学工業(株)	6B-803
アルファ サイエンス(株)	7B-407	椋山工業(株)	7B-709
アルファ・モス・ジャパン(株)	7A-403	(株)ガステック	6A-704
アワーズテック(株)	6B-505	(株)神村製作所	7A-405、7A-501
(株)アントンパール・ジャパン	8A-101	カールツァイスマイクロコピー(株)	6B-603
AMPTEK Inc.	5B-308	カンタクローム・インストゥルメンツ・ジャパン(同)	8A-302
安立計器(株)	6A-504	キーサイト・テクノロジー(同)	4B-703
(株)イアス	6B-301	(株)北浜製作所	6B-302
ionBench	4B-404	(株)キッツマイクロフィルター	6B-605
イカ・ジャパン(株)	5A-203	(株)キャニオン	7B-805
(株)池上精機	6B-502	京都科学機器協会	7A-405、7A-501
(株)池田理化	4B-301	京都樹脂精工(株)	7A-405、7A-501
(株)イチネンジコー	7B-203	京都電子工業(株)	7A-601、7A-701
(株)イマハシ製作所	6B-807	京都理化学器械(株)	7A-405、7A-501
入江(株)	6A-406	(株)共立理化学研究所	5B-401
岩下エンジニアリング(株)	6B-501	協和界面科学(株)	7A-707
ヴァーダー・サイエンティフィック(株)	8A-601	(有)桐山製作所	4B-202
(株)ウエルコ	4A-603	金陵電機(株)	4B-705
ウシオライティング(株)	7B-502	久保田商事(株)	6A-507
(株)エアーテック	6B-401	(株)クボブラ	5B-504
(株)エー・アンド・デイ	8A-608	Glass Expansion Pty. Ltd.	7A-506
英弘精機(株)	5A-701	GLASSCO LABORATORY EQUIPMENTS PVT.	4B-603
(株)HER	7B-503	LTD.	
(株)エイビス	5B-503	グローバリーテック(株)	7A-405、7A-501
エーエムアール(株)	6A-706	(株)クロマニックテクノロジーズ	4B-003
(株)エスティエム	5A-302	ケイエルブイ(株)	4A-609
(株)エス・ティ・ジャパン	6A-204、6A-301	(株)ケイジパック	7A-405、7A-501
エスベック(株)	7A-404	(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン	6B-504
		ゲステル(株)	4B-701
		(株)ケツト科学研究所	5A-404

ケニス(株)	7A-606	新コスモス電機(株)	5B-403
ゲルハルトジャパン(株)	5B-404	新東科学(株)	6B-507
光明理化学工業(株)	8A-403	Shenyang Academy of Instrumentation	4B-702
光洋サーモシステム(株)	7B-408	science Co., Ltd	
(株)コクゴ	4B-501	Starna	5B-202
コフロック(株)	7B-402	(株)スペクトラ・コープ	7B-701
Conquer Scientific	8A-203	(株)住化分析センター	7A-402
サイエックス	6A-701	SUNJE	7A-604
(株)サイテック	4B-205	生化学工業(株)	7A-801
(株)サイニクス	4B-002	西進商事(株)	5A-301
サイバネットシステム(株)	7B-806	設備サポートセンター整備事業(関東探採大学)	5A-506
(株)佐久間製作所	4A-705	セントラル科学(株)	6B-604
(株)佐藤計量器製作所	4A-611	(株)セントラル科学貿易	4A-203
佐藤真空(株)	4A-404	(株)相互理化学硝子製作所	7A-405、7A-501
サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	6B-101、	(株)相馬光学	6A-302
	6B-201	耐圧硝子工業(株)	7B-708
	6B-808	(株)第一科学	7B-702
ザルスタット(株)	5A-502	大学連携研究設備ネットワーク事業	5A-507
ザルトリウス・ジャパン(株)	4A-701	(株)大興製作所	4B-004
(国研)産業技術総合研究所	7A-804	(株)大成	4A-703
(株)三啓	7A-401	(株)大日本精機	7A-704
(株)サンコウ電子研究所	5B-303	(株)大和テクノシステムズ	5B-408
(株)三商	6A-304	タカラバイオ(株)	7A-805
三洋古江サイエンス(株)	6A-303	(株)タクミナ	6B-705
三洋貿易(株)	4B-604	竹内精工(株)	8A-607
CEM Japan(株)	5B-302	竹田理化学工業(株)	6A-601
GE ヘルスケア・ジャパン(株)	8A-104	田中科学機器製作(株)	4B-601
(株)ジェイ・サイエンス・ラボ	5B-505	タナカ・トレーディング(株)	6B-404
ジェー・エー・ウーラム・ジャパン(株)	8A-801	(株)ダルトン	7B-901
(株)JEOL RESONANCE	4B-602	(株)チップトン	6B-702
GS-Tek	6A-901	(株)チノー	5B-305
ジーエルサイエンス(株)	7B-306	(株)中央理化	8A-504
シエンタ オミクロン(株)	5A-702	ZHEJIANG ALWSCI TECHNOLOGIES CO., LTD.	8A-603
シグマ アルドリッチ ジャパン	7B-802	ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン(株)	5B-102
CKD(株)	7B-706	TOS	7B-707
(株)シゲミ	6A-503	DKSH ジャパン(株)	7B-704
Systech(株)	6A-501	(株)汀線科学研究所	5B-301
システム・インスツルメンツ(株)	8A-103	テカンジャパン(株)	5B-103
(株)システムズエンジニアリング	7B-204	(株)テクノ・エージェンツ	4A-608
GTR テック(株)	4A-702	(株)テクノエックス	8A-304
(株)シナガワ	6B-305	DIGITAL SURF	4A-401
柴田科学(株)	6B-506	デンケン・ハイデンタル(株)	6B-608
(株)柴山科学器械製作所	6B-304	東亜ディーケーケー(株)	7B-401
GVS ジャパン(株)	5B-601	東機産業(株)	7B-303
(株)島津アクセス	5B-507	(株)東京インスツルメンツ	5A-403
島津サイエンス東日本(株)	5B-601	東京硝子器械(株)	7B-505
(株)島津ジーエルシー	5B-601	東京理化学器械(株)	5A-201
(株)島津製作所	5B-601、5B-701	東ソー(株)	6A-602
(株)島津テクノリサーチ	5B-601	(株)東陽テクニカ	6B-508
(株)島津理化	5B-601	(株)トーホー	4A-606
ジャスコインタナショナル(株)	7A-101、7A-201、7A-301	トーマス科学器械(株)	7A-504
ジャスコエンジニアリング(株)	7A-101、7A-201、7A-301	(株)トミー精工	4A-001
ジャパンハイテック(株)	4B-508	(株)トムシック	6B-802
ジャパンマシナリー(株)	4A-501	(株)トヤマ	7B-207
十慈フィールド(株)	4A-204	富山産業(株)	5B-510
昭光サイエンス(株)	5A-501	トランステック(株)	5B-405
商船三井テクノトレード(株)	4A-004	トレイジャン サイエンティフィック ジャパン(株)	5B-508
昭和電工(株)	5A-401	中村科学器械工業(株)	4A-005
(株)ジョブ	7B-504	中山商事(株)	6B-607
(株)シンキー	7A-706		
新光電子(株)	7B-403		

ナカライテスク(株)	4B-502	ビーエルテック(株)	8A-201
長良サイエンス(株)	6B-503	ピークサイエンティフィックジャパン(株)	5B-509
名古屋科学機器(株)	4A-607	ビスコテック(株)	4B-005
(株)ナノコントロール	6A-505	日立化成テクノサービス(株)	4B-704
ナノフoton(株)	8A-401	日立工機(株)	5B-402
西川計測(株)	4B-706	(株)日立ハイテクサイエンス	5A-801
日理工業(株)	5B-407	(株)日立ハイテクノロジーズ	5A-801
(株)ニテリョー	8A-202	(株)BWT ジャパン	6A-403
(株)ニツカトー	4A-003	WITec(株)	6B-602
日揮ユニバーサル(株)	8A-303	(株)ピートセンシング	5A-404
日陶科学(株)	8A-507	平沼産業(株)	5A-801
ニッペトレーディング(株)	5A-202	(株)平山製作所	6A-201
日邦プレジジョン(株)	7B-404	VICI AG International	6B-303
日本インスツルメンツ(株)	6A-203	福島工業(株)	5A-204
日本インテグリス(株)	6B-704	(株)フジキン	7B-202
日本ウォーターズ(株)	5B-101、5B-201	富士通(株)	4A-002
日本エア・リキード(株)	5A-405	(株)富士テクニカルリサーチ	7A-605
日本カンタム・デザイン(株)	7B-703	(株)藤原製作所	7A-602
(国研)日本原子力研究開発機構	5A-503	(株)FUSO	7B-506
(株)日本サーマル・コンサルティング	6B-606	(株)扶桑理化	8A-706
日本精工(株)	7B-602	二九精密機械工業(株)	7A-405、7A-501
日本製紙クレシア(株)	6B-805	ブルカー・エイエックスエス(株)	4A-405、4A-502
日本精密科学(株)	4B-206	ブルカー・オプティクス(株)	4A-405、4A-502
日本電計(株)	7B-508	ブルカー・ダルトニクス(株)	4A-405、4A-502
日本電子(株)	8A-801	ブルカー・バイオスピin(株)	4A-405、4A-502
日本電色工業(株)	4B-403	Protochips	8A-704
日本ビュッヒ(株)	5A-303	(株)フロンケミカル	4A-610
日本ブッシュ(株)	8A-502	フロン工業(株)	6A-202
日本フリーザー(株)	4B-402	Beijing Synthware Glass Inc.	6B-403
日本分光(株)	7A-101、7A-201、7A-301	兵神装備(株)	6B-706
日本分析工業(株)	5B-204	ベックマン・コールター(株)	6A-703
日本ポール(株)	6A-702	ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーター	8A-604
日本ルフト(株)	4B-406	シオン インク	
(株)日本レーザー	4A-201	北海道大学 グローバルファシリティセンター	5A-505
(株)ニューメタルス エンド ケミカルス コーポ	7B-205	(株)堀場製作所	4B-101、4B-201
レーション		(株)堀場エステック	4B-101、4B-201
(株)ニレコ	7A-505	(株)マイクロエミッション	4B-001
ネクサス(株)	7B-302	(株)マイクロサポート	8A-102
ネッチ・ジャパン(株)	8A-707	(株)マイクロテック・ニチオン	7A-703
野村化学(株)	6A-305	マイクロトラック・ベル(株)	7A-702
(株)パイオクロマト	8A-701	マイルストーンゼネラル(株)	5B-307
バイオタージ・ジャパン(株)	5B-506	松定プレジジョン(株)	7A-808
(株)バイオメディカルサイエンス	7B-405	マテリアルブラッシュジャパン(株)	5B-502
(株)バキューブランド サイエンティ	7A-806	(株)マルエム	4A-202
フィック ジャパン		丸祥電器(株)	7A-503
(株)パーキンエルマー・ジャパン	7B-604	マルバーン(スペクトリス(株))	8A-205
パーク・システムズ・ジャパン(株)	8A-705	瑞穂化成工業(株)	7A-405、7A-501
伯東(株)	4A-301	(株)三菱ケミカルアナリティック	4A-101
パナソニック ヘルスケア(株)	4B-401	水戸工業(株)	5B-203
パナリティカル(スペクトリス(株))	8A-205	(株)ミトリカ	7B-507
(有)パパラボ	8A-505	(株)村上衡器製作所	8A-204
浜松ホトニクス(株)	5A-304	(株)村上色彩技術研究所	4A-601
ハミルトン・カンパニー・ジャパン(株)	7A-801	(株)村山電機製作所	6B-804
林 純薬工業(株)	7B-307	メイワフォーシス(株)	4B-302
ハルツォク・ジャパン(株)	5A-406、5A-504	メトラー・トレド(株)	7B-601
Hangzhou Anow Microfiltration Co.,Ltd	6A-404	メトロームジャパン(株)	8A-301
HunterLab	6A-506	メルク(株)	5A-702
ビー・イー・エス(株)	4A-403	Moxtek, Inc.	7B-803
(株)ピーエスエスジャパン	4B-509	文部科学省 先端研究基盤共用促進事業	5A-509

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム	5A-508	関東化学(株)	AB-31、AB-32
(株)ヤガミ	6A-201	エルピクセル(株)	AB-33、AB-34
安井器械(株)	4A-402	オンコセラピー・サイエンス(株)	AB-35、AB-36
矢部川電気工業(株)	4A-604	いわき商工	AB-37、AB-38
(株)山崎精機研究所	7A-405、7A-501	(株)生体分子計測研究所	AB-39、AB-40
ヤマト科学(株)	7B-101、7B-201	(株)島津製作所	AB-41、AB-42
(株)ヤヨイ	7B-804	(株)テクノスルガ・ラボ	AB-43、AB-44
(株)友玉園セラミックス	6A-502	ノーザンサイエンスコンサルティング(株)	AB-45、AB-46
(株)ユニバーサル	8A-606	コーンズ テクノロジー(株)	AB-47、AB-48
(株)ユニフレックス	7B-301	BioJapan / 再生医療 JAPAN 2017	AB-49、AB-50
ユラボジャパン(株)	4B-506	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ(株)	AB-51、AB-52
ライカ マイクロシステムズ(株)	6A-705	(一社)日本臨床検査薬協会	AB-53、AB-54
(株)ラウンドサイエンス	8A-104	日本ジーンウィズ(株)	AB-55、AB-56
Labindia Analytical Instruments Pvt. Ltd.	8A-402	CEM Japan(株)	AB-57
ラボラボカンパニー(株)	7B-705	(株)じほう	AB-58
(株)リガク	6A-101	(株)ブラスト	C-1
理研計器(株)	7A-502	NOK(株)	C-2
(株)リンテック	8A-404	(株)日立ハイテクノロジーズ	C-3
(株)リンテック 21	4A-303	(株)エル・イー・テクノロジーズ	C-4
(株)ルドルフ・リサーチ・アナリティカル・ジャパン	7A-807	(株)エル・エム・エス	C-5
レオナ(株)	4B-506	メディカテック(株)	C-6
LECO ジャパン(同)	4B-407、4B-505	(特非)パイオチップコンソーシアム	C-7
Restek コーポレーション	5B-501	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構	C-8
レニショー(株)	7A-705	食品研究部門	
(株)ロゼッタ	5B-406	ブリヂストンスポーツ(株)	C-9、C-10
ワイエスアイ・ナノテック(株)	4B-503	(一社)日本臨床検査機器・試薬・システム	C-11、C-12
(ザイレム ジャパン)		振興協会(JACLaS)	
(株)ワイエムシィ	4B-605	特別展示コーナー	
ワイリー・パブリッシング・ジャパン(株)	6A-402	(国研)宇宙航空研究開発機構	D-1

<ライフサイエンスイノベーションゾーン>

アルバック成膜(株)	AB-1	製薬企業8社公募説明コーナー	D-4
GST ジャパン(株)	AB-2	(株)システム計画研究所	D-5
(一財)化学物質評価研究機構	AB-3	(株)エマージングテクノロジーズ	D-6
ifia/HFE JAPAN2018 食品化学新聞社	AB-4	バイオアソシエイツ(株)	D-7
東亜ディーケーケー(株)	AB-5	テクノポート(株)	D-8-1
日本老化制御研究所	AB-6	バイオディスカバリー(株)	D-8-2
(公財)かずさDNA研究所	AB-7	BD コンサルティング(同)	D-8-3
(株)アプリオリ	AB-8	(株)バイオネット研究所	D-9
(株)堀場製作所	AB-9	(株)高研	D-10
金陵電機(株)	AB-10	IRMAIL	D-11
エクリプス ビジネスメディア	AB-11	(株)羊土社	D-12
(株)ワイエムシィ	AB-12	創薬のひろば	D-13
(株)アルバック	AB-13		
(株)ワールドフュージョン	AB-14		
(株)アルティフ・ラボラトリーズ	AB-15		
高砂電気工業(株)	AB-16		
(株)朝日ラバー	AB-17		
東京理科大学	AB-18		
(株)プロテイン・エクスプレス	AB-19		
(株)フォーディクス	AB-20		
(株)アイテス	AB-21		
(一社)再生医療イノベーションフォーラム	AB-22		
日立化成テクノサービス(株)	AB-23		
(株)協同インターナショナル	AB-24		
Biocosm(株)	AB-25		
(株)セツロテック	AB-26		
(株)リプロセル	AB-27、AB-28		
(株)グミ	AB-29、AB-30		

<mini/ソリューションコーナー>

展示コーナー			
QMAIL		S-1	
日本アッシュ(株)		S-2	
ヤマキ電器(株)		S-3	
サンインストルメント(株)		S-4	
(株)ユニオン		S-5	
カワソーテックセル(株)		S-6	
フィルムトリクス(株)		S-7	
スペルマン ハイ・ボルテージ エレクトロニクス		S-8	
コーポレーション			
岩田電業(株)		S-9	
日本ビジュアルサイエンス(株)		S-10	
(有)バックフィールド		S-11	
住ゴム高砂インテグレート(株)		S-12	
綜研化学(株)		S-13	

東京ダイレック(株)	S-15
(株)アド・サイエンス	S-16
(株)システムバイオティクス	S-17
イノベーションサイエンス(株)	S-18
ノイベルク(有)	S-22
フィルジェン(株)	S-23
京セラ(株)	S-24
(株)大葉技研	S-25
(一財)三重県環境保全事業団	S-26
(株)メルビル	S-27
(株)東京エム・アイ商会	S-28
神田ゴム化学(株)	S-29
篠原電機(株)	S-30

カタログコーナー

(株)大成	SC-1
ピーム(株)	SC-2
トウプラスエンジニアリング(株)	SC-3

<研究機関コーナー>

(一財)化学物質評価研究機構 化学標準部	R-1
(国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター(NMIJ)	R-1
(独)製品評価技術基盤機構 認定センター	R-1
福島工業高等専門学校 電気電子システム工学科 若松研究室	R-2
神奈川大学 理学部 化学科 西本研究室	R-3
(国研)物質・材料研究機構	R-4
神戸大学 木村研究室	R-5
富山大学 研究推進機構 研究推進総合支援センター	R-6

<学協会コーナー>

(一社)東京環境経営研究所	A-1
(特非)分析産業人ネット	A-2
(公財)日本適合性認定協会	A-3
(一財)放射線利用振興協会	A-4
(公社)日本分析化学会	A-5
(公社)日本分光学会	A-6
(一社)日本環境測定分析協会	A-7

<メディア&プレスコーナー>

(株)デジタルデータマネジメント	M-1
instrument.com.cn	M-2
(株)オプトロニクス社	M-3
(株)エヌ・ティー・エス	M-4
(株)科学新聞社	M-5
丸善出版(株)	M-6
(株)日刊工業出版プロダクション	M-7
(株)化学工業日報社	M-8
(株)産業と環境	M-9
International Labmate	M-10
日本工業出版(株)	M-11
(株)日経サイエンス	M-12

<国際ナショナルオーガナイゼーションコーナー>

ECMI ITE Asia Sdn Bhd	I-1
中国分析測定協会 (China Association for Instrumental Analysis)	I-2
Thailand Institute of Scientific and Technological Research(TISTR)	I-3
China International Scientific Instrument and Laboratory Equipment Exhibition (CISILE 2018)	I-4
LAB INDONESIA	I-5
韓国科学器機工業協同組合 (KSIIC)	IK-1
Jeio Tech Co.,Ltd.	IK-2
米国大使館 商務部	IU-1
アイオワ州経済開発機構	IU-2
オレゴン州政府 駐日代表部	IU-3
ノースカロライナ州政府 日本事務所	IU-4
ペンシルベニア州政府 日本投資事務所	IU-5
PITTCON	IU-6
タイタンテクノロジーズ(株)	IU-7
カナダ大使館	IC-1
オンタリオ州政府 在日事務所	IC-2
カナダ・アルバータ州政府	IC-3
チェコ科学・分析機器ブース	ICZ-1
(有)ワイテック	ICZ-2
SVCS s.r.o.	ICZ-3

25. JASIS WebExpo 2017

1. 新サービス「JASIS WebExpo」誕生の背景

出展 500 社超、セミナー・講演会数も約 500 を数える JASIS では、分析・科学機器に関する世界の最先端情報が一堂に集まるため、見たいもの・聴きたいものを隈なく廻るためには、「複数日来場してもまだ時間が足りない」という声が来場者から聞かれる。

また、関東圏で開催される展示会に良く見られる傾向だが、JASIS での来場者は 7.5 割が関東圏からの来場者であり、地方からの来場は少ない。

このような傾向を補完する為、「会期 3 日間」「幕張」という現在の JASIS から、「150 日間、どこからでも」出展、参加できる新しい JASIS へと発展していくことを目指したのが本企画である。この新展開により、これまで以上に出展社・来場者のビジネスチャンス拡大へ貢献していくことを目指している。

JASIS の出展社ブースで技術者と face to face で行う技術相談や、実機を見ながらの深いビジネスミーティングなど Web では完全に実現できないことが JASIS 会場には溢れている。また、セミナーや講演会においても、諸事情により Web 公開許可が得られないものが多く存在する。こういった JASIS の魅力的なコンテンツの中で、Web 公開許可を得られた貴重な 60 タイトルの講演会・セミナーと出展社資料の一部を Web 上でご覧いただけるのが、今年の新企画「JASIS WebExpo」である。

2. 前期 24 タイトル・後期 35 タイトル、出展社の PDF 資料 120 社分を掲載。

将来的には“Expo”の名に相応しく出展社ブースも

JASIS WebExpo では、JASIS 2017 開催前(前期)には、JASIS 2016 の人気講演 24 件を公開した。JASIS ご来場前に、昨年的人气講演をご視聴いただき、今年 JASIS へのご来場への期待感を一層高めていただくことを狙いとした。もう一度聴きたい講演がある方、昨年聞き逃したセミナーがある方にも好評を得た。

JASIS 2017 開催後(後期)には、さらに JASIS 2017 の人気講演動画が 27 本(講演タイトルとして 35 タイトル)加わり、最終的には 52 本の動画で 59 タイトル的人气講演が視聴可能となった。

7 月 3 日 10 時の公開から、閉会の 11 月 30 日 17 時までで、JASIS WebExpo に訪れた重複無しのユニークな ID 数は 3,887、延べ閲覧コンテンツ数は 15,128 コンテンツを数えた。閲覧状況を見ると、講演資料・動画、出展社 PDF 資料いずれも万遍なく 900~1,000 人以上の閲覧が記録され、平均滞在時間が 56 分を超えた。そして、関東以外からの来場率は、幕張会場に比較して高く、普段 JASIS に来場しにくい地域の方に JASIS の秀逸なコンテンツを一部体感いただき、幕張に来場すれば更なる豊富な情報を入手できることを感じていただけたと思われた。

また、500 社を超える JASIS 全出展社の一部 127 社が、簡易資料 PDF を掲載した。今年は、出展社情報としては簡易資料の掲載のみであったが、将来的には“Expo”の名に相応しく出展社がブースを持つエリアを増設することを視野に入れている。

JASIS WebExpo では、アメリカ中心に世界的に広く使用されている Web イベントシステムを採用し、講演動画閲覧時に 1.8 倍速再生や、チャプターによって聞きたい内容をピンポイントに聴講することや、気になった資料をいったんお気に入りに登録して、あとで選別してダウンロードすることも可能で、アンケートでは、閲覧者の 93%が操作性に満足と回答している(10 月 27 日現在)。

ID(ユニーク)合計		3,070
比率 閲覧者/国内登録メアド数)		10.7%
閲覧数(延べ)		8,807
平均滞在時間(分)		56.4
ライフサイエンスイノベーションゾーン基調講演	ID数(ユニーク)	1,125
	コンテンツ(延べ)	2,215
	平均閲覧数	2.0
	平均滞在時間(分)	25
オープンソリューションフォーラム基調講演	ID数(ユニーク)	1,316
	コンテンツ(延べ)	1,390
	平均閲覧数	1.1
	平均滞在時間(分)	21.2
JASISセミナー 日本薬局方、サイエンスセミナー、科学実験ショー、JAIMAセミナー	ID数(ユニーク)	1,318
	コンテンツ(延べ)	2,181
	平均閲覧数	1.7
	平均滞在時間(分)	27.9
出展社PDF	ID数(ユニーク)	946
	コンテンツ(延べ)	2,637
	平均滞在時間(分)	17.4

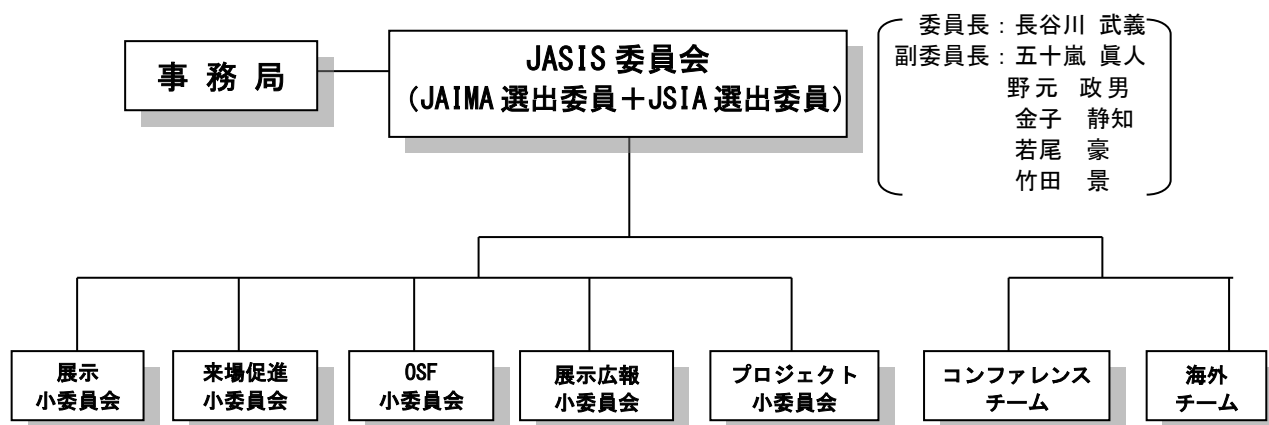
2017年7月3日～11月30日に掲載したJASIS 2016の講演動画(延べ閲覧数1,117回)

分野	タイトル	講師
オープンソリューションフォーラム2016		
食品	機能性表示制度と機能性農産物の開発	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品健康機能研究領域長 山本(前田)万里 氏
	メタボロームはじめの一歩 ～食品の新しい姿を求めて～	京都大学大学院 農学研究科「カゴメ」マト・ディスカバリーズ講座 荒武 氏
環境	触媒の発見から産学連携による実用化、キャタリストインフォーマティクスへの期待	産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 研究センター長 佐藤 一彦 氏
	水プロジェクトと水質の分析計測技術	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 総括研究主幹 鳥村 政基 氏
自動車	自動車関連材料の総合分析	分析化学技術コンサルタント、龍谷大学非常勤講師、元東レリサーチセンター研究部門長、工学博士 長澤 佳克 氏
	自動車産業における電池・電子材料の分析	
ライフサイエンスイノベーションゾーン2016		
細胞・再生医療	2016基調講演ピックアップ紹介	
	物理特性を利用したラベルフリー細胞解析・分離精製技術とその応用1	京都大学大学院医学研究科 乳腺外科分野 西村 友美 氏
	物理特性を利用したラベルフリー細胞解析・分離精製技術とその応用2	(株)AFIテクノロジー 開発部 脇坂 嘉一 氏
先端診断	臨床シーケンスの概要	バイオディスカバリー(株) 宋 碩林 氏
	シーケンス技術とクリニカルシーケンシング	東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 ゲノムシステム医療科学分野 菅野 純夫 氏
	医学における次世代シーケンスの現状と課題	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター ゲノム医療研究部 要 匡 氏
	DNAシーケンシング時代の到来:あなたはいつ自分の遺伝子を解析してみる?	米国ベイヤー医科大学(ヒューストン テキサス) ヒトゲノム解析センター/がん遺伝子部門 David Wheeler 氏
先端創薬(ヘルスケアと薬づくり)	次世代ヘルスケアと薬づくり	NPO法人 サイバー絆研究所 神沼 二真 氏
フードサイエンス 次世代ヘルスケア	食物・栄養とがん 一多目的コホート研究の成果とエビデンスのまとめ	国立がん研究センター 社会と健康研究センター 笹月 静 氏
	消費者が独自の栄養・健康管理をするためのシステム構築	TNO オランダ応用科学研究機構 栄養&ヘルスケア部門 Nard Clabbers 氏
次世代ヘルスケア 先端創薬(ヘルスケアと薬づくり)	臨床診断ラボラトリ:トランスレーショナル医療における究極のインターフェイス	臨床検査医学 マックマスター大学(カナダ) 臨床病理学・臨床検査医学 Joseph Macri 氏
	次世代ヘルスケア産業の創出 ー生涯現役社会の構築を目指してー	経済産業省 商務情報政策局 江崎 禎英 氏
	生命科学インスティテュートが目指す次世代のヘルスケア	(株)生命科学インスティテュート 木曾 誠一 氏
予防医学 人工知能・深層学習(バイオへの応用を予測)	食と代謝を結ぶデータサイエンス	理化学研究所 環境資源科学研究センター 統合メタボロミクス研究グループ 環境代謝分析研究チーム 菊地 淳 氏
細胞・再生医療	次世代シングルセル解析が明らかにする細胞社会学	京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 山中研究室 渡辺 亮 氏
フードサイエンス	国立研究開発法人農研機構における今後の食品研究	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 大谷 敏郎 氏
先端創薬(ヘルスケアと薬づくり)	iPS細胞由来細胞等の創薬評価への適合性への現状	セルラー・ダイナミクス・インターナショナル・ジャパン(株) 早乙女 秀雄 氏
	健康情報の世界基盤構築に向けて	エーザイ(株) コーポレートビジネスディベロップメント 鈴木 蘭美 氏
細胞・再生医療	ミニ臓器と臨床応用	横浜市立大学 学術院 医学群 大学院医学系研究科 臓器再生医学 武部 貴則 氏

2017年9月28日～11月30日まで掲載したJASIS2017 講演動画（延べ閲覧数4,003回）

分野	タイトル	講師
オープンソリューションフォーラム2017		
食品	農産物のおいしさ評価	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶品質機能性ユニット長 堀江 秀樹 氏
	メタボロミクスの食品機能解析への応用	大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻 教授 福崎 英一郎 氏
環境	EU RoHS(II) 指令とリスク管理	一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長 松浦 徹也 氏
	chemSHERPAの海外展開に向けて ～世界のデファクトスタンダードを目指して～	経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 総括補佐 町井 弘明 氏
自動車	Hondaの燃料電池自動車開発と水素社会に向けて	株式会社 本田技術研究所 四輪R&Dセンター 上席研究員 守谷 隆史 氏
	次世代車載電池開発に必要な計測分析技術	京都大学大学院人間・環境学研究所 相関環境学専攻 教授 内本 喜晴 氏
JASISセミナー2017		
初めての機器分析	測定の不確かさの考え方	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 主任研究員 城野 克広 氏
機器分析のステップアップ	自信の持てる溶液調製一何をもどのように溶解するかー	宇都宮大学大学院工学研究科 教授 上原 伸夫 氏
これであなとも専門家ーGC編	「目からウロコのGC理論」これであなとも専門家	麻布大学 杉田 和俊 氏
これであなとも専門家ーMS編	質量分析の基礎 イオン化法とスペクトルの読み方	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 絹見 朋也 氏
分析・科学機器と日本薬局方	理化学試験法の最近の動向	神戸薬科大学 国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員 四方田 千佳子 氏
サイエンスセミナー	アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディーー KAGRAの挑戦と重力波天文学が解き明かす宇宙の謎ー	東京大学宇宙線研究所・重力波観測研究施設 教授 川村 静児 氏
科学実験ショー	分光の基本と応用	公益財団法人日本科学技術振興財団(科学技術館) 丸山 義巨 氏
ライフサイエンスイノベーション2017		
次世代ヘルスケア	バイオとデジタルの融合がもたらすもの	経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課長 上村 昌博 氏
	サイエンスによる生命の秘密の解明	東京大学 名誉教授 和田 昭允 氏
次世代ヘルスケア先端創薬(ヘルスケアと薬づくり)	創薬の未来を支える最先端の分析ワークフロー	ノバルティス バイオメディカル研究所 アナリティカルサイエンス&イメージング部門 本部長 Stephen Martin 氏
人工知能・深層学習(バイオへの応用を予測)	【AI/DLのバイオサイエンスへの応用価値】 深層学習技術が加速するIT創薬技術の深化	国立大学法人 東京工業大学 情報理工学系 情報工学系 知能情報コース 准教授 石田 貴士 氏
	【AI/DLのバイオサイエンスへの応用価値】 人工知能と高性能オミックス解析の連携がもたらす未来型健康社会	国立大学法人 東京工業大学生命理工学系 准教授 林 宣宏 氏
	【AI/DLのバイオサイエンスへの応用価値】 ソーシャル創薬プロジェクト	株式会社シャルクス 代表取締役 山本 一樹 氏
	【AI/DLのバイオサイエンスへの応用価値】 開発者から見たAIシステム開発のパラダイムシフト	株式会社システム計画研究所 シニアリサーチチャー 上島 仁 氏
人工知能・深層学習(バイオへの応用を予測)	【AI/DLのバイオサイエンスへの応用価値】 ディスカッション	上記 石田氏 林氏 山本氏 上島氏
早期治療を実現する早期先端診断の役割	【中分子創薬への分析機器】 分析技術が拓く次世代バイオ医薬品開発研究	東京大学大学院工学系研究科 医科学研究所 教授 津本 浩平 氏
	【中分子創薬への分析機器】 プロテインープロテイン相互作用を阻害する中分子有機化合物探索の手法	(株)バイオシス・テクノロジーズ 取締役 & CTO 聖マリアンナ医科大学 講師 中山 登 氏
	【中分子創薬への分析機器】 ナノバイオデバイスが拓く未来医療・創薬	名古屋大学大学院工学研究科・先端ナノバイオデバイス研究センター 教授・センター長 馬場 嘉信 氏
	【中分子創薬への分析機器】ディスカッション (津本氏 中山氏 馬場氏 小倉氏)	上記3氏に加え、 ライオン株式会社 研究開発本部 小倉 卓 氏
未来社会と生活を支えるサイエンスの可能性	【21世紀の人口爆発とデータ爆発】 データ駆動型からAI駆動型の分析スタイル	特定国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学センター 環境代謝分析研究チーム チームリーダー 菊地 淳 氏
	【21世紀の人口爆発とデータ爆発】 NMRデータから見る農と食のサイエンス	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 主任研究員 関山 恭代 氏
	【21世紀の人口爆発とデータ爆発】 水産養殖現場に還元できるビッグデータ	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 研究員 馬久地 みゆき 氏
	【21世紀の人口爆発とデータ爆発】 メタボリック・プロファイリングから見た魚とその有用性	マルハニチロ株式会社 中央研究所 リサーチ課 課長代理 河原崎 正貴 氏
	【21世紀の人口爆発とデータ爆発】 データサイエンスで鳥瞰する環境システム	特定国立研究開発法人 理化学研究所 CSRS環境代謝分析研究チーム 研究員 伊達 康博 氏
	【21世紀の人口爆発とデータ爆発】ディスカッション	上記6氏 菊地氏 関山氏 山崎氏 馬久地氏 河原崎氏 伊達氏
先端創薬(ヘルスケアと薬づくり)	【ICTの新しい波と薬づくりの未来】 ICTの新しい波と薬づくりの未来	NPO法人サイバー絆研究所 理事長 神沼 二真 氏
	【ICTの新しい波と薬づくりの未来】 AI創薬の現状と将来	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長特別補佐 田中 博 氏
	【ICTの新しい波と薬づくりの未来】 創薬研究の新しい潮流	塩野義製薬株式会社 シニアフェロー 坂田 恒昭 氏

26. JASIS 2017 委員会組織



27. JASIS 2017 委員会名簿

◎委員長 ○副委員長

◎長谷川 武義	(株)堀場製作所	北川 均	(株)堀場エステック
○五十嵐 真人	(株)日立ハイテクノロジーズ	中川 健	(株)堀場製作所
○野元 政男	日本電子(株)	大西 信弘	(株)マイクロテック・ニチオン
○金子 静知	メルク(株)	小島 靖稔	(株)三菱ケミカルアナリテック
○若尾 豪	(株)島津製作所	山本 千明	メトラー・トレド(株)
○竹田 景	竹田理化工業(株)	吉田 光男	ヤマト科学(株)
瀧川 義澄	アジレント・テクノロジー(株)	デヴィッド H.オーエンズ	(株)ユニフレックス
松浦 康喜	アドバンテック東洋(株)	小林 大輔	ユラボジャパン(株)
鈴木 暁子	アルバック・ファイ(株)	青木 正孝	(株)リガク
米澤 文彦	(株)エアータック	古神 由起子	LECO ジャパン合同会社
田中 克治	京都電子工業(株)	海老原 卓也	(株)ワイエムシイ
中川 一世	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	石井 博高	アズワン(株)
下川 菜穂子	日本電子(株)	竹越 万里子	(株)池田理化
三浦 孝仁	ジューエルサイエンス(株)	尾形 雅広	入江(株)
村田 英明	(株)島津製作所	北村 英樹	英弘精機(株)
杉田 隆通	(株)島津製作所	鎌田 健嗣	(株)エス・ティ・ジャパン
貴家 潤治	昭和電工(株)	吉野 俊彦	エスベック(株)
下野 彰夫	(株)汀線科学研究所	小磯 隆次	(株)コクゴ
石塚 隆司	東亜ディーケーケー(株)	渡辺 徹	佐藤真空(株)
小林 昭	東ソー(株)	青柳 喜彦	(株)大成
武井 健	日本ウォーターズ(株)	塚越 孟典	田中科学機器製作(株)
濱田 幸夫	日本分光(株)	遠藤 聡	(株)ダルトン
真砂 妙子	(株)パーキンエルマー・ジャパン	佐藤 紀一	展示会委員会(JSIA) 委員長
水澤 誠司	平沼産業(株)	柴田 眞利	展示会委員会(JSIA) 副委員長
堤 遊	ブルカー・バイオスピン(株)	南 明則	展示会委員会(JSIA) 副委員長

●コンファレンスチーム

◎西埜 誠	(株)島津製作所	田口 正	京都電子工業(株)
○野村 聡	(株)堀場製作所	田中 一嘉	東亜ディーケーケー(株)
○杉沢 寿志	日本電子(株)	豊田 精宏	東ソー(株)
赤沼 英雄	ビーエルテック(株)	中尾 茂	新コスモス電機(株)
赤尾 賢一	日本分光(株)	中川 勝博	(株)島津製作所
大野 慎介	(株)三菱化学アナリテック	中川 健	(株)堀場製作所
大平 真義	ジューエルサイエンス(株)	新村 典康	日本電子(株)
河合 英治	日本電子(株)	八谷 宏光	東亜ディーケーケー(株)
川村 幸嗣	光明理化学工業(株)	濱上 郁子	(株)堀場製作所
日下 雅明	日本インスツルメンツ(株)	舟木 和久	アジレント・テクノロジー(株)
酒井 康成	(株)三菱ケミカルアナリテック	松田 元	(株)日立ハイテクノロジーズ
杉山 浩昭	理研計器(株)	山口 敏彦	理研計器(株)

●海外チーム

◎川本 健志	(株)島津製作所	高津 美恵子	京都電子工業(株)
○坂西 祥一	(株)堀場製作所	中村 祐介	富士電機(株)
○遠藤 政彦	アジレント・テクノロジー(株)	堀口 靖夫	ジャスコインタナショナル(株)
井上 武	(株)常光	村山 宙	(株)ガステック
串本 達治	東ソー(株)	増澤 伸一	日本電子(株)
杉崎 和也	アドバンテック東洋(株)	増永 晃	(株)日立ハイテクノロジーズ
高崎 貴志	(株)リガク	山崎 剛義	東亜ディーケーケー(株)

●事務局

(JAIMA)

松浦 義和	片岡 信義	小森 亨一	近藤 宏	小川 真由子	谷島 芳生
田林 洋子	堤 美恵子	沈 靚旋	鋤柄 佳子	前田 正子	

(JSIA)

蔵満 邦弘	岡田 康弘	鈴木 聖実	山河 正道	森尾 武男	建部 記夫
菅 武彦					

JASIS 2017 結果報告書

平成 29 年 11 月

JASIS 委員会事務局

一般社団法人日本分析機器工業会内

東京都千代田区神田錦町 1 丁目 12-3 第一アマイビル3階

TEL:03(3292)0642 FAX:03(3292)7157

URL:<https://www.jasis.jp>

アジア最大級の分析・科学機器専門展示会

未来発見。

JASIS
Japan Analytical & Scientific Instruments Show
2018

2018 9/5(水) ▶ 7(金) 幕張メッセ国際展示場
AM10:00 ~ PM5:00 入場無料

併催：新技術説明会 / JASISコンファレンス

特別企画：ライフサイエンスイノベーションゾーン / オープンソリューションフォーラム®



主催：一般社団法人 日本分析機器工業会



主催：一般社団法人 日本科学機器協会

後援：経済産業省、文部科学省、環境省、公益社団法人日本分析化学会 他(予定)

<https://www.jasis.jp>

